

令和2年度沖縄振興特別推進市町村交付金事業 成果一覧

令和4年2月

那覇市	1	嘉手納町	46
宜野湾市	7	北谷町	48
石垣市	11	北中城村	49
浦添市	14	中城村	52
名護市	17	西原町	54
糸満市	20	与那原町	56
沖縄市	21	南風原町	58
豊見城市	25	渡嘉敷村	62
うるま市	27	座間味村	64
宮古島市	30	粟国村	65
南城市	32	渡名喜村	66
国頭村	34	南大東村	67
大宜味村	35	北大東村	68
東村	36	伊平屋村	69
今帰仁村	37	伊是名村	70
本部町	38	久米島町	72
恩納村	40	八重瀬町	73
宜野座村	40	多良間村	76
金武町	42	竹富町	77
伊江村	43	与那国町	78
読谷村	45		

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1 1	観光案内所外国人対応スタッフ等配置事業	H25～R3	外国人観光客への利便性確保を図るため、外国語対応可能なスタッフを配置している観光案内所の運営を支援する。	外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(満足度80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか【満足度:98%】	◎
01 那覇市	1 2	めんそーれ観光充実事業	H28～R2	観光地としてふさわしい景観等を確保するため、国際通りを中心に迷惑行為の指導、是正要請等を行う。	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導回数 月平均360件以内	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導回数【月平均527件】	未
01 那覇市	1 3	バス停上屋整備事業	H24～R3	観光客がバス停で強烈な日差しや風雨を避け快適に利用できるようにするため、バス停上屋を整備する。	本事業により、整備を行ったバス停上屋について、観光客へのアンケート調査等を実施し、快適にバスを待てるようになったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	整備を行ったバス停上屋について、観光客へのアンケート調査等を実施し、快適にバスを待てるようになったか【満足度:90%】	◎
01 那覇市	1 4	歴史散歩道整備事業	H24～R3	観光客が那覇の歴史を感じて歩くことができるようにするため、歴史散歩道を整備する。	本事業により、整備を行った歴史散歩道について、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	整備を行った歴史散歩道について、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができたか【満足度:90%】	◎
01 那覇市	1 5	亜熱帯庭園都市の公園美化事業	H24～R3	観光客の利便性の確保を図るとともに、観光地としてふさわしい公園を創出することができるようにするため、トイレ整備、公園の美化(剪定・植栽)等を行う。	本事業について、観光客等へのアンケート調査等を実施し、観光地としてふさわしい公園美観であると感ずるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	未実施	未
01 那覇市	1 6	福州園再整備事業	H28～R3	観光客を含めた利用者数の増加を図るため、県内唯一の中国式庭園である福州園において、機能強化を行う。	福州園再整備工事(2期)の完了	福州園再整備工事(2期)完了	◎
01 那覇市	1 7	リュウキュウマツ害虫対策事業	H24～R3	観光資源である景観の保護を図るため、県木であるリュウキュウマツへの薬剤注入等により、マツ枯れ予防対策を行う。	リュウキュウマツへの薬剤注入の完了	リュウキュウマツへの薬剤注入 148本/200本(74%完了)	○
01 那覇市	1 8	花いっぱい運動推進事業	H24～R3	観光都市として、亜熱帯ならではの魅力的な都市緑化景観を創出するため、観光振興に資する路線沿線を対象に、市民、自治会、学校関係、ボランティア団体へ草花苗の配布を行う。併せて、公共花壇にも年間を通して草花苗の植え付けなどを行い、潤いのある都市空間づくりを行う。	本事業により、花壇への植付を行った路線について、観光客へ「観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感ずるか(80%以上)」を含めたアンケート調査を実施し、本事業のあり方を検証する。	花壇への植付を行った路線について、観光客へ「観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感ずるかを確認するためのアンケート調査実施【満足度:95%】	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1 9	亜熱帯庭園都市の道路美化事業	H24 ～ R3	幹線市道や観光地周辺市道の美化(剪定・除草・植栽整備等)を推進し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。	本事業(剪定・除草・植栽整備等)による道路美化の対象路線について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	剪定・除草・植栽整備等による道路美化の対象路線について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるかを含め、アンケート調査 【満足度:95.8%】	◎
01 那覇市	1 10	那覇三大祭り関連事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、那覇市の三大祭りである「那覇ハーリー」「那覇大綱挽」「琉球王朝祭り首里」の開催支援等を行う。	那覇大綱挽:芯綱の製作・管理を行い、次年度以降に向けての大綱の機能維持を図る。 琉球王朝祭り首里:開催規模を縮小して、祭りで重要な衣装の着付けや隊列統制の訓練等の人材育成の保存継承に必要最小限の古式行列を実施し、伝統継承を図る。	那覇大綱挽:芯綱の製作・管理を行い、次年度以降に向けての大綱の機能維持を図る。 琉球王朝祭り首里:開催規模を縮小して、祭りで重要な衣装の着付けや隊列統制の訓練等の人材育成の保存継承に必要最小限の古式行列を実施し、伝統継承を図る。	◎
01 那覇市	1 14	プロ野球キャンプ等支援事業	H24 ～ R3	読売巨人軍春季那覇キャンプを実施することで、観光誘客を図る。	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 118,000人	新型コロナウイルス感染症の影響により無観客開催	未
01 那覇市	1 15	プロ野球キャンプにぎわい創出事業	H24 ～ R3	読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等を設置することにより、キャンプ会場を訪れる観光誘客を図る。	1-12プロ野球キャンプ等支援事業と同様 ・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 118,000人	新型コロナウイルス感染症の影響により無観客開催	未
01 那覇市	1 16	国際通りトランジットマイル推進事業	H24 ～ R3	観光客・地元客の誘客を図るため、那覇市国際通り商店街振興組合連合会が実施するトランジットモールの取組を支援する。	歩行者通行量1日:23,500人	歩行者通行量1日:10,525人	△
01 那覇市	1 18	那覇まちまーい推進事業	H24 ～ R3	観光客の誘客を図るため、地元ガイドと那覇市内の観光地を巡る「那覇まちまーい」の支援を行う。	参加者数 8,200人	参加者数 2,552人 【達成率:31%】	△
01 那覇市	1 19	歴史博物館企画展事業	H24 ～ R3	地域の歴史・文化を学べる機会を増やすため、歴史博物館において、沖縄の歴史・文化に特化した企画展を開催する。	来館者数 3,050人 コロナ感染症の影響を加味しつつ企画展1回あたり3,050人×1回=3,050人	コロナ禍による臨時休館等により、年4回予定していた企画展開催を1回に変更。 【来館者数:1,622人、達成率:53%】	△
01 那覇市	1 20	第一牧志公設市場再整備推進事業	H26 ～ R3	那覇市の観光振興に寄与する拠点施設である第一牧志公設市場を再整備することにより、観光客の誘客を図る。今年度は、仮設市場の賃貸借および必要な商業支援を実施する。	仮設市場賃貸借の実施 商業支援業務等の完了	仮設市場賃貸借完了 商業支援業務等の完了	◎
01 那覇市	1 21	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	H24 ～ R3	市内観光地への観光誘客を促進するため、観光拠点である国際通りにおいて、大型ビジョンを活用して那覇市の観光PR映像、ARコンテンツ、イベント中継等の観光情報を発信する。	視聴者測定システムによる集計数 H30年度視聴者数に過去対年度比の平均値21.7%程度増の19,700人(月平均)	視聴者測定システムによる集計数(月平均) 2,123人 【達成率:10%】	△

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1 22	外国人観光客受入整備事業	H26 ～ R3	外国人観光客の受入体制の整備の図るため、那覇クルーズ促進連絡協議会の活動支援、市街地や周辺店舗・事業所へサポート要員の派遣、語学講座の実施等を行う。	外国人観光客にアンケートを実施し、受入体制について満足であるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	外国人観光客にアンケートを実施し、受入体制について満足であるかを確認した。 【満足度:98%】	◎
01 那覇市	1 23	マチグワー総合案内所事業	H26 ～ R3	観光客の利便性の確保を図るため、中心商店街(マチグワー)に、案内所を設置する。	案内所利用者数:23,400人 (H30年度実績 23,127人)	案内所利用者数:9,593人	△
01 那覇市	1 25	観光イベント等映像発信事業	H24 ～ R3	市内観光地への観光誘客を促進するため、移動式車載大型ビジョンを活用して、観光客向けに那覇市の観光情報を発信する。	・読売巨人軍那覇キャンプ、その他イベントへの派遣30回	・読売巨人軍那覇キャンプ20回	未
01 那覇市	2 2	漁船近代化機械設置推進事業	H24 ～ R3	漁業者数の維持を図るため、漁船の近代化機械等の整備を支援する。	漁業者数 184名	漁業者数:230名	◎
01 那覇市	3 1	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	H24 ～ R3	販路開拓の前段となる商談会への出展して、商談の機会を増やし、商談成約を図る。	商談成約率(商談成約件数/商談件数)が10%以上	商談成約率(商談成約件数/商談件数) 【20.0%(成約件数2件/商談件数10件)】	◎
01 那覇市	3 5	市内企業経営基盤強化事業	H27 ～ R3	市内中小企業の経営基盤の強化を図るため、企業の実情に合った制度導入のための専門家派遣を実施する。	専門家派遣による支援を受けた事業者に対するアンケート調査等を実施し、「経営基盤の強化に役立った」旨の回答割合を80%以上	「経営基盤の強化に役立った」旨の回答割合 94%	◎
01 那覇市	3 6	頑張るマチグワー支援事業	H25 ～ R3	観光客及び地元客の誘客を図るため、商店街等が行う事業を支援する。	中心商店街の平日歩行者通行量 66,800人	中心商店街の平日歩行者通行量:46,393人 【達成率:69%】	△
01 那覇市	3 8	企業立地促進事業	H28 ～ R3	那覇市における雇用拡大と産業の振興を目的に、市内に事務所等を設置し、一定数・一定期間以上、市民の新規常用雇用を行った企業からの申請に基づき、事業内容、雇用効果、産業振興への効果を総合的に検討し、助成金を交付する。	・新規常用雇用者数:3名 ・新規企業立地社(申請者):1社	・新規常用雇用者数:3名 ・新規企業立地社(申請者):2社	◎
01 那覇市	3 9	なはし創業・就職ポートセンター運営事業	H24 ～ R3	創業・就職の支援を図るため、創業・就職相談等を行う。	相談窓口利用者1,800人 創業者5人以上 就職した人数の割合3.06%以上	・相談窓口利用者:1,696人 ・創業者:9人 ・就職した人数の割合:3.10% 【達成率:98%】	○
01 那覇市	4 2	那覇港輸出貨物増大促進事業	H29 ～ R3	沖縄県は地理的要因などから輸送コストが割高となっているため、その解消策として、那覇港に寄港する船社を対象とした実証実験を実施し、取扱貨物量の増加及び航路の拡充を図る。	取扱貨物量の増加を図るため、新規外航航路を開設する。(1航路)	取扱貨物量の増加を図るため、新規外航航路を開設した。(1航路)	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
01 那覇市	6 1	基礎学力向上のための学習支援事業	H24～R3	小学校への学習支援員の配置及び申請のある小中学校への学習支援ボランティアの派遣により学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査の県平均との差 ①小学校算数(3年):2.1ポイント上回る事 ②中学校数学(2年):3.1ポイント上回る事	沖縄県学力到達度調査の県平均との差 ①小学校算数(3年):調査対象外となった。 ②中学校数学(2年):2.0ポイント	未
01 那覇市	6 2	英語指導員配置事業	H24～R3	英語指導員を配置することにより、長期的な英語指導を行い、英語能力の向上を図る。	・英語能力判定テストにおける英検4級レベルの生徒割合 62.5%以上(前年度の実績以上)	・英語能力判定テストにおける英検4級レベルの生徒割合 57.2%以上	未
01 那覇市	6 3	特別支援教育充実事業(小・中学校)	H24～R3	特別な支援を要する児童生徒へ、教育相談員の派遣や特別支援教育ヘルパーの配置を行うことにより、学校生活や学習上の困難の改善を図るための支援を行う。	特別支援教育ヘルパーの対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	特別支援教育ヘルパーの対応への満足度を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査を実施。 【満足度:85.7%】	◎
01 那覇市	6 4	特別支援教育充実事業(認定こども園)	H24～R3	特別な支援を要する園児に対応した支援等を行うことで、こども園での教育活動上等の困難の改善を図る。	特別支援教育のヘルパー対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる園児の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	・未実施	未
01 那覇市	6 5	発達支援強化事業(乳幼児期)	H27～R3	発達の気になる乳幼児の就学後の学校生活での不適応行動を少なくするために、小学校就学前の段階から、発達の気になる乳幼児及び子どもとのかかわり方に不安を持つ保護者等の早期把握、早期支援を行う。	アンケート調査により市民(保護者)の満足度が80%となる。	市民(保護者)の満足度:100%	◎
01 那覇市	6 6	学力向上に向けた調査研究事業	H25～R3	授業の改善に資するため、学力調査を小学校で実施し、その結果を分析して、教師が指導するに当たっての資料を提供する。	調査結果を踏まえて、指導方法等、授業の改善に役立ったか(80%以上)を含め、教師へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	指導方法等、授業の改善に役立ったかを含め、教師へのアンケート調査を実施。 【役立った旨の回答割合:94%】	◎
01 那覇市	6 7	不登校対策等支援事業	H24～R2	不登校など課題のある児童生徒に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校 30%以上 中学校 68%以上	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校38.4% 中学校48.2%	△
01 那覇市	6 8	教育相談支援員・生徒サポート配置事業	H24～R2	学校内の相談室等において不登校傾向にある児童生徒の相談・支援等を行うことで、不登校の改善を図る。	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校 30%以上 中学校 68%以上	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校38.4% 中学校48.2%	△
01 那覇市	6 10	街頭指導(がいとうPolaris)事業	H24～R2	青少年の非行の未然防止と早期発見・早期対応のため、専任指導員を学校外に配置し、巡回指導等を行う。	19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合 2.45%	19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合 1.10%	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
01 那覇市	6 12	児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣)	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたとの回答(80%以上)を含め、派遣された児童・生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケート調査を実施。 【島内ではできない経験をする事ができたという回答した児童・生徒の割合:100%】	◎
01 那覇市	6 13	自然教室実施事業	H24 ～ R3	児童の豊かな社会性を育むため、自然体験活動を実施する。	自然教室を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したと評価する学校の割合 88.9%以上	自然教室を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したと評価する学校の割合:88.9%	◎
01 那覇市	6 14	学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)	H24 ～ R3	小中学校校舎等の塩害を防止し長寿命化を図るため、校舎等外壁面の塗装対応を行う。	学校長及び教育委員会による点検を実施する。 ・外壁等の剥離件数:0件 ・外壁の亀裂等件数:0件	学校長及び教育委員会による点検を実施。 ・外壁等の剥離件数:0件 ・外壁の亀裂等件数:0件	◎
01 那覇市	6 15	教育用ソフト購入事業	H27 ～ R3	教育環境の充実を図り、将来の沖縄振興に資する人材を育成するため、主要教科のデジタル教科書を市内小中学校に配布し、児童生徒の学習能力の向上を図る。	・全国学力調査の全国との差(過去3年平均正答率) ①小学校算数A:4.0%以上(H28～H30平均:4.0%) ②小学校国語A:1.2%以上(H28～H30平均:1.2%)	全国学力調査が実施されなかったため、成果指標による進捗確認ができていない状況	未
01 那覇市	7 1	文化芸術ふれあい事業	H24 ～ R3	組踊を題材としたワークショップ等を行い、より深く組踊を理解する機会を創出することで、沖縄伝統芸能の普及継承を図る。	講演会への来場者 190名以上	コロナ感染症対策のため動画配信に変更。	未
01 那覇市	7 2	新文化芸術発信拠点施設整備事業	H24 ～ R3	市民、県民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動を行う場の確保を図るため、新文化芸術発信拠点施設を建設する。 本年度は、施設本体の建設工事等を実施する。	施設本体建設工事 3年目完了 建設工事業務委託(監理) 3年目完了	施設本体建設工事 3年目完了 建設工事業務委託(監理) 3年目完了	◎
01 那覇市	7 3	市民文化支援事業	H24 ～ R3	那覇市の指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能の保存継承を図る。	市民文化支援事業の対象となる市内の民俗芸能団体数 12団体(約390名)	市民文化支援事業の対象となる市内の民俗芸能団体数:12団体(約390名)	◎
01 那覇市	7 4	伝統文化継承種まき事業	H24 ～ R3	沖縄の伝統文化を学習、体験する機会の確保を図るため、保育所へ伝統文化の専門講師を派遣する。	伝統文化を学習・体験した園児数 414人(4こども園)	伝統文化を学習・体験した園児数 414人(4こども園)	◎
01 那覇市	8 1	認可外保育施設的环境整備事業	H24 ～ R3	認可外保育施設において、指導監督基準を維持継続し保育環境の向上を図るため、改修整備費の補助を行う。また、施設の衛生環境の向上を図るため、認可外保育施設の害虫駆除を行う。	保育従事者や保護者等を対象に、施設の改修等により保育環境の向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	保育従事者や保護者等を対象に、施設の改修等により保育環境の向上が図られたかを含め、アンケートを実施。 【保育環境の向上が図られた旨の回答割合:90.9%】	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
01 那覇市	8 2	児童クラブ賃借料補助金	H24 ～ R3	児童クラブの運営を支援することにより、子供たちが安心・安全な環境で保育を受けることができるようになることで、育児の負担感の軽減を図る。	対象となる児童の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	・未実施	未
01 那覇市	8 3	ナノホイク案内人(ナビィ)設置事業(コンシェルジュ設置)	H25 ～ R3	認可外保育所を含めた本市の保育資源の最大活用のために、保育施設情報総合サイトによる情報発信と保育相談をきめ細かに行うための専門的相談員を常駐させることにより、待機児童の解消を図る。	待機児童数の減少割合 3%以上	待機児童数の減少割合:61%減	◎
01 那覇市	8 4	認可外保育施設・絵本読み聞かせ実施事業	H25 ～ R3	「絵本等読み聞かせ」の定着を図るため、保育従事者に「絵本等読み聞かせ」に関する研修等を行う。	研修への参加施設数9割以上 保育計画において「絵本の読み聞かせ」を導入した割合 8割以上	・研修への参加施設数:9割以上 ・保育計画において「絵本の読み聞かせ」を導入した割合:93%	◎
01 那覇市	8 5	ふれあいのまちづくり事業	H27 ～ R3	生活課題を抱える、障がい者や高齢者、生活困窮者等からの相談を受け、課題の解決を資するため、総合相談窓口を設置する。	対象となる相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	対象となる相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったかを含め、アンケートを実施。 【課題解決に役立ったと回答した割合:100%】	◎
01 那覇市	8 6	ボランティア振興事業	H27 ～ R3	ボランティア活動を促すため、ボランティアを養成するとともに、ボランティア活動のコーディネート等を行う。	①ボランティア登録者数(新規)80人 ②ボランティアのマッチング件数320件	①ボランティア登録者数(新規):148人 ②ボランティアのマッチング件数:90件 【達成率:64%】	△
01 那覇市	10 1	未来に羽ばたく臨港型都市再開発事業	H24 ～ R3	那覇軍港返還後の土地活用を円滑に進めるための跡地利用計画の策定に向け、地権者等との合意形成を図る。	跡地利用計画に対する合意形成活動参加者が合意形成活動へ評価すると回答した者の割合(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	跡地利用計画に対する合意形成活動参加者へのアンケート調査実施 【評価すると回答した者の割合:88%】	◎
01 那覇市	11 1	救命講座普及啓発推進事業	H24 ～ R2	災害時等において市民及び観光客等の安全の確保を図るため、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	①応急手当講習受講者数:8,000人以上 ②救命講習会の受講者へアンケートを実施し、応急手当に自信がある、できると思うが(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	①応急手当講習受講者数:514人 ②救命講習会の受講者へアンケート調査を実施 【応急手当に自信がある、できると思うと回答した割合:92%】	△
01 那覇市	12 1	地下壕対策事業	H24 ～ R3	地下壕に起因する事故の危険性を軽減させるため、危険性のある地下壕の埋め戻し等の対策を行う。	・地下壕対策工事(1箇所)の完了	・地下壕対策工事(1箇所)の完了	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	1 1	宜野湾市西海岸エリア活性化事業	R2 ～ R3	沖縄西海岸の中心に位置するアクセス性の高い立地を生かして、年間を通じてコンサートや各種イベントを開催し、観光産業の振興を図る。	・琉球海炎祭…来場者数1.6万人(うち県外8千人、海外2千人) ・うたの日コンサート…来場者数8千人 ・はごろも祭り…来場者数16.5万人 カチャーシー大会参加者個人35人、25団体 ・産業まつり…来場者数2.5万人 ・海浜公園周辺宿泊施設宿泊者数5%増(H30年度実績:279,874人→目標:294,000人)	・琉球海炎祭…0 ・うたの日コンサート…0 ・はごろも祭り…0 カチャーシー大会参加者…0 ・産業まつり…0 ・海浜公園周辺宿泊施設宿泊者数…72,887人	未
02 宜野湾市	1 2	企画展開催事業	H24 ～ R3	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。	企画展1本あたりの平均入館者数:1,470人以上	企画展1本あたりの平均入館者数:1,526人	◎
02 宜野湾市	1 3	文化財説明板・標識設置事業	H24 ～ R3	観光振興及び文化教育に資するため、市指定・登録文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板(ふるさと案内板)」を設置する。	文化財標識・説明板設置件数:2件 地域文化財案内板:5件	-	繰
02 宜野湾市	1 4	横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティ事業	H25 ～ R3	プロ野球のキャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信する。	来場者へのアンケート調査による満足度調査80%以上	・未実施	未
02 宜野湾市	1 5	宜野湾海浜公園施設等再編整備事業	H30 ～ R3	海浜という立地を活かした公園としての魅力の向上及び誘客の促進を図るため、文化スポーツ施設を中心に宜野湾海浜公園及びその周辺施設の整備を実施する。	建築及び土木工事(1期)の完了	-	繰
02 宜野湾市	1 6	嘉数高台公園等施設整備事業	H30 ～ R3	戦跡等もあり観光地としての側面もある嘉数高台公園において、来園者の利便性向上を図るため、公園施設の整備を実施する。	建築及び土木工事(1期)の完了	-	繰
02 宜野湾市	1 7	プロ野球キャンプ野球場施設整備事業	H30 ～ R3	野球場施設の機能拡張整備を実施し、継続して合宿を受け入れる体制を確保する。	建築工事の完了	建築工事 完了	◎
02 宜野湾市	1 8	博物館機能強化事業	H26 ～ R3	観光振興及び生涯学習に資することを目的に、文化発信拠点である市立博物館の案内板充実など機能強化を実施する。	館内施設整備(空調設備改修工事)の完了	館内施設整備(空調設備改修工事) 完了	◎
02 宜野湾市	2 1	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24 ～ R3	スクールソーシャルワーカー等を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校や問題行動の未然防止、早期対応、改善に取り組む。	スクールソーシャルワーカー等の支援による不登校児童生徒学校復帰率(「学校復帰、学級復帰、未然防止」に占める「学校復帰」の割合)30%	不登校児童生徒学校復帰率 31.28%	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	2 2	適応指導教室事業	H24 ～ R3	児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するなど不登校児童生徒の学校適応を促進する。	適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率:20%	適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率:17%	○
02 宜野湾市	2 3	児童生徒等相談事業	H24 ～ R3	臨床心理士、青少年教育相談指導員を配置し、相談等支援をとおり、不登校等の課題の改善に取り組む。	青少年サポートセンターに通所する児童生徒等のうち、主訴「不登校」とする児童生徒 学校復帰人数 6人	主訴「不登校」とする児童生徒 学校復帰人数 3人	△
02 宜野湾市	2 4	非行防止等巡回活動事業	H24 ～ R3	街頭指導員を配置して夜間街頭指導等を実施し青少年の健全育成に寄与するため関係機関や地域と連携しながら青少年の問題行動の未然防止、早期発見に取り組む。	夜間街頭指導件数:526件以下 ・H30年度実績の12%減 ※(計算式:598×(1-0.12))	夜間街頭指導件数:231件	◎
02 宜野湾市	2 5	学習支援員活用事業	H24 ～ R3	学習に遅れをとっている児童が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置し、個々の学力に応じた学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・小学校 国語: +2.2ポイント以上 算数: +2.0ポイント以上 ・中学校 数学: -1.7ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・小学校 国語: +2.3ポイント 算数: +1.2ポイント ・中学校 数学: -1.3ポイント	△
02 宜野湾市	2 6	派遣費補助金交付事業	H24 ～ R3	児童生徒の文化及びスポーツ活動を奨励し、県外の人との競争や交流の機会を増やすため、学校教育の一環としての県外派遣を支援する。	対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果「子どもの視野が広がったと思う」:80%以上	「子どもの視野が広がったと思う」:100%	◎
02 宜野湾市	2 7	スポーツ少年団派遣費補助事業	H25 ～ R3	スポーツ活動による児童・生徒の健全育成及び県外の人との交流の機会を増やすため、一定の基準を満たすスポーツ少年団に加盟している団体又は個人の県外派遣を支援する。	対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果「子どもの視野が広がったと思う」:80%以上	「子どもの視野が広がったと思う」:100%	◎
02 宜野湾市	2 8	特別支援教育支援員派遣事業	H28 ～ R3	宜野湾市立の幼小中学校における障がい児の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員を宜野湾市立幼小中学校へ77名派遣する。支援員の対応に対して、対象児童・生徒の保護者へ満足度についてアンケートを実施。 成果目標としては大多数が満足していると考えられる数値として「80%以上」と設定した。	満足度 89%	◎
02 宜野湾市	3 1	文化財保存整備事業	H24 ～ R3	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるように、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。	①野嵩クヌカ保存整備工事:1件 ②本部御殿墓の基本実施設計:1件	-	繰

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	3 2	歴史公文書等整理・活用事業	H24 ～ R3	歴史的価値を有する宜野湾市(村)の公文書等を整理し、今後の市民・利用者の資料要求に迅速に対応することを目的に、公文書等の保存及びデータベースへの登録を行い、公開基準を基に順次公開を行う。	・アンケートを実施し、市の歴史や文化への理解が深まった方の割合が80%以上とする。	市の歴史や文化への理解が深まった方の割合が100%	◎
02 宜野湾市	4 1	平和市民啓発事業	H24 ～ R3	命の尊さや平和意識について学ぶため、市内及び県内の戦跡等を巡る校外学習を行い、平和大使を創設する。沖縄戦から75年を迎える中で、改めて戦争の悲惨さ・平和の大切さを市民に啓発するため、本市の戦跡等を紹介するリーフレットの作成、戦争体験者の証言集を作成し、WEBページで公開する。	・作成したWEBページの閲覧数 R2年度:25件 R3年度:250件 ・本事業に参加した生徒や市民からアンケートを徴収し (1)平和に対する理解が深まった (2)この事業で学んだことを誰かに伝えたいと思う。 と回答する割合:80%	・作成したWEBページの閲覧数 143件 ・本事業に参加した生徒や市民からのアンケート (1)平和に対する理解が深まった:89% (2)この事業で学んだことを誰かに伝えたいと思う:未実施	△
02 宜野湾市	4 2	小学校英語教育課程特例校事業	H24 ～ R3	外国人英語指導助手(ALT)及び日本人英語教師(JTE)を小学校に派遣し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。	①小学1～4年生 英語による質問4項目に対する平均正答率 85%以上 ②小学5～6年生 小学校児童英語検定において、全国と本市との平均正答率の差 +1.7ポイント以上	①小学1～4年生 英語による質問4項目に対する平均正答率 87% ②小学5年生 平均正答率 88.5% 小学6年生 平均正答率 83.7%	△
02 宜野湾市	4 3	外国人教師招致事業	H24 ～ R3	外国人英語指導助手(ALT)を中学校に派遣し、生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・中学校 英語: +1.5ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・中学校 英語: +0.7ポイント	未
02 宜野湾市	4 4	学校ICT活用指導支援事業	H24 ～ R3	ICT支援員2名を配置し、ICTを活用する授業の支援、教職員向けの校内研修の実施、ICT機器整備に関する施策・事業計画の作成を行う。	① 教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる割合を80%以上を目標とする。 ② ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた児童生徒の割合80%以上	①授業にICTを活用して指導できる割合 95.5% ②授業が分かりやすかったと答えた児童生徒の割合88%	◎
02 宜野湾市	4 5	ICT機器活用推進事業	R1 ～ R2	児童の情報活用能力の育成環境を整備するため、小学校にICT機器を整備する。	① 教員にアンケート調査を実施し、授業にICT機器とデジタル教科書を活用して指導できる率:80%以上 ② 児童にアンケート調査を実施し、ICT機器とデジタル教科書の活用により、授業が分かりやすかったと答えた児童の割合:80%以上	①授業にICTを活用して指導できる割合 97% ②授業が分かりやすかったと答えた児童生徒の割合90%	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	5 1	市民防災事業	H27 ～ R3	宜野湾市地域防災計画に基づき食糧、飲料水の備蓄や、自主防災組織の強化を行い、適切な被災者支援を行う。	①保存食及び保存水の備蓄 ・R2年度備蓄食糧 備蓄率97% (H31年度備蓄食糧率75%) ・R2年度保存水 備蓄率10% (H31年度備蓄食糧率0.06%) ③資機材を整備することにより、自主防災組織の活動を推進できる団体 ・R2年度自主防災組織活動カバー率 約64%(自主防災組織の活動範囲世帯/全世界帯)	①保存食及び保存水の備蓄 ・R2年度備蓄食糧 備蓄率93% ・R2年度保存水 備蓄率8% ③資機材を整備することにより、自主防災組織の活動を推進できる団体 ・R2年度自主防災組織活動カバー率 68%	△
02 宜野湾市	6 1	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24 ～ R3	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	市民向けの意向醸成イベント ①来場者数:100人 地権者向けの意見交換会 ②参加者:100人	未実施	未
02 宜野湾市	6 2	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同調査)	H24 ～ R3	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	跡地利用計画(素案)策定に向けた検討調査を行い調査内容報告書の作成	調査報告書作成	◎
02 宜野湾市	7 1	被覆資材等導入推進補助事業	H27 ～ R3	本市農業振興を図る為、防風対策施設の設置及び被覆資材等導入にかかる経費に対する支援を行う。	被覆資材等導入面積:40,000㎡	被覆資材等導入面積:33,858㎡	○
02 宜野湾市	8 1	地域キャリア教育支援事業	H30 ～ R3	地域の企業、学校、保護者等が連携した連携協議会を開催、子どもたちが抱える課題の共有、解決策の検討をし、市内小中学校で職業体験プログラムを実施することで、児童生徒の就業意識の向上を図る。	就業意識の肯定的変化(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方について検証を行う。	就業意識の肯定的変化 95%	◎
02 宜野湾市	9 1	市民会館機能強化事業	H30 ～ R2	建設から35年以上が経過した施設の老朽化が進んでいる現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図り、市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化活動を行う場の確保を図るため、宜野湾市民会館の整備を実施する。	①大ホール・集会場天井落下防止対策工事等【工事】 ②客席ダウンライトLED化【工事】 ③舞台機構改修【設計】 ④バリアフリー対策による客席改修【工事】 ⑤駐車場等整備【設計】	①大ホール・集会場天井落下防止対策工事等【工事】完了 ②客席ダウンライトLED化【工事】完了 ③舞台機構改修【設計】完了 ④バリアフリー対策による客席改修【工事】完了 ⑤駐車場等整備【設計】完了	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
03 石垣市	1 1	観光誘客プロモーション事業	H24 ～ R3	観光地としての知名度向上及び観光誘客を図るため、観光イベントに出展し、プロモーション活動を行う。	・PRブース来場者数:1,200人以上 ・撮影ロケ地誘致件数:2件以上	・PRブース来場者数:1,110人 ・撮影ロケ地誘致件数:24件	○
03 石垣市	1 2	スポーツ!ウェルカム!石垣島!事業	H24 ～ R3	本市で各種スポーツ合宿が開催されることによって島外から競技関係者及び観客等の誘客を図るため、プロスポーツキャンプ等の誘致及び受入環境の整備を行う。	・プロスポーツキャンプ及びスポーツクラブのキャンプ実施団体数 8団体以上 ・プロ野球キャンプ期間中を通してキャンプ会場に会場した観客数 20,000人以上	・プロスポーツキャンプ及びスポーツクラブのキャンプ実施団体数 2団体 ・プロ野球キャンプ期間中を通してキャンプ会場に会場した観客数 0人	未
03 石垣市	1 3	観光地受入基盤強化事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、観光客歓迎イベントの開催や観光スポット等における受入態勢構築、観光誘客イベントへの支援を行う。	・クルーズ船での来訪客数:18,930人以上 ・南の島の星まつりへの来場者数:10,000人以上 ・とぅまらーま大会への来場者数:3,300人以上	・クルーズ船での来訪客数:0人 ・南の島の星まつりへの来場者数:0人 ・とぅまらーま大会への来場者数:600人	未
03 石垣市	1 4	南ぬ島石垣空港観光案内所運営事業	H25 ～ R3	観光客の利便性の確保を図るため、空港ターミナル内において観光案内所を運営し、観光案内サービスを実施する。	・観光案内によって利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する。	・観光案内によって利便性が確保されたか:92%	◎
03 石垣市	1 5	石垣市内文化財環境整備事業	H27 ～ R3	市民が市内にある文化財に触れる機会を確保するとともに、文化財を活用した観光誘客を図るため、指定文化財等の周辺環境を整備し、説明板、案内板等を設置する。	・文化財案内板設置完了	・文化財案内板設置完了	◎
03 石垣市	1 6	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業	H24 ～ R3	歴史の継承および観光資源として活用し、誘客を図ることを目的として、博物館所蔵資料の修復及びデジタル化を行いそれらを展示に活用するとともに、研究に供する。	・新聞資料6点、絵画資料11点の修復及びデジタル化	・新聞資料6点、絵画資料11点の修復及びデジタル化	◎
03 石垣市	1 7	花満開いしがきじま事業	H29 ～ R2	観光地としての魅力的な景観の形成を図るため、観光中心地に植栽を実施する。	・植栽工事の完了	・植栽工事の完了	◎
03 石垣市	2 2	新港地区国際クルーズ船寄航誘致支援事業	H24 ～ R2	クルーズ船の寄港増加を図るため、外国船受け入れに必要な保安設備の整備を行う。	・保安設備の整備完了(全部完了)	-	繰
03 石垣市	2 4	平久保半島エコロード整備事業	H25 ～ R2	平久保半島の自然をスポーツツーリズムの資源として活用し、観光誘客を図るため、平久保半島エコロードを整備する。	・測量設計の完了 ・道路整備工事の完了	・測量設計の完了 ・道路整備工事の完了	◎
03 石垣市	2 5	観光施設及びキャンプ場誘客整備事業	H24 ～ R3	観光施設利用者の利便性を確保するため、便益施設の整備、機能強化を行う。	・底地海水浴場の実施設計完了 ・平久保灯台駐車場用地の取得完了	-	繰

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
03 石垣市	2 6	石垣市中央運動公園リニューアル事業	H27 ～ R3	スポーツを通じた観光誘客を含め、中央運動公園の利活用促進を図るため、中央運動公園のリニューアル整備を行う。	・再整備基本計画の策定完了	・再整備基本計画の策定完了	◎
03 石垣市	3 1	離島保育士確保総合対策事業	H28 ～ R3	待機児童の解消に必要な保育士の確保を図るため、島内外からの保育士誘致や島内在住者の保育士資格取得支援等を行う。	・保育施設の新規開設による受入可能園児数：98人以上	・保育施設の新規開設による受入可能園児数：80人	○
03 石垣市	3 2	ひとり親家庭生活支援モデル事業	H30 ～ R3	ひとり親世帯の生活状況の改善を図るため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親世帯に対し、各家庭の状況に応じた支援を組み合わせ実施する。	・支援開始1年後の自立した世帯の割合：65%以上	・支援開始1年後の自立した世帯の割合：100%	◎
03 石垣市	3 4	ものづくり・マーケティング総合支援事業	H24 ～ R3	本市のものづくり産業に関する販路開拓を図るため、石垣空港からの海外輸出体制の構築、国内外でのPR販促活動、伝統工芸館における展示内容の強化等を行う。また、伝統工芸の担い手確保を図るため、技術者養成や新規就業に向けた支援制度の検討を行う。	・特産品の保税輸出量：1.1トン以上 ・PR催事(離島フェア)における出展ブース来場者数 延べ2,750人以上 ・八重山上布の研修終了者：8人以上	・特産品の保税輸出量：0.38トン ・PR催事(離島フェア)における出展ブース来場者数 0人 ・八重山上布の研修終了者：15人	△
03 石垣市	3 5	石垣市就労支援事業	H30 ～ R3	本市の将来を担う小中学生の職業観の醸成や就業意識の向上、起業精神の育成のため、職業体験イベント開催等のキャリア教育に取り組む。	・「わくわくワーク仕事体験会」来場者数：1,000名以上 ・島内の就業に対する意欲が向上したか(80%以上)を含め、事業のあり方についてアンケート調査により検証	・「わくわくワーク仕事体験会」来場者数：0名 ・島内の就業に対する意欲が向上したか：98.3%	△
03 石垣市	4 1	”石垣産の牛”生産推進事業	H24 ～ R3	肉用牛の生産拡大を図るため、素牛及び肥育牛の増産及び売上増加に向けた支援並びに家畜伝染病対策を行う。	・素牛の年間出荷頭数：6,575頭以上 ・素牛の平均販売額：741千円以上/頭 ・肥育牛の年間出荷頭数：776頭以上 ・肥育牛の年間売上高：1,045百万円以上 ・伝染病等にかかった頭数：0頭	・素牛の年間出荷頭数：6,718頭 ・素牛の平均販売額：602千円/頭 ・肥育牛の年間出荷頭数：854頭 ・肥育牛の年間売上高：949百万円 ・伝染病等にかかった頭数：0頭	○
03 石垣市	4 2	農水産物プロモーション事業	H27 ～ R2	石垣島産農水産物の認知度向上のため、石垣島産農水産物の情報発信拠点(アンテナレストラン)を設置し、プロモーションを行う。	・情報発信拠点施設への来場者数2,500人以上	・情報発信拠点施設への来場者数1,927人	○
03 石垣市	4 3	生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25 ～ R3	本市に水揚げされた生鮮水産物の販路確保を図るため、石垣市から沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の輸送費を補助する。	・生鮮水産物の沖縄本島への出荷量：130トン以上	・生鮮水産物の沖縄本島への出荷量：125トン	○

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
03 石垣市	4 4	水産振興事業	H24 ～ R3	沖縄ミーバイの生産量の増加を促進するため、沖縄ミーバイ種苗を沖縄本島の本部にある栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。	・沖縄ミーバイ種苗の輸送費支援完了	・沖縄ミーバイ種苗の輸送費支援完了	◎
03 石垣市	4 5	石垣島産マグロ類販売力強化支援事業	H30 ～ R2	島産マグロの品質及び価格の向上を図るため、島産マグロの流通に関わる者がブランド向上に向けた情報共有を行う機会を設定する。また、島内外においてPR活動を実施する。	・石垣島産マグロの販売力強化支援業務完了	・石垣島産マグロの販売力強化支援業務完了	◎
03 石垣市	5 1	防災体制整備事業	H24 ～ R3	災害時の市民や観光客等の安全を確保するため、災害時の情報提供手段の確保や住民の避難、災害応急対応等の諸活動の円滑化を推進する仕組みを整備する。	・防災行政無線設備デジタル化移転工事の完了(17基)	・防災行政無線設備デジタル化移転工事の完了(17基)	◎
03 石垣市	6 1	児童・生徒派遣費助成事業	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、市外・県外で開催される大会等及び選抜選手による合同練習に参加する児童生徒並びにその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。	・申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合80%以上	・申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合:100%	◎
03 石垣市	6 2	平和推進事業	H24 ～ R3	児童生徒を含め市民が平和の大切さに対する理解を深めるため、平和について学ぶ機会をつくる。	・平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、コンクールや催事に参加した児童生徒を対象としたアンケートにより本事業の在り方について検証する ・慰霊祭及び平和フォーラム等への参加者並びに絵画・作文コンクールへの応募者数 延べ740名	・平和に対する理解が深まったか:93% ・慰霊祭及び平和フォーラム等への参加者並びに絵画・作文コンクールへの応募者数 延べ1,173名	◎
03 石垣市	6 4	気になる子のすこやかな学び支援事業	H25 ～ R3	発達支援を必要とする乳幼児や心身の発達に配慮が必要な児童生徒を抱える者の不安軽減を図るため、臨床心理士、子育て相談員を雇用し、必要に応じて各幼児教育施設や学校、関係機関に派遣し、教育相談や子育て相談等を行う。	・臨床心理士等への相談により育児・発達等に対する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業の在り方について検証	・臨床心理士等への相談により育児・発達等に対する不安が軽減されたか:100%	◎
03 石垣市	6 5	「学ぶ意欲・わかる授業」を推進する事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力の向上を図るため、学校教育支援員の配置及び、学力先進地域より講師を招聘し教員を対象とした研修会を開催する。また、英語に対する興味・関心の向上を図るため、外国語学習支援員を派遣する。	・沖縄県到達度調査の全体平均正答率:小学校60%以上、中学校50%以上 ・英語への興味・関心が向上したと回答をした児童生徒の割合(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。	・沖縄県到達度調査の全体平均正答率:小学校:56.2%、中学校46.1%以上 ・英語への興味・関心が向上したと回答をした児童生徒の割合:72%	○

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
03 石垣市	6 6	情報教育充実事業	H24 ～ R3	ICT機器を使用し、分かりやすい授業を実施するため、学校ICT支援員を配置し、ICT活用推進を支援するとともに、デジタル教材の整備等を行う。	・ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証	・ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか:88%	◎
03 石垣市	6 7	専門人材育成事業	H28 ～ R3	島内から多くの教員採用試験合格者を輩出し、教育を担う人材の育成を図るため、教員採用試験対策講座を実施する。	・小学校での教員採用試験合格者数:9人以上 ・中学校での教員採用試験合格者数:4人以上 ・受講することで有効な試験対策ができたか(80%以上)を含め、受講者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・小学校での教員採用試験合格者数:7人 ・中学校での教員採用試験合格者数:10人 ・受講することで有効な試験対策ができたか:97%	○
03 石垣市	6 9	スポーツ教室・交流事業	R1 ～ R3	市民が様々なスポーツに触れる機会を創出するため、トップアスリートによる講演会、指導者講習会、スポーツ教室を実施する。	・トップアスリートによる講演会、指導者育成講習会、スポーツ教室の参加者数:延べ320名以上 ・指導者講習会を通じて指導力の向上につながったか(80%以上)を含め、参加者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・トップアスリートによる講演会、指導者育成講習会、スポーツ教室の参加者数:195名 ・指導者講習会を通じて指導力の向上につながったか:88%	○
03 石垣市	6 11	不登校対策等支援員配置モデル事業	H30 ～ R3	児童生徒の不登校未然防止及び不登校児童生徒の復学を図るため、市内の小・中学校にスクールライフサポーターを配置し、児童生徒の学校生活支援や不登校児童生徒の復学支援を行う。	・スクールライフサポーターを配置したモデル校の不登校率: 小学校1.35%以下 中学校6.8%以下	・スクールライフサポーターを配置したモデル校の不登校率: 小学校0.56% 中学校4.28%	◎
03 石垣市	6 12	子ども若者総合相談支援事業	R1 ～ R3	社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども若者の困難の解消を図るため、子ども若者相談窓口を設置、ユースアドバイザーを配置し、相談受付及び支援を実施する。	・本事業で支援を受けた者の数30名以上 ・支援を受けた者のうち、本事業の支援によって支援を要しない状態となった者の割合:27%以上	・本事業で支援を受けた者の数:55名 ・支援を受けた者のうち、本事業の支援によって支援を要しない状態となった者の割合:56%	◎
03 石垣市	7 1	新石垣空港国際線旅客施設強化事業	H27 ～ R3	八重山圏域の戦略的な国際観光拠点として、国際線旅客ターミナルを中型機対応施設として整備することにより、受入態勢の強化を図るため、施設の増改築に係る工事費を補助する。	・建築工事の一部実施の補助完了	・建築工事の一部実施の補助完了	◎
04 浦添市	1 2	ありんくりんクリーン事業	H24 ～ R3	史跡浦添城跡などの古城跡や中頭方西海道及び普天満参詣道などの歴史の道、石橋、歴史上の人物の墓などのほか、地域の御嶽や湧水等を観光資源として活用するために、それらの文化財の環境整備を図る。	魅力的な観光地としての景観形成を図れたか(80%以上)を含め、見学者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観形成を図れたか。98%	◎
04 浦添市	1 3	歴史・文化ガイダンス強化事業	H25 ～ R3	歴史文化の継承と観光誘客を図るため、市内の歴史・文化ガイダンス施設へガイドを配置する。また、各施設で配布する文化財案内ガイドブックを作成する。	①ガイダンス施設入館者数:15,560名以上/年 ②文化財ガイドブックの配布:10,000部	①ガイダンス施設入館者数:4,599名/年 ②文化財ガイドブックの配布:10,000部	△

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
04 浦添市	2 1	てだこ市民によるウラソイ風景づくり推進事業	H24 ～ R3	観光地としての魅力向上及び、地域文化継承を図るため、「沖縄らしい美しいまちなみ景観」の創出・保全・再生に向けた各種取り組みを行う。	①風景づくり推進調査業務の完了 ②補助工事33件 ・赤瓦葺き工事:13件 ・石積み、石張り等の工事:7件 ・生垣等の工事:13件 ③地域の歴史や文化に対する興味、関心度の確認(80%以上)を参加者に対し、アンケートを実施するとともに本事業のあり方の検証も行う。	①風景づくり推進調査業務の完了 ②補助工事27件 ・赤瓦葺き工事:11件 ・石積み、石張り等の工事:5件 ・生垣等の工事:11件 ③地域の歴史や文化に対する興味、関心度の確認:100%	○
04 浦添市	2 2	地域資源復元推進事業	H24 ～ R3	沖縄の歴史的景観を再生し、沖縄らしい風景づくりを推進することにより、文化・観光の振興を図る。そのために、地域に所在する文化・観光資源である市指定文化財等や中頭方西海道等の歴史の道のルート整備を行う。令和2年度は市指定史跡「仲間火又神」の復元整備工事を行う。	仲間火又神の復元整備完了	-	繰
04 浦添市	3 1	悠々ロマン漆とアートに出会うまち浦添推進事業	H24 ～ R3	市民への文化の継承と観光振興を図るため、琉球漆器の歴史や文化等を紹介する市美術館において常設展や講座等を実施する。	常設展観覧者数:4,360人以上/年	常設展観覧者数:4,456人/年	◎
04 浦添市	4 1	島桑オージー&オーバーで観光・産業・街おこしプロジェクト	H24 ～ R3	浦添市の特産品である沖縄在来種のシマグワ関連商品の販売額の増加を図るため、シマグワの栽培、加工、商品開発・製造、販売等を行う。	桑関連事業売上目標:30,000千円	桑関連事業売上目標:19,903千円	未
04 浦添市	4 3	浦添観光振興事業	H29 ～ R3	観光誘客を図るため、観光ポータルサイトの活用等により市の観光資源の情報発信を行う。また観光客のニーズ把握及び情報収集の利便性向上を図るため、公衆無線LAN環境を整備する。	①ポータルサイト訪問者数683,000以上 ②プロ野球春季キャンプファン誘客34,000人以上	①ポータルサイト訪問者数 580,729人 ②プロ野球春季キャンプファン誘客 0人	未
04 浦添市	5 1	災害時備蓄食料及び保管倉庫等整備事業	R1 ～ R3	災害時における住民及び観光客の安全確保を図るため、未整備の避難所に備蓄倉庫を設置し、備蓄米、飲料水及び災害用備品等を配備する。	備蓄食料及び災害用備品等の配備完了 ・JICA ・指定避難所等31カ所	備蓄食料及び災害用備品等の配備完了 ・JICA ・指定避難所等31カ所	◎
04 浦添市	6 1	那覇港輸出貨物増大促進事業	H29 ～ R3	沖縄県は地理的要因などから輸送コストが割高となっているため、その解消策として、那覇港に寄港する船社を対象とした実証実験を実施し、取扱貨物量の増加及び航路の拡充を図る。	取扱貨物量の増加を図るため、新規外航航路を開設する。(1航路)	取扱貨物量の増加を図るため、新規外航航路を開設した。(1航路)	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
04 浦添市	7 1	未来へ翔たく太陽っ子育成事業	H24 ～ R3	市内在住又は市内小中学校在籍の児童生徒がスポーツ・文化活動の全国大会において、県外生徒との競争や交流機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、全国大会に参加する児童生徒を対象として、大会開催地までの渡航に必要な経費の一部を支援する。	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業の効果を検証する。	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか。99%	◎
04 浦添市	8 2	学力等底上げ推進支援事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力向上を図るため、各小中学校へ学校教育支援員及び日本語教育支援員を配置し、学習支援を行う。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差を以下のとおりとする ・小学校:算数 +0.2ポイント以上 ・中学校:数学 +0.2ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差を以下のとおりとする ・小学校:算数 +0ポイント以上 ・中学校:数学 +0.1ポイント以上	未
04 浦添市	8 3	課題を抱える児童生徒支援事業	H26 ～ R3	情緒不安やあそび非行傾向等課題を抱える不登校児童生徒へ支援を行うために、各支援員を配置し登校復帰や不登校未然防止を図る。	不登校児童生徒復帰率 小学校:40.1%以上 中学校:46.5%以上	不登校児童生徒復帰率 小学校:29.3% 中学校:44.3%	○
04 浦添市	8 4	適応教室適応指導員配置事業	H26 ～ R3	不登校児童生徒の学校復帰を図るため、適応指導教室に適応指導員を配置し、個々の状況に応じた学習指導や体験活動、教育相談などの支援活動を行う。	本事業で支援した不登校児童生徒の学校復帰率 100%以上	本事業で支援した不登校児童生徒の学校復帰率 100%	◎
04 浦添市	8 5	子どもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業	H27 ～ R3	学校教育の質の確保を図るため、市内の小中学校にICT機器を整備する。	①ICT機器を整備した14校の教員にアンケートを実施し、「整備されたICT機器を授業で活用している」と答えた割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 ②ICT機器を整備した14校の児童生徒にアンケートを実施し、「整備されたICT機器を活用した授業が分かりやすかった」と答えた割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	①ICT機器を整備した14校の教員にアンケートを実施し、「整備されたICT機器を授業で活用している」と答えた割合:81.6% ②ICT機器を整備した14校の児童生徒にアンケートを実施し、「整備されたICT機器を活用した授業が分かりやすかった」と答えた割合:87%	◎
04 浦添市	8 6	デジタル教科書導入事業	R2 ～ R3	市内小学校へ、指導者用デジタル教科書を導入LICT環境を整備する。	指導用デジタル教科書の活用により「授業がわかりやすかった」とアンケートに回答した児童の割合80%以上	指導用デジタル教科書の活用により「授業がわかりやすかった」とアンケートに回答した児童の割合:91%	◎
04 浦添市	10 1	浦添市学童っ子応援プロジェクト事業	H24 ～ R3	放課後児童クラブの安定的な運営と保護者の就労を支援する為、家賃補助を行う。	安定的な運営となっているか、安心・安全に子どもを預けることができ、就労の支援となっているか(80%以上)を含め、対象となる学童クラブ及び児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証。	安定的な運営となっているか、安心・安全に子どもを預けることができ、就労の支援となっているか:100%	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
04 浦添市	11 2	里道及び水路の境界確定復元事業	H24 ～ R3	戦後、地籍が確定されないままに家屋等が建築された箇所等について、境界問題を解決し、今後の道路整備や緊急時避難路の確保につなげるため、里道及び水路の用地測量を実施し、境界の復元・確定を行う。	登記済延長率:93% (R1実施分:8%)	登記済延長率:93% (R2実施分:8%)	◎
04 浦添市	11 3	牧港補給地区跡地利用まちづくり活動支援事業	H24 ～ R3	地主会若手組織の活動体制づくり、地主相互及び地主と行政の連携強化を通して牧港補給地区の跡地利用の円滑な推進を図るため、牧港補給地区地主会若手組織による勉強会等の活動を支援する。	勉強会への参加者に対して、跡地利用について理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	勉強会への参加者に対して、跡地利用について理解が深まったか:88%	◎
04 浦添市	11 4	牧港補給地区返還跡地転用推進基金事業	H24 ～ R3	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、牧港補給地区の土地の先行取得を実施するための基金を造成する。	【R2成果目標】 基金積立 【R3成果目標】 特定事業の用に供する土地取得目標 42,000㎡ (達成率100%) ※達成率:先行取得目標面積(174,000㎡)に対する累積取得面積の割合	【R2成果目標】 基金積立	◎
04 浦添市	12 1	浦添市防犯灯LED化推進事業	H28 ～ R3	二酸化炭素排出量を削減するため、既存防犯灯を消費電力の少ないLEDへ切り替える設置者(自治会)に対して補助金を交付する。	R2年度中に切り替える防犯灯による二酸化炭素排出量 年30,000kg-CO2の削減 (H29年度からの累計削減量:320,000kg-CO2/年(H28年度比))	R2年度中に切り替える防犯灯による二酸化炭素排出量 年30,578kg-CO2の削減	◎
05 名護市	1 1	学習指導支援者配置事業	H24 ～ R3	市内小中学校に学習指導支援者を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率(県と市との差) ①小学3年生 算数(-4.0以内) ②中学2年生 数学(-4.0以内)	①小学5年生 算数:-4.0 ②中学2年生 数学:-4.1	△
05 名護市	1 2	生徒指導支援者配置事業	H24 ～ R3	生徒指導支援者を配置し、特別な支援を要する不登校及び不登校気味の児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う。	支援対象の不登校児童生徒の登校復帰人数の割合 21%	復帰割合12%	未
05 名護市	1 3	小中学校英語支援員配置事業	H24 ～ R3	市内小中学校に英語支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	①学力調査(英語)の正答率 ・小学校5年生:正答率80% ・小学校6年生:正答率80% ②沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 中学2年生英語: -3ポイント	・小学校5年生:87.7% ・小学校6年生:84.1% 中学2年生英語:-4.2ポイント	△

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
05 名護市	1 5	適応指導教室支援員配置事業	H24 ～ R3	適応指導教室へ支援員を配置し、心理的、情緒的要因による不登校児童生徒及び不登校気味の児童生徒に登校復帰のための指導・支援を行う。	①適応指導教室に通級している児童生徒のうち、学校復帰できた児童生徒の割合25% ②適応指導教室に通級している児童生徒のうち、チャレンジ登校できた児童生徒の割合73%	①0% ②91%	△
05 名護市	1 6	名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24 ～ R3	児童生徒が沖縄県外において開催されるスポーツや文化等の大会に参加する際に必要となる派遣費用に補助することで、沖縄県外の人と競争や交流する機会への参加を促進する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が県内では出来ない経験をすることができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証。	100%	◎
05 名護市	1 7	小中一貫教育推進事業	H24 ～ R3	小中一貫教育校「屋我地ひるぎ学園」に非常勤講師を配置し、小中学校において相互乗り入れ授業やチームティーチング(TT)授業等より分かる授業を実践する。	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 ①小学5年生 算数: 県平均以上 ② 中学2年生 数学: +5ポイント以上	①-5.6ポイント ②+8.5ポイント	△
05 名護市	2 1	ファイターズ・キャンプ支援事業	H24 ～ R3	北海道日本ハムファイターズのキャンプ受入体制を整えることで、見学者数の増を図る。	①プロ野球キャンプ時における見学者数 R2年度: 29,000人以上 ②名護市観光統計入込客数 R2年: 6,921,142人以上	①無観客開催 ②3,093,341人	未
05 名護市	2 3	やがじ地域観光拠点整備事業	H28 ～ R3	やがじ地域の観光地周辺及び観光体験施設の整備を実施する。	・オランダ墓物件補償の完了 ・資材単価調査 ・オランダ墓アクセス通路工事の完了 ・塩づくり体験施設用地購入の完了 ・塩づくり体験施設開発許可 ・塩づくり体験施設土木工事の完了	-	繰
05 名護市	2 7	21世紀の森公園及び名護漁港エリア活性化事業	H30 ～ R3	名護湾沿岸基本構想において設定した3エリアのうち「21世紀の森公園周辺」及び「名護漁港」エリアを構成する各施設を整備し活性化を図るため、基本計画を策定する。	21世紀の森公園及び名護漁港エリア活性化基本計画の策定完了	基本計画の策定完了	◎
05 名護市	3 1	名護市金融・情報特区企業招聘セミナー等広報イベント事業	H24 ～ R3	金融・情報関連企業の誘致を促進するため、学生・市民向けの金融・IT講座を実施する。	金融・情報基礎人材育成講座の参加者: 150名	163名	◎
05 名護市	4 1	優良繁殖雌牛導入事業	H27 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛を導入する際の費用を補助する。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 13%以上	116%	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
05 名護市	5 1	救命処置普及強化支援事業	H27 ～ R3	急病や事故、災害等により市民及び観光客が負傷した際の救命体制を確保するため、救命講習会を実施する。また市内全てのコンビニエンスストアへAEDを設置する。	①適切な応急手当が理解できたか(80%以上)を含め、救命講習会参加者へのアンケートで本事業のあり方を検証する。 ②まちかど救急ステーション認定事業所:5件以上 ③設置したコンビニエンスストアの従業員へ救命講習会受講を促し、適切な応急手当等が理解できたか(80%以上)を含め、受講後にアンケートを行い本事業のあり方を検証する。	①100% ②0件 ③0%	△
05 名護市	5 2	ハブ対策事業	H27 ～ R3	観光客や地域住民からハブ類の目撃情報の提供を受け、目撃箇所周辺にハブ捕獲器を設置し捕獲・駆除する。	捕獲器設置箇所周辺におけるハブ咬傷被害件数:0件	0	◎
05 名護市	5 3	環境再生・活用整備事業	H29 ～ R3	喜知留川の集中豪雨による浸水災害防止を図り、地域の自然を活かした教育の場・憩いの場として活用する河川に整備する。	喜知留川拡幅整備に伴う既存橋梁(渡名喜橋)周辺の用地測量と用地取得、物件補償調査と物件補償(ブロック塀、立竹木等)の完了	・用地測量完了/用地取得 ・物件補償調査完了/物件補償完了	◎
05 名護市	6 1	名護市自転車まちづくり推進事業	H24 ～ R3	名護市自転車ネットワーク計画に基づき、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、市内の市道に自転車の通行空間となるモデルレーン(自転車指導レーン)整備を実施する。	令和2年度自転車指導レーン整備延長:1,350mの整備 宇座線:200m 名護40号線:120m 名護42号線:110m 大北大西線:320m 北農線:600m	1,350m	◎
05 名護市	8 1	スポーツ力向上促進事業	R1 ～ R3	児童生徒のスポーツへの興味・関心を高めるため、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室や講演会を開催する。また、指導者の指導力を向上させるため、指導者講習会を開催する。	①スポーツ教室・講演会への参加児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識がさらに高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 ②講習会を受講した参加者(指導者)に対して、指導力が向上したと感じたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	①97% ②未実施	△
05 名護市	9 1	幼保連携型総合施設整備事業	R1 ～ R2	働く保護者等の育児負担の軽減及び子育て家庭の孤立化を抑制し育児不安を軽減するため、二見以北地域の市立幼稚園と保育園を統合し、幼保連携型認定こども園を整備する。	・建築工事完了 ・機械設備工事完了 ・電気設備工事完了 ・厨房設備工事完了 ・備品購入完了	-	繰

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「繰越」・・・「繰」
 「遂行困難」・・・「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
05 名護市	10 1	わんさか大浦パーク機能強化整備事業	R1 ～ R3	二見以北地域唯一の観光拠点「わんさか大浦パーク」に、来場者が学習できる機能や名護・やんばる東海岸地域の情報発信機能等を新たに整備する。 R2年度は機能強化に向けた基本設計を実施する。	基本設計の実施完了	基本設計完了	◎
05 名護市	11 1	21世紀の森体育館機能強化事業	R1 ～ R2	スポーツコンベンション誘致件数の増加を図るため、バレーボール支柱及び電光掲示盤等を整備し、21世紀の森体育館の機能を強化する。	備品購入完了	備品購入完了	◎
05 名護市	12 1	ICT機器活用推進事業	R2	わかりやすい授業を構築し学校教育の質の確保を図るため、市内小中学校の特別教室等に電子黒板、その他周辺機器を整備する。	電子黒板の整備完了	27台設置	◎
06 糸満市	1 1	生活感幸(観光)環境づくり事業	H24 ～ R3	観光地としての魅力発信の向上を図るため、各地域の歴史民俗地図を作成する。	・市ホームページ上での歴史民俗地図・現況図へのアクセス数1,650件以上 ・旧喜屋武村集落ガイドマップ配布者へのアンケート「市の歴史・文化への理解が深まったか」に対して「はい」の割合80%以上	・市ホームページ上での歴史民俗地図・現況図へのアクセス数2,256件 ・アンケート「市の歴史・文化への理解が深まったか」に対して「はい」の割合89%	◎
06 糸満市	1 2	沖縄らしい風景づくり事業	H24 ～ R3	風景づくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る。	・重点地区施設実施設計完了 ・助成金による景観形成整備の完了(5件)	・重点地区施設実施設計完了 ・助成金による景観形成整備の完了(4件)	○
06 糸満市	2 1	観光地危険生物駆除事業	H25 ～ R3	観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除を行う。	・市内における観光客の年間ハブ咬傷被害2件以内	・市内における観光客の年間ハブ咬傷被害4件	未
06 糸満市	3 2	文化交流・情報発信拠点施設整備事業	H25 ～ R3	観光客のさらなる誘客と訪れる観光客の市内回遊を高めるため、地域の歴史的魅力や文化芸術活動等を内外に発信する文化交流・情報発信拠点施設を整備する。	・(仮称)糸満市文化・平和・観光振興センター工事2年目の完了 ・展示製作業務1年目の完了	-	繰
06 糸満市	4 1	確かな学力を育むサポート事業	H24 ～ R3	学習の遅れからくる劣等感等で不登校になる事もあり、学習支援や学校生活への不応の児童生徒を指導するなど学力向上と登校復帰を図るため、学校現場へ学習・自立支援員を配置する。	県学力到達度調査の県との差 小学校算数0% 中学校数学-1%	県学力到達度調査の県との差 小学校算数0.5% 中学校数学-0.3%	△

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
06 糸満市	4 2	英語指導事業	H24 ～ R3	英語指導を通じたコミュニケーション能力と国際感覚を身につけた人材育成を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導や学級での質の高い英語指導をサポートする英語指導助手を配置する。	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか(85%以上)を含め、本人へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ・中学生 県学力到達度調査の県との差 中学校英語-1%	・小学生 本人へのアンケートによる回答。英語に対する興味・関心が高まったか(95%以上) ・中学生 県学力到達度調査の県との差 中学校英語-0.3%	◎
06 糸満市	4 3	適応指導教室設置事業	H25 ～ R3	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。	・適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率35%	・適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率68%	◎
06 糸満市	4 4	障害児学習環境づくり事業	H24 ～ R3	発達障害を含む様々な障害を持つ児童生徒に支援ヘルパーを配置する。また、認定こども園等他機関との連携や学校での取り組みなどを多方面からの支援が必要であることから、特別支援教育指導コーディネーターを配置する。	・対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(85%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方の検証	・対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(96%)	◎
06 糸満市	4 5	情報教育環境づくり事業	H25 ～ R3	学校のICT環境整備を行うことでパソコン及び電子黒板等を活用し、より分かりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成や情報教育の充実を図るため、情報教育支援員を派遣する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ・情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか(80%以上)を含め、教員へのアンケートにより本事業のあり方の検証	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったという回答(90.5%) ・教員へのアンケートを実施し、情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(94.2%)	◎
06 糸満市	5 1	運動公園・体育施設機能強化事業	H24 ～ R3	スポーツ観光の一層の充実を図るため、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化を図る。	・合宿誘致件数13件	合宿誘致件数1件	未
06 糸満市	6 1	母子生活支援モデル事業	H29 ～ R3	ひとり親家庭の子どもの心身の健全な発達等を支援するため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親家庭に対して、民間アパート等を借上げし、地域の中で自立した生活が送れるよう支援する。	・支援終了者のうち自立につながった割合100%	・支援終了者のうち自立につながった割合75%	○
07 沖縄市	1 1	Kozaフィルムオフィス事業	H24 ～ R3	映画やドラマ等の誘致活動や撮影支援を行い、撮影件数の増加を図る。	・撮影件数81件	・撮影件数45件	未
07 沖縄市	1 2	音楽資源活用事業	H24 ～ R3	沖縄民謡や戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な音楽資源の展示や音楽イベント等を開催することで、観光客の誘客を図る。	観光客来館者数:3,800人	観光客来館者数:632人	未

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	1 3	音楽観光誘客事業	H24 ～ R3	音楽イベントの開催やライブハウスなどの音楽情報を発信することで、観光客の誘客を図る。	「おきなわ音楽月間」期間中における主要イベントの集客数:53,000人	「おきなわ音楽月間」期間中における主要イベントの集客数:1,899人	未
07 沖縄市	1 4	文化活動拠点施設機能強化事業	H24 ～ R3	文化の振興および観光誘客の拡大を図るため、伝統芸能や演劇に加え、県外有名アーティストのコンサート等幅広いジャンルで活用される文化活動拠点施設の舞台機構、照明など、設備の機能充実を図る。	・沖縄市民小劇場あしびな一照明設備機器改修工事の完了	・沖縄市民小劇場あしびな一照明設備機器改修工事の完了	◎
07 沖縄市	1 5	国際交流事業	H24 ～ R3	多国籍住民の相談窓口の開設を実施し、生活上等の困難の改善を図る。 また、市民等に語学講座や交流会等を開催し、国際感覚を持つ人材の育成を図る。	①来所者数8,500人 ②生活上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、相談者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	①来所者数2,726人 ②100%	△
07 沖縄市	1 6	エイサーのまち推進事業	H24 ～ R3	エイサーのPRや振興を通して、観光客の誘客の拡大を図る。	・エイサー会館来場者数 27,874人以上	・エイサー会館来場者数 9,556人以上	未
07 沖縄市	1 7	観光宣伝事業	H25 ～ R3	観光PR活動を実施することで、滞在型観光の推進を図る。	主要ホテル宿泊延べ人数:354,585人	主要ホテル宿泊延べ人数:110,730人	未
07 沖縄市	1 9	観光統計調査事業	H30 ～ R3	沖縄市を訪れる観光客の旅行動向の実態を調査・分析を行い、効果的な観光宣伝に繋げる。	観光入込統計調査の完了。	観光入込統計調査の完了。	◎
07 沖縄市	1 10	戦後文化資料等展示事業	H24 ～ R2	沖縄市戦後文化資料展示館ヒストリーの常設展・企画展の充実を図ることで、国内外から大学生や研究者、修学旅行等を含む観光客の誘客を図る。	年間来館者数25,800人	年間来館者数6,358人	未
07 沖縄市	2 1	スポーツコンベンション推進事業	H25 ～ R3	プロスポーツチームやアマチュア団体の合宿誘致を行い、スポーツ合宿宿泊者数の増加を図る。また、プロスポーツ団体等のPR活動や交流イベントの開催によりホームゲームへの観客動員数増を図る。また、2023年FIBAバスケットボールワールドカップ開催に向けた機運醸成に取り組む。	・スポーツ合宿延べ宿泊者数 38,700人 ・ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数 205,660人 ・W杯1000日前イベント来場者数:3千人	・スポーツ合宿延べ宿泊者数 2,783人 ・ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数 33,184人 ・W杯1000日前イベント来場者数:1,200人	未
07 沖縄市	3 1	道路景観形成等推進事業	H24 ～ R3	観光地周辺道路を整備することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含めアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・未実施	未

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	3 2	緑化景観推進事業	H30 ～ R3	観光地周辺道路を植栽整備することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	81.3%	◎
07 沖縄市	4 1	こども科学力育成事業	H24 ～ R3	こどもたちが、科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学イベントや学校等における出前科学教室の開催や科学クラブの設立に向けた支援を行う。	・参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったか(参加児童生徒へのアンケートで、満足度95%以上)	97%	◎
07 沖縄市	4 2	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24 ～ R3	児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、学校支援教育専門員、教育補助者、外国語指導助手等を配置することにより、きめ細やかな指導の充実に取り組む。	・沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 小学校:県との差±0ポイント以内を目指す。 中学校:県との差-2ポイント以内を目指す。	小学校:-0.8ポイント 中学校:-1.4ポイント	△
07 沖縄市	4 3	気になる子等の学びを支援する事業	H24 ～ R3	特別な支援が必要な子に対し、幼稚園、小中学校までの継続的な支援を行う。 また、不登校や学力不振の児童生徒への登校支援、学習支援を行う	・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度70%以上 ・不登校児童生徒登校復帰率21%以上	・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度:83.1% ・不登校児童生徒登校復帰率:22.5%	◎
07 沖縄市	4 4	青少年等支援事業	H25 ～ R3	巡回指導、相談、支援を行い、青少年等の健全育成を図る。	①午前・午後巡回指導件数 前年度比22.75%減 ②夜間・合同街頭指導件数 前年度比9.4%減 ③若者の主訴改善件数 11件以上	①9%増 ②51%減 ③25件	△
07 沖縄市	5 1	就労等支援事業	H24 ～ R3	若年者や子育て世代等に対する就労相談や各種講座等の実施し、求職者の就職決定に繋げる。また、企業の雇用環境の改善に向けたセミナー等を実施する。	・就職決定者割合22.7% ・参加者へのアンケートで、職業理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・就職決定者割合:15.2% ・参加者へのアンケートで、職業理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する:94%	△
07 沖縄市	5 2	産業集積推進事業	R2 ～ R3	地域経済を牽引する人材や企業の輩出や、外部の人材や企業の移転を促進し、市内及び中心市街地における新たな産業の集積を図るため、商店街内の空き店舗に創業支援・ICT人材育成等の取組を一体的に推進する拠点施設を設置・運営する。	・創業支援者数:54件 ・就業件数:42件	・創業支援者数:66件 ・就業件数:14件	△
07 沖縄市	6 1	地域防災対策事業	H24 ～ R3	地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の結成促進や災害用備蓄の確保など行う。 また、防災倉庫を整備し、市民に災害警戒域を知らせるため、防災マップを整備する。	・整備した防災資機材等を活用した避難訓練を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 ※防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練するものとする。	整備した防災資機材等を活用した避難訓練を実施し、整備した資機材が観光客や住民の安全確保に資するか(約80%以上)を含め、訓練参加者に対するアンケートで、本事業のあり方について検証結果:100%	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	6 2	災害時緊急避難通路整備事業	H24 ～ R3	里道を活用した災害時緊急避難通路を整備し、津波等の自然災害などに対する防災力の向上を図る。	・比屋根地区1路線68mの整備工事の完了 ・本避難経路を活用した避難訓練の実施(1回/年)により、安全安心に避難できたか80%を含め訓練参加者に対してアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	-	繰
07 沖縄市	6 3	防災拠点体制整備事業	R2 ～ R3	災害時の住民や観光客等の安全を確保するため、広域避難場所であるコザ運動公園において避難所及び災害対策本部等の機能を有する防災拠点としての体制を整備する。	R2備品整備の完了	-	繰
07 沖縄市	7 1	里道および水路の境界確定復元事業	H24 ～ R3	不明確な里道及び水路の位置を確定することで、(仮)沖縄市法定外公共物整備計画を策定し、里道・水路の占用許可・用途廃止等を行う。	確定測量の完了 表示登記申請の完了	-	繰
07 沖縄市	9 1	平和行政事業	H30 ～ R3	沖縄戦の体験や教訓を考える取組を行い、沖縄戦への理解を深める。	沖縄戦への理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	86%	◎
07 沖縄市	10 1	農業施設整備事業	R1 ～ R3	本市倉敷地区の畜産農家・耕種農家の農業用水を確保するため、倉敷ダム放流水を水源とする取水施設や貯水池の整備を行う。今年度は実施設計を行う。	実施設計の完了	実施設計の完了	◎
07 沖縄市	11 1	沖縄こどもの国推進事業	H27 ～ R3	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の誘客促進のため、プロモーション業務を実施する。	・沖縄こどもの国プロモーション業務の完了 ・目標入園者数60万人	・沖縄こどもの国プロモーション業務の完了 ・入園者数38万人	◎
07 沖縄市	12 1	沖縄こどもの国施設整備事業	H24 ～ R3	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき、動物園の充実を図るとともに、動物展示施設の整備を行う。	・ワニ舎周辺エリア整備工事の完了 ・目標入園者数60万人	-	繰
07 沖縄市	13 1	商店街等活性化事業	R1 ～ R3	令和元年度に実施した調査等を基に、課題を整理し銀天街地域のコミュニティ形成に取り組むことの出来る人材を育成するとともに、誘客効果のあるイベントの企画運営によりにぎわいを創出することで、地域の魅力を高める。	営業店舗増加数(1件)	営業店舗増加数:0件	未

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
08 豊見城市	1 1	文化観光創出事業	H24 ～ R3	平成25年度に策定した「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、必要な施設等の設計や整備等を実施する。	・実施設計(グスクゾーン)、埋蔵文化財発掘調査等(現地調査、自然科学分析)の完了 ・屋外トイレ建築工事、園路整備、法面対策工事の完了	-	繰
08 豊見城市	1 3	観光振興地域環境美化強化事業	H25 ～ R3	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、市道植樹樹の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか:74%	○
08 豊見城市	1 4	与根地区観光交流施設整備事業	H27 ～ R2	観光客が気軽に参加できる海釣り体験機能や西海岸地区一体の観光情報を発信する機能を有する観光交流施設を整備する。	・磁気探査業務、施工監理の完了 ・施設建設工事等の完了 ・備品購入業務の完了	-	繰
08 豊見城市	2 1	豊見城市優良母牛導入支援事業	H27 ～ R2	補助金により優良母牛の導入を促進し、畜産農家の生産基盤の確立及び経営の安定、農業振興を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合(110%)	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:116%	◎
08 豊見城市	2 2	豊見城市いきいき野菜生産支援事業	H24 ～ R2	市場や量販店の求める定時、定量、一定品質の野菜を安定生産するために、長雨や強風の影響を受けない耐候性野菜栽培施設を導入する。	耐候性野菜栽培施設導入の完了	耐候性野菜栽培施設導入の完了	◎
08 豊見城市	3 1	特別な支援を必要とする子の巡回相談事業	H26 ～ R3	特別な支援を必要とする子の保護者や保育士を支援するため、臨床心理士の専門指導員を配置し、巡回相談・支援を行う。	臨床心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者・保育士へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	遂行困難	-
08 豊見城市	3 2	放課後児童クラブ利用支援事業	R2 ～ R3	放課後児童クラブの利用者支援をすることで、子どもたちが育成支援体制の整った安心・安全な環境で過ごすことができるようになり、保護者の子育てへの負担感の軽減を図る。	安心・安全に子どもを預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。	安心・安全に子どもを預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか:98%	◎
08 豊見城市	4 1	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R3	小中学校において普通教室に通う特別に支援を要する児童生徒の教育活動の支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、教育活動の充実を図る。	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	特別支援教育支援員の対応への満足度:85%	◎
08 豊見城市	4 2	学力向上サポート事業	H24 ～ R3	小中学校の教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を行うことで学力向上を図る。	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ①小学校:+2.6ポイント ②中学校:+1.0ポイント	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ①小学校:+3.2ポイント ②中学校:-1.2ポイント	△

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
08 豊見城市	4 3	スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ～ R3	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境の改善を図り、児童相談所等関係機関とのネットワーク構築のため、スクールソーシャルワーカーを配置し、社会福祉の観点から支援を行う。	支援対象ケース改善率:39.50% (改善ケース件数/支援対象ケース件数)	支援対象ケース改善率:61.74% (改善ケース件数/支援対象ケース件数)	◎
08 豊見城市	4 4	不登校等対策支援事業	H24 ～ R3	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し、各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談等、適切な指導を行い学校復帰や社会的自立を支援する。	不登校児童生徒復帰率:20% (学校復帰人数/新規不登校者数)	不登校児童生徒復帰率:38.16% (学校復帰人数/新規不登校者数)	◎
08 豊見城市	4 5	英語教育推進事業	H25 ～ R3	国際化時代に対応できる人材育成を目的に、中学校へ外国人英語講師を配置し、小学校へ日本人英語講師を派遣する。	【小学校】 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合73%以上 【中学校】 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+4.2ポイント	【小学校】 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合:83.06% 【中学校】 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差:-0.9ポイント	△
08 豊見城市	4 6	ICT教育推進事業	H24 ～ R3	わかりやすい授業によって教育の質の向上を図り、児童生徒の学力向上及び情報活用能力の育成を図るため、学校にICT機器を整備する。また、ICT機器を活用した授業を支援するため、情報教育指導補助員を派遣する。	①教員にアンケート調査を実施し、情報教育指導補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。 ②児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	①教員にアンケート調査を実施し、情報教育指導補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:91.11% ②児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:93.05%	◎
08 豊見城市	4 8	児童生徒派遣費補助事業(部活外)	H25 ～ R3	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の補助を行う。	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒及び保護者へアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	対象児童の視野が広がったか:96.29%	◎
08 豊見城市	5 1	文化財案内表示板設置事業	R1 ～ R2	市民等が文化財に訪れやすい環境を整備するため、文化財に至る案内表示板を設置する。	・「豊見城市文化財マップ」の年間アクセス数 25,550回/年 ・文化財巡り参加者 30名/年	・「豊見城市文化財マップ」の年間アクセス数 59,162回/年 ・文化財巡り参加者 30名/年	◎
08 豊見城市	5 2	デジタル博物館事業	R2 ～ R3	歴史・文化に関わる資料の収集とデジタル化を行い、デジタルシステムに集約・整理・公開する。	収蔵アナログ写真資料のデジタル化作業(10万点)、地域資料収集作業(7地域)、収蔵品写真撮影(1,050点)の完了	収蔵アナログ写真資料のデジタル化作業:10万点 地域資料収集作業:7地域 収蔵品写真撮影:1,050点	◎
08 豊見城市	6 1	サッカーキャンプ誘致推進事業	R1 ～ R3	サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入環境を強化し、継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。	サッカーキャンプ誘致件数:2件/年	サッカーキャンプ誘致件数:2件/年	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
08 豊見城市	6 2	スポーツコンベンション拠点機能向上事業	R2	豊見城市民体育館にスポーツフロアシートを整備することにより、バレーボール、バドミントン等のナショナルチームレベルの合宿や国際連盟公認の試合開催が可能となる。また、それにより、国際大会及び継続的な合宿誘致を実現する。	プロスポーツ合宿や国際大会誘致に必要なスポーツフロアシートの整備	-	繰
09 うるま市	1 1	企業誘致推進業務委託事業	H24 ～ R3	企業誘致活動を実施し、県外企業の市内進出につなげる。	目標企業誘致件数:3社以上	企業誘致件数:0社	未
09 うるま市	1 2	コンカレントエンジニア人材養成事業	H24 ～ R3	ものづくりに関する人材養成研修を実施し、技術者の技術力向上を図る。	技術力が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証する。	技術力が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証する:97%	◎
09 うるま市	1 4	国際物流トライアル推進事業	H30 ～ R3	市内事業者の新たな物流モデル構築の取組に対して実証実験を実施し、取扱貨物量の増加を図る。	物流モデルの創出件数(2件以上)	3件	◎
09 うるま市	1 5	産業基盤整備推進事業	H30 ～ R3	産業集積地の確保を目的とした産業基盤整備計画を策定し、新たな用地の確保を図る。	・産業基盤実現可能性調査の完了 ・産業基盤整備計画(実施計画)の策定	・産業基盤実現可能性調査の完了 ・産業基盤整備計画(実施計画)の策定	◎
09 うるま市	1 6	研究開発支援事業	H30 ～ R3	市内の企業に研究開発費の一部を支援し、製品開発に繋げる。	商品開発件数:4件	商品開発件数:4件	◎
09 うるま市	1 7	新産業創出連携促進事業	R1 ～ R3	製造業における新たな製品を創出するための企業間連携の促進を図る	マッチング件数 2件以上	マッチング件数 2件	◎
09 うるま市	1 8	EV自動車普及促進事業	H25 ～ R3	うるま市産EV自動車の性能や安全性向上により、普及促進を図る。	・EV車の導入実証実験の完了 実証内容 車両性能・安全性 等	EV車の導入実証実験の完了	◎
09 うるま市	2 1	就労支援事業	H24 ～ R3	求職者や企業に対するきめ細かな支援を行い、雇用の拡大につなげる。 また、児童生徒にキャリア教育を実施し、働くことを考えてもらうきっかけづくりを行うことで、勤労観や職業観の育成を図る。	①就労支援を行った新規雇用者数354人以上 ②小中高生、過卒生、高校等中退者へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証	①就労支援を行った新規雇用者数:278人 ②小中高生、過卒生、高校等中退者へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証:94%	◎
09 うるま市	2 2	地域雇用人材育成事業	H24 ～ R3	新規雇用者を対象に、雇用後に行われる人材育成(OJT等)支援を実施し、地域人材の雇用促進を図る。	人材育成事業の実施	人材育成事業の実施	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
09 うるま市	3 1	メディア活用による戦略的観光誘客促進事業	H24 ～ R3	うるま市の魅力をPRするため、雑誌やインターネット等のメディアを活用した観光情報配信等を行い、観光誘客を図る。	・主要施設来場者数 355,051人以上	・主要施設来場者数 158,210人	未
09 うるま市	3 3	めんそーれうるま！キャンプ・合宿事業	R1 ～ R3	プロスポーツチームや実業団などのアマチュアスポーツ団体に対して、市が保有する施設等のプロモーションをし、合宿・大会等の誘致を図る。	キャンプ・合宿件数 11件以上	キャンプ・合宿件数 6件	△
09 うるま市	3 4	サイクルツーリズム推進事業	R2 ～ R3	世界遺産勝連城跡及び海中道路などを中心にサイクリングルートを設定し、サイクルツーリズムの受入環境整備や自転車愛好家へのプロモーションを実施する。	サイクリングルートの策定	サイクリングルートの策定	◎
09 うるま市	4 1	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	H24 ～ R3	世界遺産として登録されている勝連城跡の周辺に体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点施設を整備し、観光客の誘客を図る。	歴史文化施設展示制作業務の完了 用地取得の完了 物件移転補償(公共補償)の一部完了 AR・VR等映像コンテンツ制作基本計画の策定	-	繰
09 うるま市	5 1	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ～ R3	景観地区の指定により、各景観地区ごとのまちづくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る。	①景観地区指定委託業務(与那城伊計島地区)の完了 ②まちなみ景観助成の実施 ③訪問観光客の景観に関する満足度(80%以上)	①景観地区指定委託業務(与那城伊計島地区)の完了 ②まちなみ景観助成の実施 ③訪問観光客の景観に関する満足度(80%以上):未実施	△
09 うるま市	6 2	ICT活用島しょ地域児童生徒交流実証事業	R2 ～ R3	・協同した地域課題の抽出 ・地域課題に応じた協同作業や合意形成過程体験プログラムの開発 等 対象校: ・彩橋小中学校 ・津堅小中学校 交流先: ・県内外小中学校 ・県内外高等学校 ・県内外大学 等	・保護者へのアンケートで、生活環境や世代が異なるの人との交流により、児童生徒の視野が広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。 ・児童生徒のライフスキル自己評価 10%増加	・保護者へのアンケートで、生活環境や世代が異なるの人との交流により、児童生徒の視野が広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する:70% ・児童生徒のライフスキル自己評価 10%増加:9.4%	◎
09 うるま市	7 1	うるま市の頑張る農業を応援します事業	H30 ～ R3	強化型ハウスの整備に必要な支援を行い、農作物の出荷量の向上を図る。	強化型パイプハウス設置の完了	強化型パイプハウス設置の完了	◎
09 うるま市	7 2	津堅島農業活性化事業	R1 ～ R3	生産農家へ散水支援を行い津堅島農業の活性化を図る。	津堅島農業支援業務の完了	津堅島農業支援業務の完了	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
09 うるま市	8 1	小学校学力向上対策推進事業	H24 ～ R3	学力の向上を図るため、児童の学力に応じた個々の学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 小5算数平均正答率 県平均以上	小5算数平均正答率 -1.8%	未
09 うるま市	8 2	中学校学力向上対策推進事業	H24 ～ R3	学力の向上を図るため、生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 中2数学平均正答率 -1.5%以上。	中2数学平均正答率 -4.3%	未
09 うるま市	9 1	ひとり親家庭生活支援モデル事業	H25 ～ R3	ひとり親家庭に対し、資格取得や債務整理、転職等による正規雇用につなげることにより、ひとり親家庭の自立につなげる。 また、児童生徒への自主学習のサポートを行い、学習習慣の定着を図る。	・本事業によるひとり親家庭の自立世帯割合 95% ・学習習慣の定着度(80%) 保護者、児童生徒からのアンケート調査により把握する	・本事業によるひとり親家庭の自立世帯割合 91% ・学習習慣の定着度 90%	○
09 うるま市	10 1	中学校教育指導推進事業	H24 ～ R3	特別な支援を要する不登校の児童生徒等に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。 また、児童生徒及び家族が抱える様々な問題に対して、多様な支援方法を用い課題解決を図る。	・不登校児童生徒復帰率59%以上(のべ復帰者/のべ不登校者) ・児童生徒及び家族からの相談件数(実数)に対する課題解決件数割合33%以上	・不登校児童生徒復帰率:34% ・児童生徒及び家族からの相談件数(実数)に対する課題解決件数割合:4%	未
09 うるま市	10 2	教育相談事業	H24 ～ R3	教育相談室に相談員を配置し、幼児・児童生徒・教師・保護者の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援し、課題の解決を図る。	相談件数実績に対するケース終結の割合を36%以上を目標とする。	相談件数実績に対するケース終結の割合:36%	◎
09 うるま市	10 3	適応指導教室事業	H24 ～ R3	小中学生の心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対し、適応指導教室を開級し、児童生徒に自立心や社会性を高めることを目指す。	体験活動に参加することができた割合90%以上 中学校3年生の卒業後の進路決定割合100%	体験活動に参加することができた割合:88% 中学校3年生の卒業後の進路決定割合:88%	○
09 うるま市	10 4	スポーツ力向上促進事業	R1 ～ R3	スポーツを通じた人材育成と部活動加盟率の改善を図るため、スポーツ教室の開催や部活動顧問の指導力向上に必要な専門的な外部指導員を配置する。	・部活動加盟率及び在籍生徒数 55%以上(2,160人) ・新たに部活動へ加盟した生徒へアンケートを行い「部活動を続けたいか。(80%)」を含め、取組のあり方を検証する。	・部活動加盟率及び在籍生徒数 48%(1,844人) ・新たに部活動へ加盟した生徒へアンケートを行い「部活動を続けたいか。(80%)」を含め、取組のあり方を検証:88%	○
09 うるま市	11 1	自主防災組織育成事業	H25 ～ R3	自主防災組織の結成を推進し、地域防災力の向上を図る。	整備した防災資機材等を活用した防災訓練を実施することにより、防災意識が向上したか(80%以上)を含め、本事業のあり方についてアンケート調査により検証する。 ※防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練を実施	整備した防災資機材等を活用した防災訓練を実施することにより、防災意識が向上したか(80%以上)を含め、本事業のあり方についてアンケート調査により検証する。:100%	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
10 宮古島市	1 1	宮古島市neo歴史文化ロード整備事業	H24～R3	観光客の満足度確保を図るため、宮古島市各地に点在している文化財を活用し、散策コースの策定及び環境整備・美化作業を行う。	観光地として満足できる文化財めぐりができたか(80%以上)を含め、散策コースを活用した観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・未実施	未
10 宮古島市	1 2	伊良部地区観光地総合整備事業	H28～R2	観光客の利便性確保を図るため、伊良部地区の各観光地における受入機能強化、便益施設の整備を行う。	通り池駐車場整備工事の完了	工事の完了	◎
10 宮古島市	1 3	トロピカルフルーツパーク機能強化事業	H28～R3	トロピカルフルーツパークの観光誘客を図るため、官民協働による機能強化整備を行う。	施設管理運営体制の確立	100%	◎
10 宮古島市	1 4	伊良部野球場物品購入事業	R2	伊良部野球場の利便性を確保するため、球場で使用するグラウンド整備用機械等の物品を整備する。	グラウンド整備用機械・練習用ケージ・机・イス等の購入の完了	-	繰
10 宮古島市	1 5	賑わいのまちづくり事業	H28～R3	中心市街地活性化を図るため、イベント等の開催の利用、まち歩き観光の休憩利用など、市民・観光客の交流拠点として賑わいの創出が可能となる広場整備を行う。	公有財産購入の完了	-	繰
10 宮古島市	2 1	観光地アクセス道路環境美化強化事業	H24～R3	魅力的な観光地形成を図るため、各観光地へのアクセス道路の環境美化(除草・清掃)を行う。	観光地周辺について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	83.5%	◎
10 宮古島市	2 2	観光地公園環境美化強化事業	H24～R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地として利用されている公園の環境美化作業を行う。	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・未実施	未
10 宮古島市	3 1	クルーズ船受入体制強化事業	H29～R3	クルーズ船観光客の受入体制を強化し観光誘客を図るため、観光案内所の設置・運営、歓送迎セレモニーの開催、情報の発信・収集等を実施する。	クルーズ船観光客数63,000人以上	クルーズ船の寄港なし。成果目標のクルーズ船観光客数も0人となった。	未
10 宮古島市	3 2	誘客促進事業	H24～R3	本市への観光誘客を図るため、国内外の観光イベントでのプロモーション活動及び新規航空路線就航に向けたPR活動の実施並びに官民が連携した観光マネジメント体制を構築する。	・入域観光客数1,150,000人以上	359,592人	未

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
10 宮古島市	4 1	エコアイランド宮古島ブランド推進事業	H28 ～ R2	市民や事業者の環境保全への関心を高めるため、環境保全の取組に関する情報発信やイベント等を開催する。また、持続可能な取組が実施できるよう運営体制を構築する。	・エコアイランドの標語(「千年先の、未来へ。」)の認知度:35.3%以上 ・理想通貨の認知度:21.3%以上	・40.5% ・35%	◎
10 宮古島市	5 1	生鮮水産物流通条件不利解消事業	H25 ～ R3	本市に水揚げされた生鮮水産物の販路確保を図るため、宮古島市から沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の輸送費を補助する。	生鮮水産物の沖縄本島への出荷量(145.0トン以上)	127.0トン	未
10 宮古島市	5 2	宮古島市海業センター整備事業	H24 ～ R3	水産物の安定的な種苗生産供給及び種苗栽培の技術者育成を図るため、宮古島市海業センターの機能強化整備を行う。	・水槽設備工事の完了 ・機械設備工事の完了 ・環境影響調査業務の完了	・水槽設備工事の完了 ・機械設備工事の完了 ・環境影響調査業務の完了	◎
10 宮古島市	6 1	救命処置普及強化支援事業	H28 ～ R3	市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組み、観光客や市民の安全の確保を図る。	①救命講習会受講者数 1,700人以上 ②救命講習会受講者へのアンケートで適切な応急手当が理解できたか(80%以上)を含め本事業のあり方を検証する。	①571名 ②79.8%	未
10 宮古島市	7 1	課題を抱える児童生徒の支援事業	H24 ～ R3	課題や問題のある児童生徒の生活環境や不登校の改善を図るため、個々に応じた適切な指導・支援を行うスクールソーシャルワーカーおよび問題行動学習支援員を配置する。	・不登校児童生徒のうち登校復帰または学びの場へつながった児童生徒の割合60%以上	25%	未
10 宮古島市	7 2	選手派遣支援事業	H24 ～ R3	島外との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツや文化活動において、地区選抜代表選手として県大会や全国大会へ派遣される旅費に対し補助金を交付する。	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	99%	◎
10 宮古島市	7 3	宮古島市陸上競技場機能強化事業	R2	宮古島市陸上競技場を大学や実業団チームも利用可能なトラックの複合弾性舗装や、競技数の拡大が可能となる障害池の深さの嵩上げ等、宮古島市陸上競技場の整備を行う。	・宮古島市陸上競技場トラック・障害池機能強化工事完了 ・宮古島市陸上競技場備品購入完了	・宮古島市陸上競技場トラック・障害池機能強化工事完了 ・宮古島市陸上競技場備品購入完了	◎
10 宮古島市	7 4	演奏活動推進事業	R2	市内小中学校の吹奏楽部において、楽器が不足しており十分な練習活動ができない状況にある。必要な楽器を整備し、音楽や吹奏楽をとおして、児童生徒の能力や可能性を伸ばす人材育成及び地域活性化の推進等を図る。	吹奏楽器の整備完了	吹奏楽器の整備完了	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
10 宮古島市	8 1	高等教育機関の設置検討事業	H28 ～ R2	高等教育機関の設置に向けて、学校運営・学生確保等に関する実現可能性の検証(実証)を実施する。	高等教育機関の設置実現に向けた実証業務の完了。	完了	◎
10 宮古島市	9 1	平良港総合物流センター整備事業	H29 ～ R3	宮古地域における物流の安定化を図るため、総合物流センターを整備する。	平良港総合物流センター建築工事1年目の完了	-	繰
10 宮古島市	10 1	地下水保全調査事業	H29 ～ R2	安全な生活用水の確保を図るため、地下水をくみ上げる水源を選定する。また、地下水の安全性に関するモニタリング調査を行う。	・伊良部島における水源候補地選定調査の完了 ・平良地下水流域における水源候補地選定調査及び流域保全方針検討の完了 ・地下水に含まれる硝酸性窒素の起源別割合の現状把握調査の完了	全て完了	◎
10 宮古島市	11 1	城辺地区世代間交流施設整備事業	R1 ～ R3	児童の居場所を確保することによる保護者の負担軽減及び高齢者の生きがいづくりを図るため、城辺地域に子どもや高齢者など多世代が集い、交流できる機能を備えた施設を整備する。	基本設計及び実施設計の完了	基本設計及び実施設計の完了	◎
10 宮古島市	11 2	幼保連携型認定こども園整備事業	R2 ～ R3	働く保護者等の育児負担の軽減を図るため、伊良部地区に公立幼保連携型認定こども園を整備する。	実施設計の完了	実施設計業務委託の完了	◎
10 宮古島市	12 1	宮古島市観光景観形成推進事業	R2 ～ R3	電線類を地中化することで、景観に配慮した風景を形成し更なる観光地としての魅力向上を図るため、無電柱化を推進する。	電線引込管路実施設計の完了	-	繰
11 南城市	1 1	スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ R3	プロサッカーチームのキャンプ誘致を図るため、市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、プロサッカーチームのキャンプ受入に適した環境整備を行う。	プロサッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム以上	2チーム	△
11 南城市	1 4	南城市デジタルアーカイブ実施事業	H30 ～ R3	南城市に所在する文化財等を活用し、観光誘客を図るため、文化財等をデジタルアーカイブ化し、ウェブ上で公開する。またアーカイブを活用した観光誘客コンテンツを制作する。	・歴史資料デジタルアーカイブ化(1次)の完了 ・公開システム仕様の決定、稼働 ・文化財観光コンテンツの稼働	全て完了及び稼働	◎
11 南城市	1 5	インバウンド受入環境整備事業	H28 ～ R3	外国人観光客の誘客及び満足度確保を図るため、需要調査及び市内における受入体制強化並びに旅行商品開発及び情報発信を行う。	・斎場御嶽における外国人観光客数 30,000人以上 ・南城市が満足できる観光地となっているか(80%以上)を含め、市に訪れた外国人観光客を対象としたアンケートにより本事業の効果を検証する。	・343人 ・アンケート調査中止	未

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「繰越」・・・「繰」
 「遂行困難」・・・「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
11 南城市	1 6	観光交通実証調査事業	R1 ～ R3	観光客の利便性確保を図るため、観光客が市内の観光資源を訪問、回遊するための交通手段を確保する。	実証調査の完了	実証調査の完了	◎
11 南城市	1 7	東御廻り等・体験交流受入整備強化事業	H27 ～ R3	観光客の市内滞在時間の延長を図るため、斎場御嶽を活用した滞在型観光プログラムの開発及び普及活動を行う。	斎場御嶽を活用した滞在型観光プログラムの開発完了、商品化	開発完了、商品化実施	◎
11 南城市	1 8	南城型エコミュージアム普及・啓発・情報発信事業	R2 ～ R3	市内の地域資源を体系的に整理した観光誘客のツールである「南城型エコミュージアム」について、市内外における認知向上を図るため、市民を対象としたワークショップ及び県内外で展示会を開催し、情報発信を行う。	・市民参加型ワークショップの参加人数 延べ135人以上 ・県内外イベント1日当たりの平均来場者数300人以上	・161人 ・93人	△
11 南城市	2 1	平和学習受入体制強化事業	H25 ～ R2	沖縄戦の歴史の継承及び戦跡を活用した観光誘客を図るため、糸数アブチラガマの保全工事(落盤対策)を行う。	第2期保全対策工事の完了	・第2期保全対策工事の完了	◎
11 南城市	3 1	優良繁殖牛導入支援事業	H26 ～ R3	市内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、和牛繁殖農家に対して優良繁殖雌牛の貸し付ける者に対して支援を行う。	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合:117.1%以上	・110.5%	△
11 南城市	3 2	優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ R3	酪農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の確保を図るため、優良乳用牛を導入し、市内の酪農家に貸し付ける。	・乳用牛1頭あたりの生産乳量:7.824kg以上(年間) ・乳質(脂肪率):3.87%以上	・8,543.5kg ・3.98%	◎
11 南城市	3 3	山羊生産振興対策事業	R2	山羊生産農家の農作業負担を軽減し、山羊生産の拡大を図るため、生産者団体等が実施する農業機械の導入を支援する。	山羊飼養頭数:478頭以上	423頭	○
11 南城市	4 1	低炭素なまちづくり推進事業	H28 ～ R3	二酸化炭素排出量の削減を図るため、防犯灯の照明器具を省エネ型のLED照明に切り替える防犯灯設置者(自治会)に対して補助を行う。	二酸化炭素排出量の削減 98,963kg-CO2以上/年 削減	177,294kg-CO2/年	◎
11 南城市	5 1	学習支援配置事業	H25 ～ R3	児童生徒の学力向上を図るため、市内の小中学校に学習支援員を配置し、児童生徒の習熟の程度に応じた学習支援を行う。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の差を以下のとおりとする。 ・小学校:県平均以上 ・中学校:県平均以上	・県平均 57.2 ・小学校 55.5(△1.7) ・県平均 51.0 ・中学校 51.5(0.5)	○

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
11 南城市	5 2	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、市内の幼稚園、小中学校に特別支援教育支援員を配置し、それぞれに対応した支援を行う。	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者のアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・86.3%	◎
11 南城市	5 3	小・中学校電子黒板等整備事業	H28 ～ R2	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図るため、市内小中学校に電子黒板等を整備する。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上	・92.9%	◎
11 南城市	5 4	学習支援教材ソフト整備事業	R2 ～ R3	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図るため、市内小中学校に整備された電子黒板で移動する指導者用デジタル教科書を整備する。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上	・92.9%	◎
11 南城市	6 1	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ～ R3	南城市の歴史・文化の継承を図るため、南城市の歴史・文化に関して調査、資料収集、編纂し、冊子として刊行する。また、刊行した冊子や調査成果を活用し、市民等を対象とした学習会を開催する。	学習会への参加人数 30人以上×2回	中止	未
11 南城市	6 2	奥武区文化振興施設整備事業	R2 ～ R3	奥武区における伝統行事、芸能等の文化を保存継承するため、災害時に一時避難所として活用でき、地域文化の活動拠点機能及び資料展示機能を有する文化振興施設を整備する。 今年度は、基本設計を作成する。	基本設計の作成完了	作成完了	◎
12 国頭村	1 1	スポーツコンベンション観光振興事業	H25 ～ R3	スポーツ合宿の実施増加を図るため、陸上競技場、テニスコート、及び多目的広場の屋外LED照明設備の整備や野球場電光掲示板の整備、テニスコート人工芝の張替えを実施する。	・屋外LED照明設備実施設計の完了 ・屋外LED照明設備工事の完了 ・テニスコート人工芝張替実施設計の完了 ・テニスコート人工芝張替工事の完了 ・野球場電光掲示板実施設計の完了	・実施設計の完了 ・設備工事の完了 ・実施設計の完了 ・張替工事の完了 ・実施設計の完了	◎
12 国頭村	2 1	国頭村ブランド牛基盤づくり支援事業	H26 ～ R2	農家の所得向上に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 117%以上	1.12	○
12 国頭村	3 1	学習支援員配置事業	H25 ～ R2	児童の学力の向上を図るため、学習支援員を配置し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率の差 小学校 国語：-1.5ポイント以内 算数：-3.1ポイント以内 理科：-1.8ポイント以内	・国語：-0.7ポイント ・算数：-0.9ポイント ・理科：-	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
12 国頭村	3 3	村内幼児児童生徒英語支援員配置事業	H25 ～ R2	幼児児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、英語支援員を配置する。	・認定こども園・小学校 英検jr.取得率 ブロンズ 32%以上 シルバー 52%以上 ゴールド 15%以上 ・中学校2年生 到達度調査(英語)平均正答率 沖縄県との差:2.3ポイント以上 ※支援を受けた認定こども園児は、小学校へ進級して受験予定	・認定こども園・小学校 英検jr.取得率 ブロンズ 49% シルバー 21% ゴールド 5% ・沖縄県との差:2.9ポイント	△
12 国頭村	3 4	学習支援教室委託事業	H28 ～ R2	中学3年生の高校進学への支援を行うため、学習支援教室(村営塾)を設置する。	受講生の高校受験合格率:100%	100%	◎
12 国頭村	4 1	環境保全・美化推進事業	H27 ～ R2	貴重な野生生物の保護や地域住民及び観光客の安全確保のため、ハブ・ネコ・イヌ対策を行う。	集落及び観光地内やその周辺におけるハブ咬傷被害の未然防止(咬傷被害0件) ネコ・イヌの野生化未然防止(ネコ・イヌによるヤンバルクイナの捕食5件以下)	・2件 ・1件	△
12 国頭村	5 1	多自然川づくり事業	H24 ～ R3	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。	河川工事整備率 76%(912m/全体延長L=1,200m)	0.66	○
13 大宜味村	1 1	大宜味村観光情報発信整備事業	H24 ～ R3	村産品を広く知ってもらい、売上増加に繋げるため、大宜味村産業まつりへの支援を行う。また、大宜味村の認知度向上を図るため、県内外でPRイベントを開催し、情報発信を図っていく。	PRイベントの参加者数 約100名以上	PRイベントの参加者数 約1,301人	◎
13 大宜味村	1 2	環境保全・美化推進事業	H28 ～ R2	地域住民や観光客の安全確保及び貴重な野生生物の保護を図るため、ハブ、野良犬、野良猫対策を行う。保護した猫については譲渡強化を図る。	①ハブ咬傷被害:0件 ②ヤンバルクイナの生息率:15.4%以上 ③保護した猫の譲渡:80件以上	①ハブ咬傷被害:1件 ②ヤンバルクイナの生息率:33.33% ③保護した猫の譲渡:264件	△
13 大宜味村	1 3	ふるさと河川環境再生・活用整備事業	H26 ～ R3	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、大川川とその周辺整備を行う。	・累計河川工事整備率 83% (2,158m/全体延長2,600m)	・累計河川工事整備率 71%	○
13 大宜味村	2 1	学習支援員配置事業	H25 ～ R3	学力の向上を図るため、村内小中学校に学習支援員を配置する。	沖縄県学力向上到達度調査の5教科における県平均正答率との差:0ポイント以上 ①小学校 0.0ポイント以上 ②中学校 0.0ポイント以上	沖縄県学力向上到達度調査の5教科における県平均正答率との差 ①小学校 1.9ポイント ②中学校 0.1ポイント	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
13 大宜味村	2 2	地域支援員配置事業	H25 ～ R3	不登校および不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校に至らない支援を行う。	支援対象の不登校気味児童生徒のうち、不登校に至らなかった児童生徒の割合:100%	支援対象の不登校気味児童生徒のうち、不登校に至らなかった児童生徒の割合:27%	未
13 大宜味村	2 3	「ぶながやの里」地域人材育成支援事業	H25 ～ R3	本村の自然や文化等についての学習機会を拡充し、人材の育成を図る。	講座受講者数:60名以上	講座受講者数:74名	◎
13 大宜味村	2 4	児童生徒等県外派遣支援事業	H26 ～ R3	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援する。	児童・生徒が県内ではできない経験をする事ができたか(80%以上)を含め、派遣された児童・生徒の保護者に対するアンケートにより、当該事業のあり方について検証する。	児童・生徒が県内ではできない経験をする事ができたか 100%	◎
13 大宜味村	3 1	カラキ活用推進プロジェクト	H28 ～ R2	カラキを活用し、村内事業者の売上げ増に繋げるため、苗木の増殖実験・商品開発等を行う。	・挿し木の5,000本の完了 ・定植苗配布の実施 ・成分分析((栄養成分の成分分析)の完了 ・ワークショップの開催 ・商品開発・市場調査の完了 ・シンポジウムの開催	-	繰
13 大宜味村	4 1	喜如嘉の芭蕉布魅力発信事業	R1 ～ R2	喜如嘉の芭蕉布の保存継承を図るため、着物を制作しやんばるの森ビジターセンターに展示するとともに、イベントの際に着付け体験や作業体験等を実施する。	・喜如嘉の芭蕉布着物展示環境整備完了 ・着付け体験用着物制作完了	・喜如嘉の芭蕉布着物展示環境整備完了 ・着付け体験用着物制作完了	◎
14 東村	1 1	東村村民の森(つつじ園・エコパーク)施設機能強化整備事業	H25 ～ R2	「東村村民の森つつじ園」の各施設の機能を強化するため、「東村村民の森基本計画」に基づき整備する。	外構工事の完了	外構工事の完了	◎
14 東村	2 1	特別支援教育支援員配置事業	H27 ～ R3	教育上、特別な支援を必要とする幼児並びに児童生徒が円滑な学校生活を送れるように、在籍する幼稚園並びに小中学校において特別支援教育支援員を配置し、適切な学習環境を保持する。	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	保護者へのアンケート調査による、支援員に対する満足度(100%)	◎
14 東村	3 1	東村総合農産加工施設機能高度化実証事業	R2	日本唯一のパン缶詰製造工場である東村総合農産加工施設において、現在手作業で行っているパンアップルの芽取作業の自動化、機械化を図り、加工施設の慢性的な人員不足の解消及び歩留まりの向上を図る。	①芽取機導入計画の策定完了 ②芽取機試験機の製造完了 ③芽取機テスト検証試験の完了	①芽取機導入計画の策定完了 ②芽取機試験機の製造完了 ③芽取機テスト検証試験の完了	◎
14 東村	4 1	ハブ咬傷対策事業	R2	本村の主要観光施設である村民の森つつじ園利用者及び管理者の咬傷被害防止のため施設へ防蛇フェンスを設置するための調査・設計を行う。	測量調査及び設計の完了	測量調査及び設計の完了	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
15 今帰仁村	1 2	教育環境充実事業	H25 ~ R3	学力の向上を図るため学習支援員を配置する。また、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため特別支援員を配置する。	①学習支援員 ・沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 1)小学生 +1.0ポイント以上 2)中学生 -9.1ポイント以上 ②特別支援員 ・対象となる児童生徒の学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。	①学習支援員 ・沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 1)小学生 +0.4ポイント以上 2)中学生 -8.5ポイント以上 ②特別支援員 ・対象となる児童生徒の学校生活や学習上の困難が改善されたか:100%	△
15 今帰仁村	1 4	児童生徒等の県外派遣事業	H25 ~ R3	県外の人との競争や交流の機会を増やし児童生徒の視野を広げるため、村内児童生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加するための県外派遣の費用を支援する。	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか:97%	◎
15 今帰仁村	1 5	地域型就業意識向上支援事業	R2 ~ R3	・小中学校におけるキャリア教育のコーディネート。	就業に対する意識が向上したか(80%)以上を含め、各プログラムに参加した児童生徒に対するアンケートにより本事業の在り方を検証する。	就業に対する意識が向上したか:100%	◎
15 今帰仁村	1 6	教育支援整備事業	R2 ~ R3	特別支援教育の充実を図るため、村内小中学校において臨床心理士による巡回相談の実施や教育支援指導員による対象児童生徒の心理検査を実施し、障害を有する児童生徒に対する支援の強化を行う。	対象となる児童生徒のうち、問題の解消や症状が改善したと判断した場合(61%以上)を含め、養護教諭や特別支援員へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	対象となる児童生徒のうち、問題の解消や症状が改善したと判断した場合:75%	◎
15 今帰仁村	1 7	教育相談事業	R2 ~ R3	不登校や問題行動等を課題を抱える児童生徒や保護者を対象にカウンセリングによる支援を行い、不登校の改善を図る。	①不登校児童生徒の復帰率:4.0%以上 ②保健室、図書館、教育相談室等へ登校している児童生徒の教室復帰率:4.0%以上	①不登校児童生徒の復帰率:6.0% ②保健室、図書館、教育相談室等へ登校している児童生徒の教室復帰率:6.0%	◎
15 今帰仁村	2 1	環境保全美化推進事業	H24 ~ R3	本観光地として魅力的な景観形成を図る為、観光地及び観光ルートの美化を行う。	魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	魅力的な景観形成が図られたか:85.3%	◎
15 今帰仁村	2 2	観光力基盤強化事業	H24 ~ R3	観光誘客を図るため、村内で実施するイベントを支援する。	・現代版組踊「北山の風」来場数:1,200人	・現代版組踊「北山の風」来場数:0人	未

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
15 今帰仁村	2 3	観光地安全強化事業	H24 ～ R3	主要観光地である世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、イベント時に、車輛の誘導及び駐車場、横断歩道等に交通整理員を配置する。	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件	◎
15 今帰仁村	2 4	今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24 ～ R3	今帰仁城跡付近を流れる今泊港川について、自然環境を最大限に活かした河川に整備し、魅力的な景観形成を図る。	全体計画における5.3%整備 (累積整備率59.9%)	全体計画における5.3%整備 (累積整備率59.9%)	◎
15 今帰仁村	2 5	今帰仁城跡ガイド強化事業	H25 ～ R3	今帰仁村には世界遺産・今帰仁城跡が所在し、今帰仁グスクを学ぶ会によって来城者に無料の案内ガイドが行われている。そこで、更なる観光誘客につなげることを目的として、研修等による学ぶ会の強化を行う。	ガイドによる案内者数 3,126名	ガイドによる案内者数 5,070名	◎
15 今帰仁村	2 6	景観形成強化事業	H24 ～ R3	魅力的な景観形成を図る為、観光アクセスルート且つ、村の昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に配慮した道路整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の完了 (仲宗根地区排水路設置、運天排水路設置、仲宗根・渡喜仁張りコンクリート設置、湧川運天線側溝敷設、簡易舗装) ・用地測量の完了 (運天排水路設置工事) ・用地鑑定の完了 (運天排水路設置工事) ・用地取得の完了 (仲宗根地区排水路設置、渡海原線排水路設置、運天排水路設置) 	-	繰
15 今帰仁村	2 7	今帰仁村着地型観光推進事業	R1 ～ R3	本村の着地型観光を促進するため、民泊事業者等の受け入れ体制強化及び誘致活動を行い、新規教育民泊客の増加及びリピーター校の確保を図る。	令和3年度の民泊客(予約人数) 16,000人(70校) (内訳) ・新規30校 ・リピーター40校	令和3年度の民泊客(予約人数) 12,347人(73校) (内訳) ・新規51校 ・リピーター22校	○
15 今帰仁村	3 1	今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業	H26 ～ R3	安定した素牛生産地の確立に向け、素牛のブランド化を推進するため、優良繁殖雌牛を導入する際に支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 112%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 105%	未
16 本部町	1 1	花いっぱい運動の推進事業	H24 ～ R3	観光地としての魅力的な景観形成を図るため、国道及び県道沿い等に花木の植付を行い、町ぐるみで花いっぱいの環境づくりを行う。	観光地の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じたか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	観光客に対するアンケートを実施し、観光地としてふさわしい景観であると感じたと回答(89%)	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
16 本部町	1 2	ハブ咬傷防止事業	H25 ～ R3	地域住民の生活圏や観光施設周辺などにおいて、ハブが多く出没していることから、捕獲機設置による駆除を実施することで、地域住民や観光客の咬傷被害防止を図る。	ハブによる咬傷被害件数0件	ハブによる咬傷被害件数1件	未
16 本部町	1 3	伝統興行観光化事業	H25 ～ R3	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」、「古典・民謡」等を新たな観光資源として活用し、ナイター闘牛や闘山羊大会、伝統芸能等の夜間イベントを定期開催することで、観光客の誘致を図る。	もとぶ元気夕市来場者数:5,376人以上	-	繰
16 本部町	2 2	もとぶブランド牛基盤づくり支援事業	H25 ～ R3	肉用牛生産農家及び農業生産法人のもとぶ牛ブランド化の基盤創出のため、優良母牛の導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 109%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 101%	未
16 本部町	2 3	メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業	H28 ～ R3	本部町の地域の特性を活かしたもとぶ産品のPRや販売支援員の配置、物産展等への出展等を支援し、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	新規取引契約数 10件以上	新規取引契約数 10件	◎
16 本部町	2 4	もとぶ産業クラスター形成事業	H29 ～ R3	町内特産品製造事業者の特産品開発に係る助言や製造機械の導入の支援を行い、開発製造環境の向上を図る。	特産品の開発支援の完了	特産品の開発支援の完了	◎
16 本部町	2 5	農水産業担い手支援住宅整備事業	R1 ～ R3	農業及び漁業の新たな担い手確保のため、農水産業担い手支援住宅を建築し、産業振興及び定住促進の推進を図る。	・産業支援住宅の実設計、土地調査測量業務及び用地購入の完了	-	繰
16 本部町	3 1	本部型就業意識向上支援事業	H29 ～ R3	町内小中高校生の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、インターンシップ等を行い、町内産業への理解や興味を深めてもらう。	働くことへの興味・関心が湧いた(80%以上)を含め、小中高生へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	小中高生へのアンケートの結果、働くことへの興味・関心が湧いたと回答した割合(89%)	◎
16 本部町	4 1	本部町学力向上学習支援事業	H26 ～ R3	町内小・中学校に学習支援員等を配置し、国語、算数・数学、英語及びその他の主要教科において児童生徒の学力に応じた個々の学習指導等を行うことにより、学力の向上を図る。	令和2年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -6.6ポイント以上 中学校 -4.5ポイント以上	令和2年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -4.28ポイント 中学校 -6.93ポイント	△
16 本部町	4 3	特別支援教育環境充実事業	H28 ～ R3	特別な支援を要する園児児童生徒(心身の障害及び発達障害)に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを派遣することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、園児児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	園児児童生徒の保護者へのアンケートを行った結果、特別支援員の対応への満足度(94%)	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
16 本部町	5 1	本部港本土航路開設支援事業	R2	本土航路の開設及び維持を支援するとともに、接岸及び荷役に必要な安全設備を整備し、航路の安定化を図る。	1寄港あたりの平均積貨物量:444t/回	1寄港あたりの平均積貨物量:485.6t/回	◎
17 恩納村	1 1	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)	H24 ~ R3	観光客や地域住民のハブ咬傷被害防止を図るため、村南部に生息するタイワンハブやタイワンスジオの駆除を行う。今年度はハブ捕獲器を450箇所に設置する。	・捕獲器設置周辺における咬傷被害件数:0件	・捕獲器設置周辺における咬傷被害件数:0件	◎
17 恩納村	1 2	恩納村観光誘客・おもてなし推進事業	H24 ~ R3	観光誘客を図るため、各種プロモーション活動を実施するとともに、情報媒体を整備する。また観光客の利便性確保を図るため、村の観光案内所である文化情報センターへ観光案内人を配置する。	・村内主要ホテルへの年間宿泊客数:延べ287万人以上 ・観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、観光案内所を訪れた観光客等にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	・村内主要ホテルへの年間宿泊客数:延べ135万人 ・観光客の利便性が確保されたか:87%	○
17 恩納村	1 3	あしびなー施設整備事業	H29 ~ R3	地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、仲泊地区に観光交流施設を整備する。今年度は新築工事を行う。	・新築工事1年目の完了	-	繰
17 恩納村	2 1	恩納村通信所跡地活用基盤整備事業	H28 ~ R2	駐留軍用地跡地である恩納通信所跡地の円滑な利用の推進に向け浸水被害の防止を図るべく、基盤整備を実施する。今年度は、排水路の整備(第3期改修工事)を行う。	排水路上流部(392m)の完成。	排水路上流部(392m)の完成。	◎
17 恩納村	3 1	特別支援教育支援員配置事業	H29 ~ R3	特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。	特別支援教育支援員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、対象となる児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	特別支援教育支援員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか:94.45%	◎
18 宜野座村	1 1	阪神タイガース春季キャンプ受入事業	H24 ~ R3	阪神春季キャンプ受入による観光誘客を図るため、防球ネット、テント設置やグラウンド黒土搬入等を行う。	・阪神春季キャンプ見学者数(87,000人)	・阪神春季キャンプ見学者数:0人	未
18 宜野座村	1 2	宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	H24 ~ R3	村外からの誘客及び村民の伝統芸能・文化の保存継承に対する意識の高揚を図るため、宜野座村文化センターがらまんホールを中心に芸能文化・伝統芸能公演等を実施する。	・芸術文化・伝統芸能公演の集客数(1,038人以上) ・お出かけ公演実対象者数(2,625人以上)	・芸術文化・伝統芸能公演の集客数:1,745名 ・お出かけ公演実対象者数:583名	△
18 宜野座村	1 3	宜野座村着地型観光誘客推進事業	H24 ~ R3	宜野座村への観光誘客を図り、着地型観光を推進するため、観光誘客プロモーション活動や年間を通じたイベントの開催、観光関連人材の育成等を行う。	・宜野座村の観光入客数(25万人)	・宜野座村の観光入客数:14.5万人	未

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
18 宜野座村	1 5	宜野座村文化センターがらまんホール機能強化事業	H27 ～ R3	村の文化振興の中心的施設である宜野座村文化センターがらまんホールの各種機器の機能を強化し更なる高度な文化事業が行えるよう整備することで、村内外からの入場者数増加を図る。	常設音響システムの整備完了	常設音響システムの整備完了	◎
18 宜野座村	1 6	農村沿道景観向上事業	R1 ～ R3	魅力的な自然環境観光地を形成するため、リゾート観光客の散策路(農道)の美化に努める。	観光地として魅力的な景観であり、散策の際には安全で快適な散策路であったか(80%以上)を含め、観光客にたずねるアンケートにより本事業のあり方を検証する。	観光地として魅力的な景観であり、散策の際には安全で快適な散策路であったか(80%以上)を含め、観光客にたずねるアンケートにより本事業のあり方を検証:80%	◎
18 宜野座村	2 1	小学校学力向上対策事業	H24 ～ R3	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながら授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を小学校に配置し、個々の児童の学力に応じた学習指導等を行う。	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) 対象科目:小学校3年・4年・5年・6年(算数)	3年算数(未実施) 4年算数(未実施) 5年算数(-1.7) 6年算数(3.5)	△
18 宜野座村	2 2	中学校学力向上対策事業	H24 ～ R3	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながらチームティーチングによる指導を行い、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を中学校に配置し、生徒の学力に応じた個々の学習指導等を行う。	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) 対象科目:中学校2年(国語・数学・英語・理科・社会)	中2国語(-3.3) 中2数学(-7.8) 中2英語(-6.0) 中2理科(未実施) 中2社会(未実施)	未
18 宜野座村	2 3	幼稚園預かり保育事業	H24 ～ R3	村立3幼稚園へ通園している共働き世帯等の園児を対象に、育児の負担軽減を図り、安心・安全で充実した育児を行うため、村立幼稚園において預かり保育を実施する。	育児負担が軽減されたか(80%以上)を含め、対象園児の保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	育児負担が軽減されたか(80%以上)を含め、対象園児の保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。:100%	◎
18 宜野座村	3 1	有機の里宜野座村確立事業	H24 ～ R3	有機の里宜野座村を目指し、沖縄県環境保全型農業推進協議会の認証を受けたエコファーマーの増加並びにエコ農産物の販売量の拡大を図るため、減農薬や減化学肥料による環境保全型農業を推進する。	エコ農産物販売目標 (116t)	エコ農産物販売目標 (78t)	未
18 宜野座村	3 2	さとうきび営農指導委託事業	H28 ～ R2	本村の基幹作物であるさとうきびの増産を図るため、営農指導員による管理作業の指導・担い手を確保し、さとうきび生産の活性化を図る。	令和2年度さとうきび生産量5,441t	令和2年度さとうきび生産量4,976t	○

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
18 宜野座村	4 1	観光景観向上対策事業	H27 ～ R3	村指定の観光地である松田鍾乳洞に繋がる洞窟等に不法投棄が多く、景観が損なわれているため、監視カメラを設置及び観光地ルートに専属の監視員を配置し、洞窟に放置された不法投棄物の撤去を効率的に実施、また、粗大ゴミを解体することで粗大ごみ置き場周辺の景観向上を図る。	・観光地における不法投棄件数:10件以下/年	観光地における不法投棄件数:0件/年	◎
18 宜野座村	4 2	危険生物駆除捕獲事業	H27 ～ R3	外来種のタイワンハブやタイワンスジオ等の捕獲箱による村内への侵入防止、ハブ、ハチ等が村内で頻繁に発見されていることから、観光客や修学旅行生の咬傷事故が予想されるため、積極的に捕獲・駆除を行うことで、観光地としての安心・安全を図る。	観光客及び住民のハブの咬傷件数:0件	観光客及び住民のハブの咬傷件数:0件	◎
18 宜野座村	5 1	宜野座村企業誘致推進事業	H28 ～ R3	定住人口増加の基盤となる雇用の創出を促進するため、企業誘致活動・広報活動等を行う。	①県内外のITイベントへのPRブースへの来場者数:250名 ②宜野座村への招聘セミナーの実施。32名/16社	①県内外のITイベントへのPRブースへの来場者数:6名 ②宜野座村への招聘セミナーの実施:9名	未
19 金武町	1 1	プロスポーツ受入事業	H28 ～ R3	プロスポーツキャンプを継続して受け入れる基盤強化を図るため、体育施設の芝管理等を行う	R2年度プロチーム5チームの受入	4チーム	○
19 金武町	1 2	金武町観光振興等推進事業	R1 ～ R3	観光誘客及び観光客の利便性向上を図るため、誘客プロモーションや観光案内・誘導サインを整備する。	①イベントの実施 ○5つのイベントの来場者数:1,586人 ②観光物産PRの実施等 ○観光物産展来場者数:1,972人 ○観光ポータルサイトアクセス数:116,287件	①499人 ②1509人/661.68件	△
19 金武町	1 3	パークゴルフ場整備事業	H28 ～ R2	本町の魅力ある観光資源を活用して多くの誘客を目指すとともに観光関連の新たなアクティビティと地域間交流の場の創出を目的に金武町パークゴルフ場利用者の利便性向上を図るため、駐車場を整備する。	駐車場整備工事の完了	駐車場工事の完了	◎
19 金武町	1 4	水辺をつなぐ遊歩景観推進事業	R2 ～ R3	金武町の観光名所である大川の湧水を活用した大川児童公園と湧水の流末に位置する親水広場との間に遊歩道を整備し、施設間の一体化、機能強化を図り、観光振興に寄与することを目的とする。	設計業務の完了	設計業務の完了	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
19 金武町	2 1	金武町就職活動支援補助事業	H27 ～ R3	雇用の拡大を図るため、求職者に対する職業相談等を行う。また、児童・生徒の就職意識の向上を図るため、キャリア教育を行う。	①就業率10%以上 ②キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	①9.5% ②99%	○
19 金武町	3 1	小中学校学習等支援事業	H24 ～ R3	児童・生徒の学力(英語)の向上を図るため、日本人英語指導員・外国人英語指導助手・英語コーディネーターを配置する。	①小学校 児童英検(シルバー)において、全国平均との平均正答率の差 -4%以上 ②中学校 英語検定3級において、校内受験者数の合格率 31.6%以上	①平均正答率 76.3% (金武町) -6% ②21.1%	未
19 金武町	3 2	幼稚園預かり保育事業	H24 ～ R3	保護者の育児における負担感の軽減を図るため、預かり保育を実施する。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検討する。	100%	◎
19 金武町	3 3	特別支援教育支援事業	H24 ～ R3	支援を必要とする幼児・児童・生徒の学習や学校生活面におけるサポートをおこなうため、特別支援教育支援員を配置する。	特別支援員教育支援員の支援により学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%)以上を含め、対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで本事業のあり方を検証する。	85%	◎
19 金武町	3 4	デジタル教科書購入事業	H28 ～ R3	令和2年度の教科書改訂に伴い、学習環境を整備する必要があることから、デジタル教科書を購入し生徒の学習意欲の向上を図る。	学校評価における児童生徒の評価で、事業の楽しさや分かりやすさについての評価項目で「評価3以上」(4段階評価)	3.4	◎
19 金武町	3 6	演奏活動推進事業	R2 ～ R3	中学校吹奏楽部に楽器を整備する。	金武中学校に楽器を整備完了	整備完了	◎
19 金武町	4 2	金武町移民の日記念事業	H29 ～ R3	本町の移民の歴史を継承するため、顕彰式等を実施する。	①移民の日関連事業参加者数:約500人以上 ②参加者に対するアンケートで、移民の歴史に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	①50人 ②未実施	未
20 伊江村	1 1	伊江村ハブ対策事業	H27 ～ R3	本村に生息するハブによる健康被害から村民及び観光客を守るため、生息地となっている観光地や海岸沿いの清掃を行い、ハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲機を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。	・ハブ咬傷による被害件数0件	・ハブ咬傷による被害件数0件	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
20 伊江村	2 1	村立保育所整備事業	R1 ～ R2	幼児が安心・安全で快適に過ごせる保育環境の整備、多様化する保育ニーズへの対応、及び保護者の子育てと就業の両立を図るため、保育所を整備する。	・保育所建築工事完了 ・電気設備工事完了 ・機械設備工事完了 ・周辺整備工事完了 ・備品購入完了	・保育所建築工事完了 ・電気設備工事完了 ・機械設備工事完了 ・周辺整備工事完了 ・備品購入完了	◎
20 伊江村	3 1	伊江村自動車航送コスト負担軽減事業	H26 ～ R3	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。そのため、自動車航送運賃コスト負担の軽減を目的に助成を行うことで定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	村民へのアンケートを実施し、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと回答した割合(80%)	◎
20 伊江村	4 1	村花・世界のゆり植栽推進事業	H24 ～ R2	観光誘客を図るため、村花であるテッポウユリと世界のゆり球根を植栽し、花の島づくりを推進する。	第25回伊江島ゆり祭り来場者数 R2年 33,000人	コロナウイルス感染症により、ゆり祭り中止	未
20 伊江村	4 2	観光地クリーン事業	H27 ～ R2	魅力的な観光地としての景観形成及び観光客数の維持・増加を図るため、観光地の環境美化及び保全をし、観光客の受け入れ体制を強化する。	・魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光客に対して、アンケート調査を実施した結果、景観形成が図られたとの回答(100%)	◎
20 伊江村	4 3	観光誘客整備事業	H26 ～ R2	村の観光振興を図るため、青少年旅行村リニューアル基本設計の策定、伊江村観光情報発信調査業務、伊江ビーチクリーン整備業務等による観光誘客を行う。	①青少年旅行村来場者数 R2: 30,000人 ②集客イベントでのブース来場者数 【県外】 OKINAWA祭り: 1,000名 緑十字機を語り継ぐ会: 500名 民俗芸能関東公演: 500名 【県内】 やんばる産業まつり: 500名 離島フェア2020: 1,500名	①青少年旅行村来場者数 R2: 4,600人 ②集客イベントでのブース来場者数 コロナウイルスの影響によりイベント中止	未
20 伊江村	5 1	確かな学力を育む学習支援員配置事業	H25 ～ R3	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより学力の向上を図るため、学習支援員等を配置する。	・沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 2ポイント以上上げて県平均を上回る 中学校 4ポイント以上上げて県平均を上回る	県平均正答率との差 ○小学校3年 コロナのため未実施 ○小学校4年 コロナのため未実施 ○小学校5年 国語: -4.8 算数: -1.8 ○小学校6年 国語: -4.1 算数: +1.6 ○中学校1年 国語: -7 数学: -13.4 英語: -7.8 ○中学校2年 国語: +7.2 数学: +10.5 英語: +6.9	△

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
20 伊江村	5 2	各種大会派遣費助成事業	H25 ～ R3	村外の児童生徒との競争や交流の機会を増やし、広い視野を持たせるため、本村の児童生徒のスポーツ活動・文化活動等において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。	・対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートにおいて「児童生徒が広い視野を持つことができたか」の質問に対して、「思う」、「そう思う」と答えた方割合(89.6%)	◎
20 伊江村	6 1	伊江村型就業意識向上支援事業	H28 ～ R3	高校進学等のため、中学卒業と同時に親元を離れ、1人で生活することを余儀なくされる島の子どもたちへ、将来への就業意識の向上を図るため、ジョブシャドウイングや職業人講話等を実施する。	・就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	イベントへ参加した児童生徒へアンケートを実施し、就業意識が向上したと回答した割合(95%)	◎
20 伊江村	8 1	離島における陸上養殖可能性調査事業	H30 ～ R2	村の漁業振興を図るため、スジアオノリの試験栽培を行い陸上養殖の可能性を検討する。	・試験栽培による品種の選定	試験栽培による品種の選定完了	◎
20 伊江村	9 1	伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業	R2 ～ R3	村内の戦跡保存及び周辺整備・安全柵・案内板・説明版を設置し、歴史の生きた教材として平和学習に活用する。	基本設計の策定完了	基本設計の策定完了	◎
20 伊江村	10 1	バス停上屋整備事業	R2	観光客及び地元住民がバス停で日差しや雨風を避け快適に利用できるようにするため、バス停上屋を整備する。	バス停上屋の整備完了(4箇所)	バス停上屋の整備完了(3箇所)	○
21 読谷村	1 1	読谷観光・物産アピールとスポーツコンベンション誘致促進事業	H24 ～ R3	スポーツキャンプを中心に、各種スポーツ大会・試合・キャンプ・合宿・スポーツイベント等の更なる誘致促進、受入体制の強化を目的とする。また、それに伴い、本村でのスポーツキャンプが定着化している地域で、観光誘客イベントを行うことで、ファン層などの観光客を村内へ誘客する。また村内でもスポーツコンベンション受入の機運を高める取り組みを行う。	・スポーツコンベンション誘致件数 28件以上 ・イベント観客数80,000人以上 ・キャンプ期間中の来場者数 35,400人以上	・スポーツコンベンション誘致件数 8件 ・イベント観客数5,690人 ・キャンプ期間中の来場者数 0人	未
21 読谷村	1 2	危険生物駆除事業	H25 ～ R3	より安全な観光地を目指し、来村する観光客や村民をハブの咬傷被害から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除、注意喚起を実施する。	村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:0件	村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:0件	◎
21 読谷村	1 3	ヨミタンJOHO発信事業(読谷観光情報等PRラジオ番組制作・放送事業)	H25 ～ R3	本村の認知度向上を図るため、観光情報番組よみたんラジオを放送する。	メール受信件数:1,104件	メール受信件数:1,069件	○
21 読谷村	1 4	読谷にーびち観光客誘致事業	H29 ～ R3	リゾートウェディングを目的とする観光客を誘致するため、国内外でプロモーションを実施する。	リゾートウェディング数 2,412組	リゾートウェディング数 1,132組	未

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
21 読谷村	1 6	川回る広場整備事業	H30 ~ R2	ソフトボール競技の公式戦及びキャンプの誘致を図るため、川回る広場を整備する。	工事及び備品購入の完了	工事及び備品購入の完了	◎
21 読谷村	1 7	ゆんたんざウトウイムチ推進事業	R2 ~ R3	本村の観光の現状や課題の分析を行い、今後の観光振興の方向性を示す読谷村観光振興計画を策定し、計画に基づく施策を推進する。	・第2次読谷村観光振興計画の評価・検証の完了 ・観光振興に係る基礎調査・分析の完了	・第2次読谷村観光振興計画の評価・検証の完了 ・観光振興に係る基礎調査・分析の完了	◎
21 読谷村	2 1	特別支援教育支援員配置事業	H26 ~ R3	特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことにより、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員の支援により困難が改善された割合80%以上	特別支援教育支援員の支援により困難が改善された割合:95%	◎
21 読谷村	2 2	ICT機能強化事業(中学校デジタル教科書)	R2	ICT機器活用により学校教育の質の確保を図るため、中学校にデジタル教科書を整備する。	村立2中学校へのデジタル教科書整備完了	村立2中学校へのデジタル教科書整備完了	◎
21 読谷村	3 1	沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業	H25 ~ R3	現在では日常生活で会話することも少なくなった沖縄語の保存継承に寄与するため、身近な生活の中で語られてきた沖縄語(動植物名、生活道具など)をわかりやすく学び、親しむためのデータベースを作成・公開し、沖縄語になじみの薄い児童生徒らに沖縄語の教材を提供する。	HP(データベース)アクセス数:800件	HP(データベース)アクセス数:1,113件	◎
21 読谷村	5 1	読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業	H26 ~ R3	読谷村では、1978年に策定した「ヤチムンの邑」基本構想により、村づくりの中江ヤチムン(琉球陶器)の振興を推進してきた。今後のヤチムンの持続的発展を目指し、県外マーケットにおいてマーケティングを行うとともに、プロモーションを行い、販路拡大や人材を育成する。また、併せて村内工芸品である花織・琉球ガラスの販路拡大を図る。	・陶器市の来場者数 14,589人 ・物産展売上金額 70,000円 ・展示会商談数 10件	・陶器市の来場者数 0人 ・物産展売上金額 0円 ・展示会商談数 0件	未
21 読谷村	6 1	低炭素社会構築事業	H30 ~ R2	積極的な省エネルギー設備の導入により、環境負荷の少ない低炭素社会の構築と自然豊かな環境に配慮した村づくりの推進を図るために、防犯灯等をLED照明に切替、温室効果ガス(CO2)の排出を抑制する。	R2年度分防犯灯のLED照明整備工事の完了	R2年度分防犯灯のLED照明整備工事の完了	◎
21 読谷村	7 1	読谷補助飛行跡地「大木地区」崖地対策事業	R1 ~ R3	読谷補助飛行跡地(大木地区)の土地利用を促進するため、区画整理地と境界が隣接する崖地法面の整備を行う。	崖地対策工事の一部完了	-	繰
22 嘉手納町	1 1	比謝川緑地広場整備事業	H24 ~ R3	観光誘客を図るため、比謝川緑地に自然体験・交流拠点施設や広場等を整備する。	・自然体験センター建設工事の完了	-	繰

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
22 嘉手納町	1 2	屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業	H25 ～ R3	施設利用者の増加を図るため、地域振興施設の機能拡充(展望台及び広場の拡張、飲食物販施設の増築、駐車場整備等)を行う。	建築工事の完了	建築工事の完了	◎
22 嘉手納町	1 3	観光史跡等説明板整備事業	H24 ～ R3	町の歴史・文化の継承及び町文化財を活用した観光誘客を図るため、町史跡、旧跡等へ多言語表記した説明板を設置する。	観光史跡等説明板の整備率100%	観光史跡等説明板の整備率:100% (2箇所/2箇所)	◎
22 嘉手納町	2 1	学習支援員配置事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力向上を図るため、小中学校に学習支援員を配置し、個々の実態に応じた学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査(算数・数学)において、県と本町との平均正答率の差 小学校:-4.4ポイント以上 中学校:-9.3ポイント以上	沖縄県学力到達度調査(算数・数学)において、県と本町との平均正答率の差 小学校:-0.1ポイント 中学校:-7.4ポイント	◎
22 嘉手納町	2 2	英語力強化事業	H24 ～ R3	小学生の英語への興味・関心の向上及び中学生の英語学力の向上を図るため、小中学校に英会話指導員及び英語指導員(中学校のみ)を配置し、小学生の英語学習への関心・意欲を高めるとともに、中学生に対する実用的な英語教育を実施する。	(小学生) ①英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人のアンケートにより、本事業のあり方を検証する。 (中学生) ②英語検定3級以上を保有する生徒の割合:6.5%以上 ③沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率(英語)の差-5.2ポイント以上	(小学生) ①英語に対する興味・関心が高まったかを含め、アンケートを実施。 【英会話の授業が楽しいと回答した割合:75%】 (中学生) ②英語検定3級以上を保有する生徒の割合:13.2% ③沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率(英語)の差:-5.4ポイント	△
22 嘉手納町	2 3	ICT活用事業	H24 ～ R3	授業へのICT機器活用の促進及び学校教育の質の確保を図るため、小中学校にICT支援員(パソコン指導員)を配置し、教員への授業でのICT活用に向けた支援や教育のICT化に向けた支援を行う。	①教員にアンケートを実施し、ICT支援員(パソコン指導員)の配置により、授業でのICT機器活用が促進された内容項目での肯定的な割合(80%以上)を含め、アンケートにより効果を検証する。 内容項目例:「ICT機器活用が増えた」「ICT機器を利用した授業における機器操作が行いやすくなった」等 ②児童生徒にアンケートを実施し、「ICT機器を活用した授業は分かりやすかった」と答えた割合(80%以上)を含めアンケートによる効果を検証する。	①教員にアンケートを実施 【ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できると答えた割合:81%)】 ②児童生徒にアンケートを実施 【ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:93%】	◎
22 嘉手納町	2 4	不登校対策生徒指導支援員配置事業	H24 ～ R3	不登校生徒や長期欠席者の早期支援の充実を図るため、中学校へ生徒指導支援員(生徒指導補助員)を配置する。	不登校出現率 2.2%以下	不登校出現率:2.3%	未

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
22 嘉手納町	2 6	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R3	学習や生活面で特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内の各小中学校に特別支援教育支援員(教育サポーター、介助員)を配置し、必要な支援を行う。	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートを実施。 【学校生活や学習上の困り感が改善されたと回答した割合:82%】	◎
22 嘉手納町	3 1	雇用促進事業	H25 ～ R2	求職者の就職促進を図るため、就職相談窓口を開設し、就職活動の支援を行う。	①相談者のうち就職が決まった人数:8人以上 ②相談者のうち就職が決まった人数の割合:4.5%以上 ※「就職が決まった人数」は、支援後に就職が決まった(内定を得た)人数。支援後の後追い調査で(年2回)で確認。	①相談者のうち就職が決まった人数:10人 ②相談者のうち就職が決まった人数の割合:3.3%	△
22 嘉手納町	4 1	廃棄物リサイクル事業	H25 ～ R3	ごみの排出量を削減し、ゴミ処理施設及び最終処分場の長寿命化を図るため、本町で排出される草木を回収、チップ化し、再資源化を行う。	草木の再資源化(草木ゴミの処理量) 616.8t以上/年	草木の再資源化(草木ゴミの処理量) 799.42t以上/年	◎
22 嘉手納町	5 1	嘉手納町公共施設省エネ化推進事業	H30 ～ R3	CO2の排出量を削減するため公園施設等の照明を環境負荷の少ないLED照明に切り替える。	R2年度中に切り替える器具による二酸化炭素排出量の削減効果 11施設 1,266Kg-CO2/年の削減	1,266Kg-CO2/年の削減	◎
23 北谷町	1 1	北谷町観光物産プロモーション事業	H24 ～ R3	北谷町の知名度を一層向上させ、観光客の誘致を図るため、県外及び海外で観光プロモーション等を実施する。	・観光情報センター利用者人数98,900人(うち外国人利用者数65,000人以上) ・多言語職員を窓口を設置し、対応した外国人満足度(80%以上)アンケートにより本事業の在り方について検証する。	・観光情報センター利用者人数 7,220人(うち外国人利用者数641人以上) ・多言語職員を窓口を設置し、対応した外国人満足度 100%	△
23 北谷町	1 2	コミュニティバス導入調査検討事業	H26 ～ R3	観光客や町内の交通弱者の利便性・回遊性の向上を図るため、町内観光施設や商業施設等を周遊するコミュニティバスの実証運行を行い、自走化を目指す。	・バス利用者に利便性・回遊性の向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・収支率25%以上を目指す。	・バス利用者に利便性・回遊性の向上が図られたか 61.69% ・収支率 9.7%	未
23 北谷町	1 3	サンセットビーチ改良事業	H29 ～ R3	観光誘客を図るため、サンセットビーチ改良を行う。	サンセットビーチ改良工事のうち、離岸堤工、第一突堤工、第二突堤工の竣工。	-	繰

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
23 北谷町	2 1	英語指導助手派遣事業	H24 ～ R3	小学校児童の英語への興味・関心を高めるため、英語指導助手(AET)を配置する。(隣接する幼稚園兼務) 中学校生徒の英語能力の向上を図るため、英語指導助手(AET)を派遣する。	小学校:児童の英語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 中学校:沖縄県学力到達度調査において、英語の県と本町の平均正答率の差 Δ0.5ポイント以上	小学校:児童の英語への興味・関心が高まったか 84.3% 中学校:沖縄県学力到達度調査において、英語の県と本町の平均正答率の差 +4.2ポイント	◎
23 北谷町	2 2	日本語指導学習支援員配置事業	H25 ～ R3	日本語による会話能力の向上を図るため、日本語指導学習支援員を学校に配置し、日本語が十分に理解できない外国籍児童や帰国児童等への学習支援を行う。	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合80%以上等を含め本事業のあり方を検証する。	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合 91.7%	◎
23 北谷町	2 3	学力向上学習支援員派遣事業	H26 ～ R3	児童生徒の学力の向上を図るため、学習支援員を全小中学校に各校1名(計6名)配置し、個々の学力に応じた学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 小学校 Δ0.4ポイント以上 中学校 Δ1.0ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 小学校 1.6ポイント 中学校 Δ0.4ポイント	◎
23 北谷町	2 4	スクールソーシャルワーカー派遣事業	H26 ～ R3	児童生徒の問題行動(暴力、喫煙、家出等)の改善を図るため、スクールソーシャルワーカーを配置し、問題を抱える児童生徒に対応した支援を行う。	町立小中学校の問題行動(暴力、金銭せびり、喫煙、飲酒、家出)の件数 小学校 8件以内 中学校 17件以内	町立小中学校の問題行動(暴力、金銭せびり、喫煙、飲酒、家出)の件数 小学校 2件 中学校 8件	◎
23 北谷町	2 5	ICT教育推進事業	R2 ～ R3	教授用タブレットPCを整備し、より魅力的でわかりやすい授業を展開する。	教授用タブレットの整備完了	教授用タブレットの整備完了	◎
23 北谷町	3 1	跡地利用推進事業	H24 ～ R3	跡地利用推進調査及び勉強会等の実施し、跡地利用整備計画を策定する。	・調査内容報告書の作成(キャンプ桑江南側地区) ・跡地利用整備計画の策定(キャンプ瑞慶覧倉庫地区)の完了 ・調査内容報告書の作成(桑江第一タンクファーム)	・調査内容報告書の作成(キャンプ桑江南側地区)未実施 ・跡地利用整備計画の策定(キャンプ瑞慶覧倉庫地区)未完了 ・調査内容報告書の作成(桑江第一タンクファーム)未実施	未
23 北谷町	4 1	北谷町特定駐留軍用地内土地取得基金事業	H25 ～ R3	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、基金を造成し、キャンプ桑江(南側地区)及びキャンプ瑞慶覧(施設技術部地区内の倉庫地区の一部等)の土地の先行取得を実施する。	特定事業の用に供する土地取得目標 12,134㎡(達成率約91%) ※達成率:先行取得目標面積(86,000㎡)に対する累積取得面積の割合	特定事業の用に供する土地取得 91%	◎
24 北中城村	1 1	あやかりの杜滞在型施設活用事業	H24 ～ R3	村内への観光誘客や伝統文化の継承を図るため、沖縄の自然を活用した野外活動や沖縄の伝統文化を体験できる事業を実施する。	体験交流人数:550人以上	体験交流人数:294人	未

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
24 北中城村	1	2	北中城まつり活性化事業	H24 ～ R3	北中城村まつり活性化委員会において新型コロナウイルス感染症に対応したまつりの開催方法を検討する。	・まつり開催方法の決定	・まつり開催方法の決定	◎
24 北中城村	1	3	観光誘客プロモーション事業	H26 ～ R3	本村の玄関口となる観光案内所や国内外において村の情報を観光イベントやメディアプロモーションで発信することにより、村内への観光誘客を図る。	・PRブース来場者数:1,700人 ・観光案内所利用者数:14,000人	・PRブース来場者数:2,000人 ・観光案内所利用者数:5,590人	△
24 北中城村	1	4	公営墓地整備事業	H24 ～ R3	沖縄独特の墓地散在化の抑制と整理、景観的な配慮や住環境の改善を図るため、公営墓地の整備を行う。	・公営墓地用地造成工事の完了	-	繰
24 北中城村	1	5	観光周遊バス実証事業	H30 ～ R3	村内への観光誘客を図るため、大型商業施設と世界遺産中城城跡を結ぶ観光周遊バスによる実証実験を実施する。	・年間利用者数:22,000人	・年間利用者数:4,712人	未
24 北中城村	1	6	リュウキュウマツ保全事業	H28 ～ R3	沖縄の県木であるリュウキュウマツを保全するため、すでに枯れた松くい虫被害木の伐倒駆除を実施する。	・予防達成率:90%以上	・予防達成率:89.5%	○
24 北中城村	1	7	観光情報インフラ整備推進事業	H28 ～ R3	村内を訪れる観光客の情報収集に係る利便性を高め、観光基盤を強化し、観光誘客を図るため、情報アクセスポイントの運営並びにビッグデータの分析を行う。	・free Wi-Fiアクセス数:8,500/月	・free Wi-Fiアクセス数:6,525/月	○
24 北中城村	1	8	多言語観光案内サイン整備事業	H30 ～ R3	外国人観光客の利便性・安全性の向上を図るとともに、観光スポットへ誘導し、本村を周遊することを目的に多言語観光案内板を設置する。	・多言語観光案内板設置完了:10基 ・周辺案内板設置完了:3基	・多言語観光案内板設置完了:10基 ・周辺案内板設置完了:3基	◎
24 北中城村	2	1	アワセゴルフ場地区歴史・まちづくり映像保存事業	H24 ～ R2	歴史を後世に伝えるため、駐留軍用地としての利用から返還合意、跡地利用に至るまでの映像の記録、編集を実施する。	・全体の記録映像の作成進捗率:100%	・全体の記録映像の作成進捗率:100%	◎
24 北中城村	2	2	キャンプ瑞慶覧特定駐留軍用地推進基金事業	H25 ～ R3	キャンプ瑞慶覧ロウワーブラザ住宅地区の跡地利用を促進するため、これまで積立てた基金を活用し、公有地の先行取得を行う。	・全体用地取得率:91.7%	・全体用地取得率:85.1%	○
24 北中城村	3	1	雇用サポートセンター事業	H24 ～ R3	地域に密着した就業支援を行うことで雇用機会の創出を図るため、雇用サポートセンターを設置する。	・失業者のマッチング:11人	・失業者のマッチング:7人	未

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「繰越」・・・「繰」
 「遂行困難」・・・「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
24 北中城村	3 2	グッジョブ連携推進事業	H27 ～ R3	児童生徒の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、出前フォーラム等を実施する。	・就業に対する意識が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	・就業に対する意識が向上したか:90%	◎
24 北中城村	4 1	営農支援強化事業	H24 ～ R3	専門性の高い営農指導員による指導を行うことで、生産から販売までの営農体制の支援を実施する。また、安定した農業経営に必要なパイプハウス施設整備支援を行う。	・指導した農家の年間出荷額:4,006千円以上	・指導した農家の年間出荷額:3,460千円	○
24 北中城村	4 2	地域ブランド構築事業	H24 ～ R3	特産品の販売促進を図るため、特産品取扱店舗の維持・開拓、首都圏等での調査・プロモーションを実施する。	・特産品年間販売額 ①アーサクッキー:120千円以上 ②アーサ麺:1,100千円以上 ③パッションスイーツ:8千円以上 ④パッションフルーツスカッシュ:20千円以上 ⑤パッションフルーツタコライスソース:63千円以上	・特産品年間販売額 ①アーサクッキー:120千円 ②アーサ麺:0千円 ③パッションスイーツ:0千円 ④パッションフルーツスカッシュ:0千円 ⑤パッションフルーツタコライスソース:21千円	△
24 北中城村	4 3	農を活かした北中城活性化事業	H28 ～ R2	水耕栽培実証実験施設の事業施設化に向けた仕様の策定とその水耕栽培施設に必要なエネルギーや耕作放棄地の再生に資する堆肥化を食物残渣で賄えるよう、事業化に向けた施設の仕様を策定する。	・品目毎の最適な施設仕様の策定 ・整備地域の電力需要を踏まえた発電施設最適仕様の策定 ・試作品の改良及びテスト販売	・品目毎の最適な施設仕様の策定完了 ・整備地域の電力需要を踏まえた発電施設最適仕様の策定完了 ・試作品の改良及びテスト販売実施	◎
24 北中城村	4 4	農を活かした健康・福祉の里づくりに向けた推進事業	H30 ～ R2	耕作放棄地の再生に向けて、循環型農業ゾーンと体験農園施設ゾーンを整備するため、民間事業者が継続して営農するための収支見通しの策定を行うとともに、民間事業者の誘致を図る。	・収支見通しの策定 ・民間事業者の誘致	・収支見通しの策定 ・民間事業者の誘致	◎
24 北中城村	5 1	総合英会話指導支援事業	H24 ～ R3	生きた英語に触れることで、児童生徒の英会話への興味・関心を高めるため、村立小中学校に英会話指導員を配置する。	英語検定の受験者数:602人	英語検定の受験者数:204人	未
24 北中城村	5 2	アメリカ教育機関ネットワーク形成事業	H24 ～ R3	英会話力、英作文力、英文読解力の向上を図るため、米国教育機関とのWEBシステムを活用した小・中・高校生向けの英語講座を実施する。	・定期テストにおける英語習熟度:講座を受けた生徒全員80点以上	前期:22名中20名 後期:23名中19名	○
24 北中城村	6 1	琉球歴史風致資産調査事業	H24 ～ R3	村内の「歴史風致資産」に関する調査成果のとりまとめを行い、本村独自の歴史を情報発信する。	・調査報告書(祭祀編)の発刊及び各機関等への配布	・調査報告書(祭祀編)の発刊及び各機関等への配布	◎
24 北中城村	7 1	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、支援員を配置する。	・支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	・支援員に対する満足度:96.6%	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「繰越」・・・「繰」
 「遂行困難」・・・「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
24 北中城村	7 2	学習支援員配置事業	H27 ～ R3	学習の遅れがちな児童生徒に対する学習支援を行うため、村立小中学校に学習支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合及び無答率の減少 ・正答率30%未満の割合 小学5年生:算数(8.9%以下) 中学2年生:数学(32.8%以下) ・無答率 小学5年生:算数(8.9%以下) 中学2年生:数学(11.1%以下)	沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合及び無答率の減少 ・正答率30%未満の割合 小学5年生:算数(39.6%) 中学2年生:数学(32.7%) ・無答率 小学5年生:算数(12.0%) 中学2年生:数学(6.8%)	△
24 北中城村	7 3	児童生徒の県外派遣旅費等支援事業	H29 ～ R3	児童生徒が学校教育の一環として県外に派遣される場合に、その派遣費用のうち対象経費の2分の1以内の額について補助を行う。	・派遣された児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	・派遣された児童生徒の視野が広がったか:97%	◎
24 北中城村	7 4	小中学生県外派遣支援(社会教育関連)事業	H29 ～ R3	県外大会への参加を、村内に在住する小中学生に等しく機会を与え、子ども達の視野を広げるため、社会教育の一環として派遣されるスポーツや文化活動に係る大会派遣に対し、航空運賃を補助する。	・派遣された子ども達の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	・派遣された子ども達の視野が広がったか:100%	◎
24 北中城村	7 5	学校ICT活用支援事業	R2	大型ディスプレイ等のICT環境を整備し、分かりやすい授業を実践することによる学校教育の質の確保や教員のICT機器の習熟度を高めることにより、子ども達の学力・情報活用能力等の向上を図る。	・大型ディスプレイの整備完了	・大型ディスプレイの整備完了	◎
24 北中城村	8 1	健康長寿のまちづくりアクション事業	H26 ～ R3	本村の健康課題にアプローチする健康イベントを実施し、村民の運動習慣の啓発に繋げる。	・健康イベントへの総参加者数:500人以上 ・健康マイレージ事業参加者数:500人以上	・健康イベントへの総参加者数:689人 ・健康マイレージ事業参加者数:183人	△
25 中城村	1 1	防災体制整備事業	H26 ～ R2	津波被害や土砂災害の危険性の高い本村において、自然災害に強い村づくりを推進していくため、防災基盤の整備を実施する。水害時に、迅速な災害対応ができるよう、水害対策用品の整備を行い、災害に強いまちづくりを推進する。	整備した吸水性土のう及び防水シートを活用した避難訓練(2回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	未実施	未
25 中城村	1 2	省エネ化推進整備事業	R1 ～ R3	環境に優しい(温暖化対策)村づくりを推進するため防犯灯等の照明器具にLEDを導入する。	防犯灯400基をLEDに整備	防犯灯301基をLEDに整備	○
25 中城村	2 1	吉の浦公園施設機能強化整備事業	H25 ～ R3	プロサッカーチームの合宿誘致、村民等の健康増進及び利用者の利便性確保を図るため、スポーツや文化活動の拠点として活用されている吉の浦公園内の各施設の機能強化整備を行う。	①プロサッカーチームの合宿誘致件数:2件 ②整備の完了 ③整備の完了	-	繰

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
25 中城村	2 3	プロサッカーキャンプ支援事業	H25 ～ R3	スポーツキャンプを通して、観光地としての魅力を発信し観光誘客を図るため、プロサッカーチームの冬季キャンプ誘致活動並びにキャンプ受入の歓迎イベントの開催及び円滑なキャンプ実施のための警備を行う。	・キャンプ見学者数:8,960人 (560人/1日あたり × 8日間 × 2チーム)	・キャンプ見学者数:0人	未
25 中城村	2 4	観光地周辺環境美化事業	H29 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃等を行う。	魅力的な観光地としての景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観となっているか:89%	◎
25 中城村	4 1	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ R3	ICTを使用したわかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の確保及び教員のICT機器活用の習熟を図るため、小中学校にICT機器を整備する。また、情報教育補助員を配置し、授業支援やICT機器活用に向けた環境整備を行う。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:80%以上 以上の調査項目を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:81% ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:84%	◎
25 中城村	4 2	きめ細かな児童生徒支援事業	H24 ～ R3	特別な支援を必要とする児童生徒に対し、個に応じた支援を行うため、特別支援員を配置する。また、不登校や発達障害等の課題解決を図るため、教育相談員と心理相談員を配置する。	①特別支援員の対応への満足度(70%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ②不登校児童生徒復帰率49%以上	①特別支援員の対応への満足度:84% ②不登校児童生徒復帰率:23%	○
25 中城村	4 3	学力向上のための学習支援事業	H29 ～ R3	将来の沖縄振興に資する人材の育成に向けて、学力の向上を図るため、村内中学校に学習支援員を配置する。	①沖縄県学力到達度調査(数学)において、県との平均正答率差-5.4%以上	①沖縄県学力到達度調査(数学)において、県との平均正答率差-4.8%	◎
25 中城村	4 4	子育て保育支援事業	H29 ～ R3	・特別な支援を必要とする子を預かる保育園を対象に、保育士の加配に対する支援を行い、要支援児の保育園での生活の困難の改善を図る。	・保育園での生活の困難が改善されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・保育園での生活の困難が改善されたか:88%	◎
25 中城村	4 5	ひとり親家庭学童利用支援事業	H30 ～ R3	ひとり親家庭の育児負担感の軽減を図るために学童クラブがひとり親家庭の学童利用者に対し利用料を減免した場合に補助を実施する。	保護者アンケートで安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたか:80%以上	保護者アンケートで安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたか:100%	◎
25 中城村	4 6	私立幼稚園等整備促進事業	R2	5歳児のみを受け入れる村立の全ての幼稚園(2園)を廃止し、村の意向を順守した私立幼稚園等の教育・保育施設の整備を促進する。	用地購入(6筆)の完了 公募要領策定完了	-	繰

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
25 中城村	5 1	文化財悉皆及び中城村沖縄戦調査事業	H25 ～ R3	・文化財調査員による文化財の調査、文化財関係冊子の執筆・編集、印刷請負による冊子の発刊を行う ・中城村沖縄戦調査員による村内の沖縄戦調査、沖縄戦関連冊子の執筆・編集、印刷請負による冊子の発刊を行う	①「中城村の文化財」500部の発刊、配布 ②「中城村の沖縄戦 証言編」500部、「中城村の学童疎開」リーフレット1000部の発刊、配布 ③沖縄戦に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、参加者に対してアンケートを実施し本事業のあり方を検証する。	-	繰
25 中城村	6 1	中城村農業振興環境整備事業	H30 ～ R3	①農業指導員及び補助員による試験栽培の実施。 ②試験栽培で行った栽培方法を農家で実証	①栽培試験2品目 ②2農家で実施する。	①栽培試験2品目 ②2農家で実施する。	◎
25 中城村	7 1	PFI導入による地元小規模事業者等経営安定化事業	R2 ～ R3	PFIを導入することにより、地元小規模事業者等の長期にわたる安定的な資金の確保を支援するため、PFI手法導入の可能性を調査する。	PFI導入可能性調査の完了	PFI導入可能性調査の完了	◎
26 西原町	1 1	観光地美化・緑化等環境整備事業	H24 ～ R3	沖縄らしい風景を保全するため、公園の芝刈り、樹木剪定、植栽等を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	観光客や地元住民に対し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光客や地元住民に対し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか:82%	◎
26 西原町	1 2	文化財環境整備活用事業	H25 ～ R3	西原町内にある文化財及び文化財周辺環境の環境美化・整備や文化財ガイドの育成及び文化財巡り等イベントを開催し、観光誘客に向けた基礎的環境整備を図る。	文化財巡り等イベント参加者数140名以上	文化財巡り等イベント参加者数:42名	未
26 西原町	1 3	農水産物流通・加工・観光拠点施設整備事業	H24 ～ R2	農水産物販売機能や地域食材提供機能等を併せ持つ複合拠点施設を整備し、地元農水産物の消費の拡大及び地元産品を活用したグルメ提供を行うことにより、地元生産者の所得向上を図る。	・外構工事及び工事監理業務委託の完了 ・展示作製業務等の完了	・外構工事及び工事監理業務委託の完了 ・展示作製業務等の完了	◎
26 西原町	2 1	小学校外国語活動指導員派遣事業	H24 ～ R3	外国語活動指導員を小学校に派遣し、外国語教育の充実を図り、外国語への興味・関心を高める。	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検討する。	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか:80.70%	◎
26 西原町	2 2	教育相談員配置事業	H24 ～ R3	町教育相談室に教育相談員を配置し、学校生活等に悩みを抱える児童生徒及び青少年やその保護者等に対して支援を行うことで、学校生活等の困難の改善を図る。	相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合 28%以上	相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合:64%	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
26 西原町	2 3	学習支援員配置事業	H25 ～ R3	学習支援員を小中学校に配置し、各児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、児童生徒の学力向上を図る。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語 2.5以上 算数 1.5以上 ・中学校 国語 -2.0以内 数学 3.6以上	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語 +4.45 算数 +3.30 ・中学校 国語 +4.45 数学 +4.70	◎
26 西原町	2 4	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別支援教育支援員を小中学校に配置し、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	年度末に実施する支援対象児の状況調査において、改善した児童数を30%以上	年度末に実施する支援対象児の状況調査において、改善した児童数：90.7%	◎
26 西原町	2 5	幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R3	幼稚園特別支援教育支援員を幼稚園に配置し、特別な支援を要する障害がある園児に対応した支援を行うことで、学園生活や学習上の困難の改善を図る。	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度：98.28%	◎
26 西原町	2 6	小学校デジタル教科書整備事業	R2	学習内容の理解度を深め、将来の沖縄振興に資する人材育成及び児童の学力向上を図るため、デジタル教科書を購入する。	児童にアンケートを実施し、デジタル教科書を使った授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	児童にアンケートを実施し、デジタル教科書を使った授業が分かりやすかったと答えた割合：96%	◎
26 西原町	3 1	親子通園事業	H28 ～ R3	乳幼児健診等の結果から、支援の必要性が高い発達の気になる子と保護者の受け入れを行い、日常生活における基本動作の指導や集団生活への適応の訓練及び保護者に対する療育上の助言等を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図る。	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたか：100%	◎
26 西原町	4 1	西原町防犯灯・道路LED化事業	H29 ～ R2	本町が進めるエコへの取り組みを推進するため、町内の防犯灯・道路灯を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガスの排出の抑制を図る。	道路灯・防犯灯のLED化によるCO2排出量の削減目標値：66,752kg-CO2	道路灯・防犯灯のLED化によるCO2排出量の削減目標値：66,752kg-CO2	◎
26 西原町	5 1	農家経営安定支援事業	H26 ～ R3	農家への技術指導及び経営指導のため、指導員を配置し、巡回指導・窓口相談及び園芸セミナー(講習会)を開催することで、栽培技術の理解及び向上を図る。	・巡回指導した農家へのアンケート 栽培技術力が向上したか(80%以上)、また農業収入が向上したと感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。 ・園芸セミナー参加者へのアンケート 栽培技術への理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	・巡回指導した農家へのアンケート 栽培技術力が向上したか。91.6% 農業収入が向上したと感じるか。80% ・園芸セミナー参加者へのアンケート 栽培技術への理解が深まったか。82%	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
26 西原町	6 1	里道及び水路の境界確定復元事業	H27 ～ R3	戦後、地籍が確定しないまま家屋等が建築された箇所が多々あり、境界問題の解決や公共用地の適正な管理を行うため、境界復元の確定測量及び表示登記を実施する。不明確な里道及び水路の位置を確定することで、災害時の避難経路整備計画図を策定し、避難経路の整備を行う。	・確定測量の完了 ・表示登記申請の完了	・確定測量の完了 ・表示登記申請の完了	◎
26 西原町	7 1	西原町雇用サポートセンター活性化事業	H27 ～ R3	求人企業に既存支援制度の活用に向けた助言等を行い、求職者と企業のマッチングや、就職セミナーやスキルアップ講座を開催することで、雇用の拡大を図る。	新規雇用割合49%以上	新規雇用割合38%	○
26 西原町	7 2	地域型就業意識向上支援事業	H27 ～ R3	高校生及び大学生を中心に商品販売活動や商品開発等を実施し、就業意識の向上を図るとともに、「西原町」を深く理解し愛着を持つ郷土愛の醸成を図る。	・高校生、大学生へのアンケートを実施し、就業意識向上(93%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。 ・郷土愛の醸成についてアンケートで、評価80%以上	・高校生、大学生へのアンケートを実施し、就業意識向上:100% ・郷土愛の醸成についてアンケートで、評価:100%	◎
26 西原町	8 1	輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R3	乳幼児の麻しん・風しんの感染症を予防と蔓延を防ぐため、予防接種の費用を助成する。	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	◎
27 与那原町	1 1	与那原町魅力発信事業	H26 ～ R3	与那原町の魅力を県内外に発信し、また観光客の誘致を図る為、各種事業により整備した新たな観光資源等を活用し、事業を実施する。	・社交飲食業組合スタンプラリー参加者数 600人	・社交飲食業組合スタンプラリー参加者数 659人	◎
27 与那原町	1 2	観光地美化・緑化きれいなまちづくり事業	H24 ～ R3	町内散策コースの美化・緑化を促進し、観光客が安心・安全で気持ち良く町内を回遊できるように環境を整え観光振興を図る。	・本事業(剪定・除草・植栽等)による環境美化の散策コースについて、観光地としてふさわしい景観及び環境である(80%)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	・未実施	未
27 与那原町	2 1	きめ細かな児童生徒支援事業(小学校・中学校)	H24 ～ R3	学習に遅れのある児童生徒や、特別な支援を要する児童生徒や保護者に対し、きめ細かな支援を行う為の各種支援員を配置する。	・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:県との差0.3ポイント以上 中学校:県との差0.9ポイント以上 ・不登校児童生徒復帰率10%以上	・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:県との差-3.3ポイント 中学校:県との差-4.4ポイント ・不登校児童生徒復帰率11.9%	△
27 与那原町	2 2	国際理解人材育成事業	H24 ～ R3	国際的感覚や視点を身に付ける人材育成の為に、英語指導助手を派遣する。	・児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか 68.2%	○

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
27 与那原町	2 4	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力向上及び人材育成の為、ICT教育の環境を整備し、情報教育支援員を各小中学校へ配置する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%以上を含め、本事業のあり方について検証する。 ・教員にアンケートを実施し、情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合80%以上を含め、本事業のあり方について検証する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合93.9% ・教員にアンケートを実施し、情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合92.3%	◎
27 与那原町	3 1	ほっとハート子育て応援事業	H24 ～ R3	0歳児の待機児童対策を目的に、看護師を配置する認可保育園へ雇用経費の一部を助成する(上限50,000円/月)。	・看護師を配置したことによる0歳児待機児童解消数3人以上	・看護師を配置したことによる0歳児待機児童解消数3人	◎
27 与那原町	3 2	公立幼稚園保育環境整備事業	H28 ～ R3	公立幼稚園の給食提供に伴い、安心安全に給食が提供できるよう、配膳支援員を配置する。	・保護者へのアンケート調査を実施し「配膳支援員の配置により保護者の負担軽減が図られたか」及び「小学校教育への円滑な接続が図れそうか」(80%以上)を含め本事業のあり方について検証する。	・「配膳支援員の配置により保護者の負担軽減が図られたか」100% ・「小学校教育への円滑な接続が図れそうか」88%	◎
27 与那原町	3 3	きめ細かな児童生徒支援事業(幼稚園)	H24 ～ R3	特別な支援を要する児童に対し支援することにより、幼稚園における集団生活での対応や先に控える小学校生活へのスムーズな促しを図るために個に応じたきめ細かな支援を行うための特別支援保育支援員を配置する。	・対象となる園児の保護者へのアンケート調査を実施し、「特別支援員の対応への満足度」(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	・「特別支援員の対応への満足度 100%	◎
27 与那原町	4 1	農業用被覆資材等導入推進補助事業	H29 ～ R3	沖縄県では、地理的な要因により台風の襲来、塩害、強い日射等により農作物に大きな被害が出ている。そのため、台風等による自然災害の被害軽減を図るとともに、病害虫の発生を抑制するための農業用被覆資材等を導入する経費に対して補助を行う。	ゴーヤー出荷量 2,611kg以上 マンゴー出荷量 4,785kg以上	ゴーヤー出荷量 1,101kg マンゴー出荷量 2,298kg	未
27 与那原町	6 1	災害対策備蓄整備事業	H28 ～ R2	沖縄県は他県から海を隔てた遠隔の地に位置し、他県からの本格的な応援等の到着に時間を要することから、避難施設における長期間の生活を余儀なくされる可能性が高い。被災者の長期避難生活を想定した非常用食料品等の整備を計画的に実施し、災害に強いまちづくりの実現を図る。	帰宅困難者備蓄食料カバー率 令和2年度備蓄食糧カバー率100% (R1年度備蓄食糧カバー率80%)	帰宅困難者備蓄食料カバー率 令和2年度備蓄食糧カバー率100%	◎
27 与那原町	7 1	新しい公共交通検討事業	R1 ～ R3	高齢者や障がい者等の交通弱者に配慮した移動手段を確保するため、福祉型町内バスの導入検討のために実証実験を行う。	需要や課題等の実態把握の完了	実態把握未完了	未

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
27 与那原町	8 1	運玉森「平和学習広場」整備事業	R1 ~ R2	運玉森での学習の機会を増やすため、山頂付近での歴史資料や地図等の案内板の整備を行うとともに、登山者の安全を確保する。	実施計画の策定の完了	-	繰
27 与那原町	9 1	「親川」拝所整備事業	H24 ~ R3	歴史・文化を後世に継承・発信するため、親川拝所の復元・広場周辺整備及び管理棟の整備を行う。それを学校教育・生涯学習へと活用することで、地域の歴史を学ぶ機会を増やし、地域住民の誇りを高めることに役立てるとともに、新たな観光資源としての活用を図る。	・「親川」拝所管理棟実施設計の完了 ・「親川」拝所整備に係る用地購入の完了 ・「親川」拝所整備に係る物件補償の完了 ・網曳資料館取壊工事の完了 ・網曳資料館内什器等移転の完了	-	繰
28 南風原町	1 2	小学校英語指導助手配置事業	H24 ~ R3	小学生のうちから英会話に触れさせ、英会話や英語圏の文化について興味を持たせ英語力を向上させるため、小学校に英語指導助手を配置する。	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う児童の割合:80%以上	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思ったかについて肯定的な回答(79.5%)	○
28 南風原町	1 3	学力調査等事業	H24 ~ R3	学力調査等により個々の学力を把握することで、一人ひとりの課題を明確にし、学習の目的意識の醸成をはじめ、「わかる授業」の強化や家庭学習の習慣化を通して「確かな学力」の向上に繋げるため、学力調査等を実施する。	○沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 ・小学6年 算数+0.7ポイント以上 ・中学1年 数学+9.1ポイント以上 ・中学2年 数学+6.6ポイント以上 ○標準学力調査の平均回答率が目標値以上の科目数 ・小学1~2年:2科目(全科目)	○標準学力調査の平均回答率の差 ・小学6年 算数-3.3ポイント ・中学1年 数学+1.6ポイント ・中学2年 数学+3.4ポイント ○標準学力調査の平均回答率が目標値以上の科目数 小学1年:2科目/2科目 小学2年:0科目/2科目	△
28 南風原町	1 4	学習支援員配置事業	H24 ~ R3	通常の授業についていけない児童生徒の学力向上を図るため、小・中学校に学習支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査の県と本町との平均正答率の差の合計 ・小学校 算数+6.9ポイント以上 国語+3.8ポイント以上 ・中学校 数学+1.7ポイント以上 理科+1.3ポイント以上 社会+0.1ポイント以上 英語+3.0ポイント以上	○沖縄県学力到達度調査が中止となったため、小学校では学びのたしかめ、中学校では学力調査を用いて進捗を確認。 ・県平均を超えた科目 中学校3科目 ・県平均を超えなかった科目 小学校2科目	未
28 南風原町	1 5	特別支援教育支援員配置事業	H24 ~ R3	特別な支援を要する障害がある児童生徒への学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 92.5%	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
28 南風原町	1 6	学校ICT推進事業	H24 ～ R3	教員のICT機器の習熟及び学校教育の質の確保するため、ICT支援員を配置する。また、児童生徒の授業への興味・集中力を高めるためタブレットPC等やデジタル教科書の整備を図る。	・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上 ・児童生徒にアンケートを実施し、タブレットPC等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合:80%以上	・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:94.68% ・児童生徒にアンケートを実施し、タブレットPC等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合:73.15%	△
28 南風原町	1 7	教育相談支援事業	H24 ～ R3	不登校児童生徒数の改善を図るため、小中学校に教育相談員等を配置し、不登校または不登校傾向にある児童生徒及び不登校や発達障害等の子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対して相談等の支援を行う。	不登校児童生徒復帰率:26.5%以上	不登校児童生徒復帰率:25%	○
28 南風原町	1 8	中学校外国人英語指導助手配置事業	H24 ～ R3	中学校英語学力の向上を図るため、中学校に外国人英語指導助手を配置する。	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 ・中学校 英語+3.0ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 ・中学校 英語+4.7ポイント	◎
28 南風原町	1 9	南風原町各種大会派遣支援事業	H25 ～ R3	県外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、町内の小・中学校の児童生徒が、学校を代表し、中学校体育連盟等が主催する県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の大会派遣費用を支援する。	保護者アンケートで、児童生徒の視野が広がったと実感した割合:80%以上	遂行困難	－
28 南風原町	1 10	南風原町県外等派遣支援事業	H25 ～ R3	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動参加のため県外や国外へ派遣される場合に必要派遣費用の支援を行う。	対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者等に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	対象児童等の視野が広がったかについて肯定的な回答をした割合88%)	◎
28 南風原町	1 11	南風原町幼稚園体育活動充実事業	H28 ～ R3	幼少期に運動する楽しさを実感してもらうことにより、その後の運動習慣を身に付けられるよう、南風原町内の幼稚園児を対象とし、専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施する。	運動する楽しさを実感したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する	運動する楽しさを実感したかについて肯定的な回答をした割合(98.31%)	◎
28 南風原町	2 1	南風原町観光景観美化整備事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光ルートとなる道路及び公園等の美化整備を行う。また、琉球王朝時代の間切番所跡に植樹されているフクギ並木から間切番所跡の石碑までの散策道の整備を行う。	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する	魅力的な観光地としての景観形成が図られたかについて肯定的な回答をした割合(80%)	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
28 南風原町	2 2	ヒーローのまちづくり事業	H25 ～ R3	南風原町が輩出した人材の功績を継承するとともに、観光客を本町へ誘客するため、南風原町が輩出した人材の功績や経歴、所有品の展示等のイベント等を実施する。	・イベント(上映会、凧上げ、金城哲夫展等)来客者数:3,250人	○イベント来客者及び視聴者:11,210人 ・内訳 金城哲夫ウェブ資料館の視聴者:8,900人 飛び安里凧あげ大会の参加者:200名 展示会:999名 舞台来場者:111名 ライブ配信視聴者:1,000人	◎
28 南風原町	2 3	シマじまガイド事業	H24 ～ R3	住民が地元の歴史や文化を学ぶ機会を創出するとともに観光誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を実施する。	シマじまガイド参加者:1,700人	○シマじまガイド参加者:1,147人 ・内訳 ツアー参加者23人 イベント参加者90人 イベント状況配信の視聴者1,034人	未
28 南風原町	2 4	黄金森公園スポーツ施設活性化事業	H25 ～ R3	陸上、サッカー等合宿利用者数の増加及びJリーグキャンプ誘致による誘客を図るため、黄金森公園スポーツ施設のJリーグキャンプ受入体制等の整備を行う。	・陸上、サッカー等合宿利用者数:1,800人 ・Jリーグキャンプ・全国大会来場者数:7,800人	・陸上、サッカー等合宿利用者数:757人 ・Jリーグキャンプ・全国大会来場者数:0人	未
28 南風原町	2 5	南風原町地域ブランド構築・展開プロジェクト	H24 ～ R3	本町の魅力の発信及び優れた特産品として認証した商品の販売数増加を図るため、町内事業者に対し商品開発やブランチャップ等の支援をし、「はえばる良品」の認定及び認定商品の販路開拓を図る。	・南風原良品の販売個数増 H28年度認定 ぴよぴよシフォン7,560個 ゆめかなえぼしパウンドケーキ336個 漉しカボチャ使って味わう スープの素1,890個 はえばるのまきもの87個 H29年度認定 ウォッチナー105個 SANGOくっしょん756個 沖縄キビまる豚1,050個	・南風原良品の販売個数増 ぴよぴよシフォン4,124個 ゆめかなえぼしパウンドケーキ480個 漉しカボチャ使って味わう スープの素2,500個 はえばるのまきもの100個 ウォッチナー120個 SANGOくっしょん800個 沖縄キビまる豚1,500個	○
28 南風原町	2 6	南風原町観光PR促進事業	H25 ～ R3	本町の認知度向上と地域資源の情報発信を図るため、イメージキャラクターのはえるんや野菜のお友達を活用し、様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを実施する。	・観光サイトアクセス数:207,500件	観光サイトアクセス数:106,325件	未
28 南風原町	2 7	南風原南インターチェンジ周辺企業集積推進事業	R1 ～ R3	企業誘致等による産業振興の発展を図るため、南風原南インターチェンジ周辺の特性を活かした土地利用計画(素案)を策定する。	南風原町南インターチェンジ周辺土地利用計画(素案)策定完了	南風原町南インターチェンジ周辺土地利用計画(素案)策定完了	◎
28 南風原町	2 8	南風原北インターチェンジ周辺企業集積推進事業	R2 ～ R3	本町の産業振興の発展を図るため、地域住民及び関係地権者との勉強会等を重ね地域の特性を活かした土地利用計画(素案)を策定する。	南風原町北インターチェンジ周辺土地利用計画(素案)策定完了	南風原町北インターチェンジ周辺土地利用計画(素案)策定完了	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「繰越」・・・「繰」
 「遂行困難」・・・「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
28 南風原町	2 9	南風原町和牛改良支援事業	H27 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛と導入牛以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合(牝)104%、(去勢)117%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛と導入牛以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合(牝)96.39%、(去勢)99.56%	未
28 南風原町	2 10	南風原町乳用牛改良支援事業	H28 ～ R2	乳用牛の更新・増加を促進し、生産乳量の増加と乳質の向上を図るため、優良乳用牛の導入を支援する。	生産乳量の増加:6,000kg以上 乳質(脂肪率)の向上:0.02%以上	生産乳量の増加:102,627kg 乳質(脂肪率)の向上:0.07%	◎
28 南風原町	3 1	はえばるリサイクルループ事業	H24 ～ R3	生ごみを資源化し、一般廃棄物を削減することによりごみ処理処分場の長寿命化を図るため、町内で発生する食品廃棄物を分別回収し、養豚用飼料や堆肥を生産する。また、生産された養豚用飼料ではえばる豚を育て販売することにより、食品廃棄物の循環を構築していく。	生ごみ(家庭系)の年間資源化量:30トン	生ごみ(家庭系)の年間資源化量:30トン	◎
28 南風原町	3 2	草木リサイクル事業	H24 ～ R3	焼却ごみを減らし、環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築し、ごみ処理処分場の長寿命化を図るため、町内から排出される草木を細かく破砕し堆肥化する。	・家庭系草木のリサイクル量(堆肥化):435トン ・町内一斉清掃等草木のリサイクル量(堆肥化):105トン	・家庭系草木のリサイクル量(堆肥化):592トン ・町内一斉清掃等草木のリサイクル量(堆肥化):104トン	○
28 南風原町	3 3	環境保全3R推進事業	R1 ～ R3	環境負荷の少ない循環型社会の形成と、ごみ処理処分場の長寿命化を図るため、本町の一般世帯から回収された資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、廃食油、ペットボトル、古着)の分別作業を実施しリサイクルを推進する。	資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着)の分別量 685トン 廃食油の収集分別量20,691リットル	資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着)の分別量 756トン 廃食油の収集分別量19,156リットル	○
28 南風原町	4 1	災害時等避難施設機能強化事業	H24 ～ R3	災害時における地域住民及び観光客の安全を確保するため、バリアフリー化等、避難所の整備を支援する。	災害時避難施設の機能改善・強化整備補助(1件)の完了	・災害時避難施設の機能改善・強化整備補助(1件)の完了 ・整備された避難所を活用した避難訓練を年1回実施した。	◎
28 南風原町	5 1	放課後児童の居場所づくり支援事業	H24 ～ R3	安心・安全に子供を預けることができ、保護者の子育てへの負担感を軽減するため、民間の賃貸住宅等を利用している本町の学童クラブに対して、家賃の補助を実施する。また、学童クラブが生活保護世帯及びひとり親家庭等の学童利用者に対し利用料を減免した場合の補助を実施する。	安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	児童の保護者へアンケートを実施し、安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたと回答した割合(94%)	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
28 南風原町	5 2	認可外保育園支援事業	R1 ~ R3	出生率の高い沖縄の喫緊の課題である待機児童の受入を担っている認可外保育園の保育の充実、児童の福祉向上を図るため、本町の児童が通園する認可外保育園に対して1.運営補助、2.傷害保険補助、3.歯科検診補助を行うとともに、町外認可外保育園児の保護者に対し、町外認可外保育児童助成の補助を行う。	・園児の保護者に対し、保育の質が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。 ・園児の保護者に対し、助成により保護者負担が軽減されたか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。	・園児の保護者に対し、保育の質が向上したかについての肯定的な回答(97.8%) ・園児の保護者に対し、助成により保護者負担が軽減されたかについての肯定的な回答(90.9%)	◎
28 南風原町	5 3	輸入感染症対策推進事業	R2 ~ R3	外国人観光客の急増により、観光客から麻しん、風しんにかかるリスクが増加していることから、当該感染症の蔓延を予防するとともに沖縄観光や経済への影響を最小限にするため、麻しん風しん(MR)予防接種の受けやすい体制の構築により接種率の向上を図る。	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	◎
28 南風原町	6 1	陸軍病院壕公開活用事業	H24 ~ R3	南風原町の歴史継承及び観光誘客を図るため、沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行うとともに、整備・公開している20号壕を訪れる県内外からの見学者に対してガイド案内を実施する。	見学者数10,500人	見学者数674人	未
28 南風原町	6 2	子ども平和学習交流事業	H24 ~ R3	子どもたちが平和について理解を深めるため、戦争と平和、差別や人権等について、施設を訪ねたり交流や研修を重ね学習する。	・参加児童の保護者へのアンケートで、子どもにより変化がみられた:90% ・参加後、平和や戦争、人権や差別について社会の問題に興味をわいた児童:90%	・参加児童の保護者へのアンケートで、子どもにより変化がみられたと回答した割合(87.5%) ・参加後、平和や戦争、人権や差別について社会問題に興味をわいたと回答した児童の割合(62.5%)	○
28 南風原町	6 3	伝統芸能保存育成事業	H24 ~ R3	伝統芸能の継承を図るため自治会への道具・衣装・楽器・面具などの購入に対して補助金を交付する。	補助団体による伝統芸能上演等回数34回	補助団体による伝統芸能上演等回数6回	未
28 南風原町	7 1	長寿県復活食の応援事業	H25 ~ R3	将来の生活習慣病の予防に向けて、食生活や生活習慣の改善に係る知識の普及を図るため、生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。	中学2年生の継続受診率60%(平成29年度小学5年生で受診した者のうち、中学2年生でどれだけ健診を継続して受診できたか)	平成29年度に小学5年生で受診した者のうち、継続受診した割合は68%であった。	◎
29 渡嘉敷村	1 1	渡嘉敷村観光総合推進事業	H24 ~ R3	入域観光客数の増加を図るため、県内外で開催される観光イベント等での観光PR活動、各種広告媒体を活用した情報発信及び、増加する外国人を含む観光客の受け入れ態勢強化に取り組む。	①年間入域観光客数 137,000人以上 ②外国人観光客を対象としたアンケートを実施し、利便性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	①年間入域観光客数 49,752人 ②外国からの入国が困難なため、外国人観光客を対象としたアンケートは未実施。	未

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
29 渡嘉敷村	1 2	渡嘉敷村美化清掃事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内の海浜、道路、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施する。	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	観光客を対象としたアンケートの結果、本事業該当10箇所における肯定的な回答(87%)	◎
29 渡嘉敷村	1 3	渡嘉敷村観光振興事業	H29 ～ R3	渡嘉敷村の観光振興を図るため、各イベント実行委員会への支援や、修学旅行等の誘致活動に取り組む観光協会への支援を行う。	①年間入域観光客数 137,000人以上 【参考指標】 イベント来場者(参加者)数 ・冬季(11月～3月)21,100人 ②修学旅行受入校数 12校以上/年	①年間入域観光客数 49,752人 ②修学旅行受入校数 0校	未
29 渡嘉敷村	1 4	渡嘉敷村海域安全確保事業	R1 ～ R3	村内の2ビーチ(阿波連ビーチ・渡嘉志久ビーチ)において、ビーチ利用者の水難事故防止及び安全確保を図るため水難救助員等を配置する。	・水難救助員配置期間中の水難死亡事故 0件	水難救助員配置期間中の水難死亡事故 0件	◎
29 渡嘉敷村	2 1	自動車航送コスト負担軽減事業	H28 ～ R3	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図るため、渡嘉敷港～那覇泊港間の車輛航送利用者に対し運賃の一部を支援する。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	島民へアンケートを実施し、運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているかの割合(99%)	◎
29 渡嘉敷村	2 2	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業	H25 ～ R3	渡嘉敷村営定期船の欠航時、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援することで、利便性を確保する。	渡嘉敷村営定期船の欠航時等に代替手段となるヘリコプターの運賃補助を行うことで、利便性が確保されていると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する	利用者へアンケートを実施し、ヘリコプターの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたと答えた割合(100%)	◎
29 渡嘉敷村	3 1	小学校学習支援員配置事業	H24 ～ R3	村内2校の小学校は、児童数の減少により複式学級となっているが、教育環境を改善し学力向上を図るため学習支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率+9.2ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率 7.9ポイント	未
29 渡嘉敷村	3 2	児童・生徒派遣支援事業	H25 ～ R3	村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会、県大会や全国大会等に参加する児童生徒に対し、船賃、宿泊費、航空運賃等の補助を行う。	児童生徒の視野が広がったかどうか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	児童生徒の保護者へアンケートを実施し、児童生徒の視野が広がったと回答した割合(82%)	◎
29 渡嘉敷村	3 3	家庭教育支援事業	H28 ～ R3	村内に在籍する小学校5年生から中学校3年生までを対象とし、Web会議システムを用いたオンライン双方授業を実施することにより教育環境格差の大きい離島地域において、村外・県外と同等レベルの教育を受けることができる環境を整備する。	学習塾内で実施するテスト(全国規模)において、全国と本村の平均点の差を-14.1以内とする。	学習塾内で実施されるテストにおいて、全国と本村との平均点の差 -24.1点	未

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
29 渡嘉敷村	4 1	渡嘉敷村低炭素な村づくり推進事業	R2 ～ R3	低炭素社会への転換を推進し、地球温暖化対策へ寄与するとともに、防犯灯における二酸化炭素排出量を削減するため、村内にある既存の防犯灯(水銀灯、蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明等への切り替えを実施する。	設計業務の完了	設計業務の完了	◎
29 渡嘉敷村	5 1	渡嘉敷村防災体制強化事業	R2	災害時の住民や観光客等の安全を確保するため、緊急車両(消防車)を整備する。	緊急車両(消防車)1台の導入	緊急車両(消防車)1台導入の完了	◎
30 座間味村	1 1	座間味村海域安全隊事業	H24 ～ R3	村内の指定3ビーチにおいて、観光客の増加する4月中旬から11月中旬の期間、海洋事故防止及び安全確保並びに自然環境の保全活動を図るためライフセーバー員等を配置する。	ライフセーバー配置期間中の死亡事故:0件	ライフセーバー配置期間中の死亡事故:1件	未
30 座間味村	1 2	座間味村がんばる観光支援事業	H24 ～ R3	観光客誘致を図るため、各イベント実行委員会へ補助金を交付するとともに、県外での観光PR活動を行う。	入域観光客数112,000人	入域観光客数45,175人	未
30 座間味村	1 3	座間味村観光受入拠点事業	H24 ～ R3	観光客の利便性確保及び観光誘客を図るため、座間味村観光協会が実施する観光誘客活動及び観光案内業務等の取り組みに対して補助を行う。	講座など村観光協会の取組について「観光客の満足度向上に繋がると感じたか」(80%以上)を含め、村内観光事業者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	講座など村観光協会の取組について「観光客の満足度向上に繋がると感じたか」73.1%	○
30 座間味村	1 4	座間味村戦跡及び戦争記念碑等環境整備	H29 ～ R3	平和学習を目的とした修学旅行の誘致を図るため、村内に点在する戦跡や記念碑等の周辺環境整備を行う。	戦跡等の周辺環境整備の完了	-	繰
30 座間味村	1 5	座間味村ウェルカム・パーク整備事業	R1 ～ R3	座間味港背後地において、環境省による博物展示施設の整備にあわせ、観光客や村民が憩い、交流できる場を創出するため、交流施設「ウェルカム・パーク」を整備する。	島の玄関形成地区としてふさわしい緑地公園の整備に向け、実施設計を行う。	実施設計完了	◎
30 座間味村	1 6	座間味村観光イベント施設整備事業	R1 ～ R3	歴史文化・健康づくり拠点施設に隣接して、主に観光客を対象としたイベントを実施するための野外ステージを整備する。	・磁気探査業務の実施、完了 ・出演者控室等建物の工事、完了	-	繰
30 座間味村	3 1	座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業	H24 ～ R3	定期船欠航時等の沖縄本島への移動手段を確保し、離島の不利性解消を図るため、那覇～座間味村間のヘリコプターチャーター便利用に係る運賃負担に補助を行う。	利用者アンケートを行い、「利便性が確保された」との回答 80%以上を目標とする。	「利便性が確保された」との回答 99.2%	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「繰越」・・・「繰」
 「遂行困難」・・・「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
30 座間味村	3 2	座間味村自動車航送運賃低減化事業	H25 ～ R3	村民が沖縄本島へ移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図るため、座間味村～那覇港間の車両航送利用者に対し運賃を半額補助する。	利用者アンケートを行い、「事業に満足している」との回答 80%以上を目標とする。	「事業に満足している」との回答 75%	○
30 座間味村	4 1	座間味村外来植物討伐事業	H24 ～ R3	伝統的な景観の保全・再生を通して、魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内に生息している外来植物の伐採・駆除を行う。	観光客アンケートを行い、「魅力的な観光地景観となっている」との回答 80%以上を目標とする。	「魅力的な観光地景観となっている」との回答 89%	◎
30 座間味村	5 1	座間味村平和・未来プロジェクト事業	H30 ～ R2	本村で起きた悲惨な戦争事実や歴史等の継承・保存を図るため、文献・書籍・体験者証言を集約し、これらのデジタルコンテンツ化を行う。	・平和学習会時におけるアンケートの実施。(本村における戦争事実について理解深まったか・80%以上)	・未実施	未
31 粟国村	1 1	環境美化促進事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光アクセス道路の美化・緑化活動を実施するとともに、外来植物の駆除を行う。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する:82%	◎
31 粟国村	1 2	粟国村「ア」のくにづくり推進事業	H26 ～ R3	観光地としての知名度向上を図るため、広報周知活動を実施する。	①インターネットを活用した動画配信 ・動画視聴SNS等へのアクセス数(公開日から3カ月間の月平均):705アクセス ②ブース設置 ・ブース来店者7,900人(1日平均1,300人～1,400人)に観光PR用の配布物を提供する。	①インターネットを活用した動画配信 ・動画視聴SNS等へのアクセス数(公開日から3カ月間の月平均):1,816アクセス ②ブース設置 ・ブース来店者7,900人(1日平均1,300人～1,400人)に観光PR用の配布物を提供する:4,000人	○
31 粟国村	1 3	ハブ対策事業	R2 ～ R3	地域住民や観光客の安全確保の為、ハブの捕獲・駆除を行う。	・ハブ咬傷被害:0件	・ハブ咬傷被害:0件	◎
31 粟国村	2 2	学力向上支援事業	H27 ～ R3	島内の児童生徒の学習環境の充実を図り、生徒の学力向上を図るため、村営塾を実施する。	・沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校:2ポイント以上 中学校:3ポイント以上	小+8.86ポイント 中+1.38ポイント	△
31 粟国村	2 3	児童・生徒派遣事業	H27 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会等及びその指導者等に対し、運賃等の補助を行う。	・対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	・対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する:100%	◎
31 粟国村	3 1	粟国村交通移動手段安定化対策事業	H27 ～ R3	島民及び来島者の交通手段を安定的に確保するため、航空路線の運航日以外にチャーターヘリコプターを利用した場合の運賃を一部支援する。	・ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する:98%	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
31 粟国村	3 2	粟国村自動車航送運賃低減化事業	R2 ~ R3	村民が沖縄本島と粟国間の移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図る為、粟国～那覇間の車両航走利用者に対して往復運賃の半額補助を行う。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する:85%	◎
31 粟国村	3 3	子育て支援事業	R2 ~ R3	子育て世代を含む、島外への人口流出により、人口減少率が全国的にみてもかなり高い水準にある現状を踏まえ、子育て世代が安心安全に利用できる児童公園の遊園整備を行う。	子育て支援事業交流拠点施設整備計画(案)の策定および実施設計の完了	子育て支援事業交流拠点施設整備計画(案)の策定および実施設計の完了	◎
31 粟国村	3 4	粟国村慰霊碑周辺環境整備事業	R2 ~ R3	高齢者が訪問しやすい場所へ地上戦で犠牲になった島民の慰霊碑を移設し、併せて平和学習の場として、地域住民が集えるよう東屋や駐車場、展示パネルを整備する。	粟国村慰霊碑周辺環境整備計画(案)の策定	粟国村慰霊碑周辺環境整備計画(案)の策定	◎
32 渡名喜村	1 1	環境保全・美化推進事業	H24 ~ R3	集落内及び観光地周辺の清掃美化、外来植物の駆除及び在来植物の保全育成を行う。	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	未実施	未
32 渡名喜村	2 1	離島苦解消移動手段安定化対策事業	H25 ~ R3	島民及び来島者の交通手段を安定的に確保するため、フェリーの欠航時等に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により当該事業のあり方を検証する。	フェリーの欠航時等に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により当該事業のあり方を検証する。	98%	◎
32 渡名喜村	3 1	児童・生徒の教育活動助成事業	H26 ~ R3	村外での教育諸活動(スポーツ・文化)及び交流学習へ参加する児童生徒に対し、船運賃等の補助を行う。	申請した保護者へのアンケートで、児童生徒の視野が広がったとの回答割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	100%	◎
32 渡名喜村	4 1	観光振興整備事業	H27 ~ R2	観光案内所や観光スポットである東浜周辺の整備を行うことで、受入体制を整え、観光客の利便性を確保する。	利便性の確保が図られていると評価する観光客の割合80%以上(アンケートにより算出)	-	繰
32 渡名喜村	5 1	渡名喜村旅客ターミナル整備事業	R1 ~ R2	島の玄関であるフェリーターミナルは、現在庇の一部欠落や、壁のひび割れ等が複数見られ、危険な状態となっていることから、フェリーターミナルを改築し、利用する観光客や村民の危険性除去・利便性向上を図るとともに、観光客誘致や情報提供の場として活用できるよう、整備する。	・旅客ターミナル改築工事監理業務の完了 ・旅客ターミナル改築工事の完了	-	繰

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
32 渡名喜村	7 1	渡名喜村多目的拠点施設整備事業	H26 ～ R3	村民の子育て環境の整備、健康増進、観光振興に加え、村民や観光客を自然災害から守るため、子供預かり所、老人福祉施設、歴史民俗資料館、災害時避難施設などからなる多目的拠点施設を整備する。	渡名喜村歴史民俗資料館の実施設計業務、展示制作工事及び工事監理業務委託の実施。	-	繰
33 南大東村	1 1	健康診査専門スタッフ派遣渡航費用支援事業	H24 ～ R3	住民検診が安定的に実施できる環境整備を整えるため、特定健診等で派遣される専門の医師、保健師、看護師、検査技師等の来島渡航費用を支援する。又、検診等に使用する胸部レントゲンを南大東村診療所より保守管理料の1/2を2年に1度使用料として折半する。	集団検診受診率32%以上。	集団検診受診率:55.2%	◎
33 南大東村	1 2	専門病院受診渡航費助成事業	H25 ～ R3	定住促進を図る為、沖縄本島で専門の治療や検査の受診を余儀なくされている住民や、40歳以上の胃がん及び乳がん(マンモグラフィ)及び、ストレスチェック受診者で医師に夜面談指導が必要な場合の渡航費用を支援する。	渡航費支援が必要な人への支援率100%。	渡航費支援が必要な人への支援率100%。	◎
33 南大東村	1 3	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ R3	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から南大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	生活必需品等の価格について、沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前と比較した縮小幅21.4ポイント以上。	生活必需品等の価格について、沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前と比較した縮小幅19.9ポイント。	◎
33 南大東村	2 1	花いっぱいクリーン環境整備事業	H25 ～ R3	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	観光客を対象に、観光地としての魅力向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光客を対象に、観光地としての魅力向上が図られたか:57%	○
33 南大東村	3 1	人材育成派遣事業	H25 ～ R3	子供達の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。	派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する	派遣された児童生徒が広い視野を持てたか:100%	◎
33 南大東村	4 1	南大東村安らぎ空間複合施設整備事業	H30 ～ R2	本村には、葬祭場がなく、葬儀に関しては各家庭で行う習慣があるが、近年は集合住宅での定住者も増えており、時代的な背景や生活形態の変化から簡易葬祭場の整備が望まれている。併せて納骨堂の整備や待合室、駐車場など一体的な複合施設を整備することにより利用者への利便性の向上と管理コストの低減が図られるため複合型施設整備に向けた基本計画を策定する。	建築直接工事、電気設備直接工事、機械設備直接工事完了。	-	繰

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
34 北大東村	1 1	地域の観光文化資源の担い手育成事業	H24 ～ R3	伝統文化である大東太鼓の担い手を育成・確保し、魅力を積極的に発信することによって観光誘客を図るため、島外の文化交流イベント等に参加する演者の渡航費を補助する。	・島の観光入客者数:1,100人以上	遂行困難	-
34 北大東村	1 2	観光アクセス道路美化緑化推進事業	H24 ～ R3	観光地周辺・重要アクセス道路の修景及び美化を実施し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・魅力的な景観形成が図られたか…83%	◎
34 北大東村	2 1	オンライン双方向授業支援モデル事業	H25 ～ R3	村営塾を開講し、児童生徒の個々の学力に応じた学習支援員による指導、及びICTを活用した現役東大生によるオンライン双方向授業を実施することにより、児童生徒の学力向上を図る。	・令和2年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 ①小学校 県平均以上 ・3年生:国語、算数 ・4年生:国語、算数 ・5年生:国語、算数、理科 ・6年生:算数 ②中学校 県平均以上 ・1年生:数学 ・2年生:国語、数学、理科、社会、英語	令和2年度沖縄県学力到達度調査は新型コロナウイルスの影響により未実施	未
34 北大東村	3 1	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	H24 ～ R3	安心・安全に子育てできる環境を整備するため預かり保育支援員を配置し、預り保育を実施することで、保護者の育児への負担感を軽減する。	・対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合(80%以上)を含め事業のあり方を検証する。	安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた…81%	◎
34 北大東村	3 2	離島の児童生徒の交流促進事業	H24 ～ R3	児童生徒の島外・県外へのスポーツや交流学習における派遣渡航費の補助を行い、児童生徒に広い視野を持たせる。	・派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。	・派遣された児童生徒が広い視野を持てたか…77%	○
34 北大東村	3 3	離島特別医療質確保推進事業	H24 ～ R3	島内で対応できない専門医療を受ける際の渡航費の一部助成を行うとともに、専門医療従事者を招聘して相談や検診を行うことにより村民の心身の健康に関する不安を解消する。	・渡航費支援が必要な人への支援率:100% ・心身の健康に関する不安が解消されたか(80%以上)を含め、受診者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・渡航費支援が必要な人への支援率…100% ・心身の健康に関する不安が解消されたか…100%	◎
34 北大東村	4 1	北大東村景観形成事業	H26 ～ R3	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・魅力的な景観形成が図られたか…83%	◎
34 北大東村	5 1	北大東村水産業施設等海水供給施設整備事業	R1 ～ R2	鮮度保持を行う水産施設等へ海水を供給するため、海水供給施設を整備し、鮮魚の島外出荷量の増加を図る。	・鮮魚の島外出荷量 27.7t以上/年	-	繰
34 北大東村	6 1	北大東村認定子ども園整備事業	H30 ～ R2	待機児童を解消するため、認定子ども園を整備する。	・認定子ども園の施設整備	施設整備の完了	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
34 北大東村	7 1	北大東小中学校地域副読本制作事業	R1 ～ R2	北大東島の歴史や文化をまとめた副読本を制作し、郷土学習を行うことにより、島の歴史、文化の継承を図る。	北大東島の歴史・文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、児童へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	北大東島の歴史・文化への理解が深まったか・100%	◎
35 伊平屋村	1 1	商工観光産業支援事業	H24 ～ R3	民泊利用者の増加を図るため、伊平屋島観光協会の活動を支援する。	民泊利用者数 4,983人以上	民泊利用者数 0人	未
35 伊平屋村	1 2	観光地等イメージアップ推進事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地や観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め:80%	◎
35 伊平屋村	1 3	誘客イベント推進事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、イベントの開催及び開催支援等を行う。	村内入域観光客数 12,136人以上	村内入域観光客数 13,315人	◎
35 伊平屋村	1 4	公園修景等整備事業	H28 ～ R3	国指定を受けた念頭平松を中心とした、景観に配慮した、休憩施設の多目的広場等の整備を行い、快適性、利便性の向上とともに観光地としてのイメージアップ、伊平屋らしい原風景の創出を図る。	多目的広場工事 完了 東屋撤去 完了 防火水槽設置工事 完了	多目的広場工事 完了 東屋撤去 完了 防火水槽設置工事 完了	◎
35 伊平屋村	1 5	伊平屋村「琉球の兆し」普及啓発事業	H30 ～ R3	文化資源及び観光資源としての価値を高めるために村文化財の保存継承を図り、観光客の利便性の向上に取り組む。	螺鈿蔵修理の完成	螺鈿蔵修理の完成	◎
35 伊平屋村	1 6	ポーターミナル機能強化事業	R2 ～ R3	島の玄関口である前泊港ポーターミナルの機能強化を行い、観光地にふさわしい景観および施設の利便性向上を図る。	・実施設計の完了	・実施設計の完了	◎
35 伊平屋村	2 1	病害虫防除事業	H24 ～ R3	さとうきびの生産量低下の原因となっている病害虫の防除を図るため、ほ場に薬剤を設置する。	さとうきびの生産量 5,500トン	さとうきびの生産量 5,288トン	○
35 伊平屋村	2 2	伊平屋村優良繁殖牛導入事業	H26 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて子牛のブランド化を推進するため、引き続き優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 102%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 108%	◎
35 伊平屋村	2 3	新伊平屋村製糖工場建設工事	R2	本村の基幹産業であるさとうきび・糖業の安定した生産体制を確立し、継続的なさとうきび・糖業の振興を図るため、含みつ製糖施設を整備する。	・製糖期間におけるさとうきびの受入可能割合 100% (受入可能割合＝農家によるさとうきび生産量のうち、製糖工場が受入できた割合)	・製糖期間におけるさとうきびの受入可能割合 100% (受入可能割合＝農家によるさとうきび生産量のうち、製糖工場が受入できた割合)	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
35 伊平屋村	3 1	伝統文化継承支援事業	H24 ～ R3	伝統芸能及び文化の保存継承を図るため、保存会及び各集落の活動に対して支援を行う。	①伝統文化教室への参加率 100% ②伝統芸能演舞者数 80名 ③来場者数 100名	①伝統文化教室への参加率 100% ②伝統芸能演舞者数 66名 ③来場者数 140名	○
35 伊平屋村	3 2	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別な支援を要する児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。また、児童生徒の学力に応じた学習指導を行うことで学力及び学習意欲の向上を図る。	①対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援の対応に満足したか(80%以上)を含め、当事業のあり方を検証する。 ②沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 小学校(国語・算数・理科) -5.9ポイント以上 中学校(国語・数学・理科・社会・英語) -2.7ポイント以上	①対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援の対応に満足したか:85% ②沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 小学校(国語・算数・理科) +8.2ポイント 中学校(国語・数学・理科・社会・英語) -11.2ポイント	△
35 伊平屋村	3 3	英語学習支援事業	H25 ～ R3	海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、国際的な視野を持つ人材を育成する。	保護者へのアンケートで、外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	保護者へのアンケートで、外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか:87%	◎
35 伊平屋村	3 4	伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業	H26 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で実施される各種大会への参加を支援する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検討する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野を持てたか:80%	◎
35 伊平屋村	3 5	伊平屋島起業家人材育成事業	H26 ～ R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を実施する。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(85%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか:38%	未
35 伊平屋村	4 1	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ R3	保護者の育児における負担軽減を図るため、預かり保育を実施する。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児における負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児における負担感が軽減されたと感じたか:100%	◎
35 伊平屋村	4 2	自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ R3	村民が沖縄本島へ移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図るため、自動車航送に係る運賃の支援を行う。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか:95%	◎
36 伊是名村	1 1	観光地等クリーンアップ事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設等の美化緑化作業を実施する。	観光地等の環境美化を行い、観光地としてのふさわしい景観形成がなされているか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケート調査により本事業のあり方について検証する。	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケートにより実施する:99%	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
36 伊是名村	1 4	「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、尚円王に関する旧蔵品等の整備・復元を行う。	旧蔵品を活用した祭事への来場者数 250人以上	旧蔵品を活用した祭事への来場者数 56人	未
36 伊是名村	1 5	伊是名モータースポーツ支援事業	H26 ～ R3	観光客の誘致を図るため、モータースポーツ大会の開催を支援する。	来場者数 139人以上	来場者数 143人	◎
36 伊是名村	1 7	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、景観形成活動を行う団体に支援する。	観光地としてふさわしい景観であると感じるかを 含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート 調査により検証する。	観光地としてふさわしい景観であると感じるかを 含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート 調査により検証する:89%	◎
36 伊是名村	2 1	伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ R3	村民に対し、フェリー自動車航送運賃を軽減し、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られた か(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより 本事業のあり方を検証する。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られた か(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより 本事業のあり方を検証する:85%	◎
36 伊是名村	2 2	定住促進住宅整備事業	H30 ～ R3	Iターン・Uターンによる移住者等の定住促進を図るため、定住促進住宅を整備する。	入居世帯数:2世帯	-	繰
36 伊是名村	3 2	児童生徒島外諸教育活動支援事業	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で実施される各種大会への参加を支援する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケート で、児童・生徒が島内ではできない経験をする ことができたか(80%以上)を含め、当該事業の あり方について検証する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケート で、児童・生徒が島内ではできない経験をする ことができたか(80%以上)を含め、当該事業の あり方について検証する:92%	◎
36 伊是名村	3 3	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ R3	預かり保育の実施により、保護者の育児における負担感の軽減を図る。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児 の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を 含め、当該事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児 の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を 含め、当該事業のあり方を検証する:95%	◎
36 伊是名村	3 5	学習支援事業	H24 ～ R3	学校への学習支援員の配置及び放課後教室・学習塾の開講を行い、学力の向上を図る。	令和元年度沖縄県学力到達度調査での村と県の 平均正答率の差 小学校 -11.4ポイント以上 中学校 -0.2ポイント以上	小学校 -16.7ポイント 中学校 -19.2ポイント	未
36 伊是名村	4 1	伊是名村土づくり支援事業	H24 ～ R3	さとうきびの生産量の増加を図るため、ほ場に堆肥の散布を行う。	さとうきびの単収 5,600kg	さとうきびの単収 5,582kg	○
36 伊是名村	4 2	伊是名村優良繁殖雌牛導入促進事業	H25 ～ R3	畜産業の振興を図るため、肉用牛繁殖農家等に対し、導入費用の一部を支援する。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない 子牛との価格差の割合 107%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない 子牛との価格差の割合 105.4%	○

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
37 久米島町	1 1	優良雌牛導入事業	H26 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて、町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、優良繁殖雌牛を導入する畜産農家または優良繁殖雌牛を導入し農家へ貸付を行う団体に対し、導入に係る経費の支援を行う。	導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:105%以上	導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:104%	○
37 久米島町	2 1	久米島紬販売促進事業	H24 ～ R3	久米島紬及び関連商品の売上増加を図るため、久米島紬事業協同組合が実施する販促活動を支援する。	久米島紬及び関連商品の年間売上高 ①反物売上額 6,150万円以上 ②小物売上額 1,550万円以上	久米島紬及び関連商品の年間売上高 ①反物売上額 5,557万円 ②小物売上額 692万円	未
37 久米島町	2 2	久米島特産品販路開拓事業	H25 ～ R3	島の特産品の売上増加を図るため、久米島商工会が行う特産品の販促活動やPR活動へ支援を行う。	開催、出展した物産展における島特産品の販売額:3,165万円以上	開催、出展した物産展における島特産品の販売額:399.3万円	未
37 久米島町	2 3	地域型就業意識向上支援事業	H30 ～ R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、児童生徒を対象としたキャリア教育等を実施する。	各種取組に参加した児童生徒へアンケートを実施し、就業に対する意識が向上したと回答した割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	就業に対する意識が向上した 88.3%	◎
37 久米島町	3 1	久米島観光誘客支援事業	H26 ～ R3	観光客の利便性確保を図るため、久米島空港内に観光案内所を設置し観光案内等を行う。 また、観光地としての知名度向上を図るため、観光広報活動として「久米島観光の日」イベントの開催や各種観光イベントへ出展し、PR活動を行う。	①来島した観光客へアンケートを実施し、観光案内所があることで利便性が確保されていると回答した割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 ②島外でのイベント来場者にアンケートを実施し、久米島に旅行で訪れてみたいと回答した割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	①来島した観光客へアンケートを実施し、観光案内所があることで利便性が確保されている 100% ②久米島に旅行で訪れてみたい 未実施	△
37 久米島町	3 2	体験交流型観光商品開発販売促進事業	H26 ～ R3	観光関連商品の売上増加を図るため、観光体験プログラムの開発及び販売促進を行う。	①観光体験プログラム売上額 17,393,921円以上	①観光体験プログラム売上額 580,100円	未
37 久米島町	3 3	航空運賃コスト負担軽減事業	H30 ～ R3	久米島へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補填する。	久米島町への観光入域者数:118,000人以上	久米島町への観光入域者数:54,783人	未
37 久米島町	3 4	久米島観光プロモーション事業	H26 ～ R3	久米島町の観光誘客を図るため、プロモーションに効果的な戦略を構築し、国内外へプロモーションを実施する。	久米島町への観光入域数:118,000人以上	久米島町への観光入域者数:54,783人	未
37 久米島町	4 1	子育て支援事業	H28 ～ R2	町民や観光客等が安心して遊べる場所を提供し、利便性の確保を図るため、公園(児童遊園)を整備する。	・公園整備工事の完了	・公園整備工事の完了	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
37 久米島町	4 2	防災情報収集発信体制整備事業	H29 ～ R2	災害時における町民及び観光客等の安全を確保を図るため、災害発生時における情報の収集及び発信を効率的・効果的に行うための防災情報システムを整備する。	防災情報システム機器整備の完了	防災情報システム機器整備の完了	◎
37 久米島町	5 1	文化遺産保存活用事業	H24 ～ R3	地域の歴史文化の継承を図るため、古文書の修復及び翻刻並びに口語訳を行う。	・修復を行った古文書の利用件数120件以上 ・調査利用者5名 以上 ・修復資料の見学者数 4300人以上	・修復を行った古文書の利用件数0件 ・調査利用者0名 以上 ・修復資料の見学者数 2,362人以上	未
37 久米島町	6 1	英語指導員配置事業	H24 ～ R3	小学生の英語への興味・関心を高めるため、小学校に英語指導員を配置し、外国語授業等の支援を行う。	管内6小学校の児童が英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、児童へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	英語に対する興味・関心が高まったか 87%	◎
37 久米島町	6 2	基礎学力向上学習支援員配置事業	H26 ～ R3	児童の学力向上を図るため、小学校に学習指導員を配置し、国語・算数を中心に学習未定着の児童を対象とした学習支援を行う。	・沖縄県達成度調査において、国語・算数で 中学年(3年生・4年生) 県平均+8点以上 高学年(5年生・6年生) 県平均+1点以上にする。	・沖縄県達成度調査において、国語・算数で 中学年(3年生・4年生) 実施なし 高学年(5年生・6年生) 県平均+4.9点	△
37 久米島町	6 3	特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R3	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を各学校に配置する。	・特別支援教育支援員の対応への満足度(85%以上)を含め、対象児童生徒の保護者へのアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	・特別支援教育支援員の対応への満足度 88%	◎
37 久米島町	6 4	児童・生徒各種大会派遣支援事業	H27 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を確保し、生徒に広い視野を持たせるため、課外活動として島外で開催される各種大会・コンクールへ参加する生徒に対し、派遣旅費の支援を行う。	派遣によって生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを行い、本事業のあり方を検証する。	派遣によって生徒の視野が広がったか 82%	◎
38 八重瀬町	1 3	八重瀬町外国語指導強化事業	H24 ～ R3	小中学校の発達過程に応じ、外国文化への興味関心や英語能力を高め、国際化社会に柔軟に対応できる人材を育成するため、英語指導助手を配置する。	①小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 ②中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差 ±0ポイント以上	①小学校 英語に対する興味・関心が高まったか・84.77% ②中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差 +1.41ポイント	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
38 八重瀬町	1 4	八重瀬町ICT支援員配置事業	H24 ～ R3	児童生徒の情報機器操作能力や情報活用能力の向上を図るための支援を行い、教員による電子黒板などのICT機器を活用した分かりやすい授業が展開できるよう支援を行うため、小中学校にICT支援員を配置する。	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか等・93.35%	◎
38 八重瀬町	1 5	八重瀬町学力向上支援事業	H25 ～ R3	学習の遅れがちな児童生徒へ授業中や放課後学習の支援を行い、基礎基本の学力を定着させ学力の向上を図るため、小中学校へ学習支援員を配置する。	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。 沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 小学校(国語・算数) ±0ポイント以上 中学校(国語・数学) -1.6ポイント以上	沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 小学校(国語・算数) +0.13ポイント 中学校(国語・数学) +1.13ポイント	◎
38 八重瀬町	1 6	八重瀬町特別支援員配置事業	H27 ～ R3	特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援員を配置する。	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	特別支援員の対応に満足したか・82.84%	◎
38 八重瀬町	1 8	ICT教育強化事業	H26 ～ R3	各小中学校へ電子黒板を配置したが、未設置の教室がある為、引き続き配置しICT活用状況と学力の向上を図る。 また、タブレット端末を整備することにより情報活用能力の促進を図る。	・町内小中学校の教室への電子黒板及びパソコン導入率100%を目指し整備を進める。 ・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合「80%以上」を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	・電子黒板及びパソコン導入率100%・100% ・ICT機器を活用した授業が分かりやすかった・91%	◎
38 八重瀬町	2 2	八重瀬町観光地美化作業事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じるか等・96%	◎
38 八重瀬町	2 3	港川フィッシャー遺跡整備事業	H24 ～ R3	港川人の出土地である「港川フィッシャー遺跡」の教育及び観光資源としての活用に向けて周辺整備を行う。	便益施設等の整備完了	便益施設等の整備完了	◎
38 八重瀬町	2 4	運動公園施設等整備事業	H24 ～ R3	スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。	・野球キャンプの受入れ 5件以上 ・サッカーキャンプの受入れ 3件以上	・野球キャンプの受入れ 3件 ・サッカーキャンプの受入れ 2件	未
38 八重瀬町	2 5	八重瀬町サッカーキャンプ事業	H26 ～ R3	本町でキャンプを行うチームとの事前受入調整を行い、キャンプ受入時に必要なものを揃える。また、チームの集客力を活かした誘客と来場者が町内周遊できる仕組みづくりを実施する。	・サッカーキャンプチーム3チーム誘致 ・周遊ツールを活用し、150万円以上の消費を促す。	・サッカーキャンプチーム 2チーム誘致 ・151万円以上の消費 82.5万円	未
38 八重瀬町	3 1	八重瀬町観光プロモーション事業	H26 ～ R3	町内への観光誘客のため、観光プロモーションを実施する。	主要観光施設の入域客数 290,000人以上	主要観光施設の入域客数・230,000人	○

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
38 八重瀬町	4 2	八重瀬町和牛改良支援事業	R1 ～ R3	農家の経営安定化に向けて子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 115%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 110%	○
38 八重瀬町	4 3	乳用牛改良支援事業	H29 ～ R3	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付ける者に対し支援を行う。	生産乳量:4,680,000kg以上 乳質(脂肪率):4.0%以上	生産乳量:4,484,305kg 乳質(脂肪率):3.97%	○
38 八重瀬町	5 1	「夢・未来」スポーツレベルアップ事業	H27 ～ R3	八重瀬町民のスポーツへの意識を高めるとともに、沖縄県及び全国レベルの各種競技大会での八重瀬町出身選手の活躍を支援する。	①スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。 ②派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	①児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったか…97% ②児童生徒が広い視野を持てたか…84%	◎
38 八重瀬町	6 1	運動公園省エネ化推進事業	H28 ～ R3	運動公園の既存照明をLED化することにより、二酸化炭素と消費電力を削減し、地球温暖化の防止を図るため運動公園の省エネ化の推進を図る。	東風平運動公園野球場の1ヶ月あたりの二酸化炭素排出削減量3.3t/月	東風平運動公園野球場の1ヶ月あたりの二酸化炭素排出削減量3.3t/月	◎
38 八重瀬町	7 1	若い世代からの健康づくり推進事業	R1 ～ R3	健康相談や育児教室等の保健事業にて実物大のフードモデル(食育SATシステム:体験型栄養教育システム)を活用し、事業参加者の食に対する意識や健康観の向上を図る。	各種事業参加者の食に対する意識や健康観の向上(80%以上)を含め、アンケートにより当該事業のあり方について検証する。	各種事業参加者の食に対する意識や健康観の向上…95%	◎
38 八重瀬町	7 2	具志頭運動公園健康増進機能強化事業	R2 ～ R3	地域住民や利用者の健康増進を図るため、公認パークゴルフ場やウォーキングコース等を整備する。	・基本設計の完了 ・実施設計の完了 ・解体・撤去造成工事の完了 ・工事監督支援業務の完了 ・物件調査等委託、用地購入の完了	-	繰
38 八重瀬町	8 1	八重瀬の沖縄戦資料収集調査事業	R1 ～ R2	前年度で収集した証言や資料を元に平和学習に関する企画展の開催と報告書の作成を行う。	八重瀬の沖縄戦について後世へ伝承するために収集してきた資料を活用して展示会の開催と報告書の活用を行うが、展示会についてアンケートを実施し、興味関心度が高まったかどうか(80%以上)を目標とし、報告書については、八重瀬の沖縄戦について調査・研究、学習などに活用できるような資料の作成を目的とする。	展示会についてアンケートを実施し、興味関心度が高まったかどうか…89% 報告書…200部完了	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
38 八重瀬町	9 1	「義人謝花昇」映像資料制作事業	R2 ～ R3	八重瀬町の偉人、謝花昇生誕155年の節目に、幅広い世代に向けた映像コンテンツを制作、放映、各教育機関また公共機関で継続的に映像を使用し、偉人顕彰の機運を醸成する。	授業実施後、地域の偉人に対する理解度等の向上(80%以上)、観光拠点施設で視聴後、八重瀬町に対する印象、興味関心度が高まったか(80%以上)自治会上映会後、地域の偉人に対する理解度、地域に対する愛着心が高まったか(80%以上)を含めアンケートにより当該事業のあり方について検証する。	地域の偉人に対する理解度等の向上、八重瀬町に対する印象、興味関心度が高まったか 地域の偉人に対する理解度、地域に対する愛着心が高まったか…87%	◎
38 八重瀬町	10 1	輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R3	近年沖縄県内において、外国からの観光客が急増しており、麻しん及び風しんの感染拡大が懸念されることから、効果的な予防対策として、予防接種事業をさらに強化することにより、感染症の蔓延防止を図る。	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	◎
39 多良間村	1 1	美化緑化推進事業	H25 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を行う。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、本事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか：80%	◎
39 多良間村	2 1	優良繁殖雌牛導入支援事業	H27 ～ R2	生産農家の経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 121.6%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 113.3%	未
39 多良間村	3 1	児童生徒島外教育諸活動助成事業	H27 ～ R3	島外の人と競争や交流する機会を確保し、児童生徒に広い視野を持たせるため、本村の児童生徒がスポーツ、文化活動において、島外へ派遣される際の渡航費を支援する。	派遣された児童・生徒及び教諭、保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	派遣された児童・生徒及び教諭、保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたか：55%	未
39 多良間村	3 2	学力向上推進ALT活用事業	H27 ～ R3	児童生徒の英語への興味関心や英語学力の向上を図るため、ALTを招聘する。	①小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 ②中学校 英検4級の保有割合：30%以上	①小学校 英語に対する興味・関心が高まったか：86% ②中学校 英検4級の保有割合：41%	◎
39 多良間村	3 3	村営学習塾開設事業	H28 ～ R3	児童生徒の学力の向上を図るため、村営学習塾を開講し、国語・算数(数学)・英語を中心とした学習支援を実施する。	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数) -5ポイント以上 ・中学校(国語・数学・英語) -6ポイント以上	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数) -4.8ポイント以上 ・中学校(国語・数学・英語) -2.2ポイント以上	◎
39 多良間村	3 4	多良間中学校グラウンド全天候型改修事業	H29 ～ R2	村民等の交流機会や運動機会の確保を図るため、多良間中学校グラウンドを全天候型に改修する。	整備工事の完了	整備工事の完了	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
39 多良間村	3 5	多良間村就業意識向上支援事業	H30 ～ R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、職業体験等のキャリア教育を行う。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか:84%	◎
39 多良間村	3 6	多良間村自然文化継承事業	H30 ～ R3	多良間村の歴史・文化・自然の継承及びこれらを活用した観光誘客を図るため、ふるさと民俗学習館の郷土資料の修復や自然環境の調査等を行い、資料を整理する。	①ふるさと民俗学習館の村民利用者数 182人以上 ②ふるさと民俗学習館の観光客利用者数 651人以上 ③シンポジウム来場者数 60人以上	①ふるさと民俗学習館の村民利用者数 121人 ②ふるさと民俗学習館の観光客利用者数 251人 ③シンポジウム来場者数 41人	未
39 多良間村	4 1	多良間村自動車航送コスト負担軽減事業	H27 ～ R3	村民が島外へ移動しやすい環境を構築することで、小規模離島における定住環境の改善を図るため、村民の自動車航送に係る運賃の一部を補助する。	運賃補助によって島外へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	運賃補助によって島外へ移動しやすい環境となっているか:96.55%	◎
39 多良間村	5 1	多良間村防災体制構築事業	R2	災害時における村民及び来訪者の安全・安心を確保するため、地域防災計画及び各種対応マニュアル等の見直し、策定を行う。	地域防災計画・職員初動マニュアル・津波避難計画・防災マップ・避難所運営マニュアル・本部事務局マニュアルの策定完了	地域防災計画・職員初動マニュアル・津波避難計画・防災マップ・避難所運営マニュアル・本部事務局マニュアルの策定完了	◎
40 竹富町	1 1	西表東部公園整備事業	H29 ～ R3	西表東部に公園を整備し、地域住民の福祉の向上を図る。	公園整備工事、トイレ(追加分)設計の完了	設計の完了	◎
40 竹富町	1 2	健康診査用機材搬送事業	H26 ～ R3	島嶼地域において健康診査を受ける機会を確保し、健康診査の受診促進を図るため、検診に必要な検診車両を各島へ海上輸送する。	①特定健診対象者の受診率 60%以上 ②婦人がん検診対象者の受診率 31.5%以上	①48.1% ②38.9% @90%	○
40 竹富町	1 3	竹富町民等船賃負担軽減事業	H27 ～ R3	町民が島嶼間を移動しやすい環境を整備し、生活の利便性を確保するため、町民等が町内各地点及び石垣市間を移動する際の船賃の一部を補助する。	本事業について、利用者へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	92%	◎
40 竹富町	1 4	複合型福祉施設整備事業	H27 ～ R3	保護者の育児負担の軽減、児童の就学前教育機会の確保及び高齢者の健康増進を図るため、保育所、幼稚園及び高齢者の交流施設の各機能を含んだ複合型福祉施設を整備する。	建設工事の完了(西表上原)	-	繰
40 竹富町	2 1	竹富町観光誘客・受入対策事業	H24 ～ R3	滞在型・着地型観光を推進し、観光客の満足度の確保を図るため、竹富町観光に関する情報発信や受入体制強化を行う。	観光客を対象としたアンケート調査を実施し、「非常に満足」(5段階評価の最高評価)と回答した割合(60%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	79.7%	◎

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「繰越」・・・「繰」
 「遂行困難」・・・「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
40 竹富町	2 2	船浮イダの道散策路整備事業	R1 ～ R3	イダの浜に訪れる観光客等の利便性確保を図るため、船浮集落からイダの浜へのアクセス通路を散策路として整備する。	整備工事の完了	-	繰
40 竹富町	2 3	竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業	R2	竹富町の自然・歴史・文化の継承及びそれらを活用した観光客の満足度向上を図るため、住民の学習機能と観光交流機能を有する複合施設を整備する。	基本構想策定の完了	策定の完了	◎
40 竹富町	3 1	児童生徒派遣費補助事業	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を確保し、児童生徒に広い視野を持たせるため、児童生徒がスポーツ、文化活動で島外へ派遣される際の渡航費を補助する。	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	97.8%	◎
40 竹富町	3 2	外国語指導助手派遣事業	H27 ～ R3	幼稚園児及び小学児童の外国語への興味・関心を高めるため、小学校と幼稚園に英語指導助手を派遣し、外国語学習のサポートを行う。	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	79%	○
40 竹富町	4 1	竹富町和牛生産推進事業	H24 ～ R3	町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、農家が優良繁殖雌牛を導入する際の導入費用を支援する。また、離島港湾入口に靴底消毒用マットを設置する。	導入した優良母牛から産れた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 114.5%以上	109.46%:96%	△
40 竹富町	4 2	文化財美化保全事業	H24 ～ R3	観光地として魅力的な景観形成を図るため、観光スポットとして観光客が訪れる文化財等の美化保全(除草・清掃)を行う。	事業対象の文化財について、観光スポットとしてふさわしい景観となっているか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・未実施	未
40 竹富町	4 3	竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業	H24 ～ R3	イリオモテヤマネコの生息環境を保護するため、逸失した飼い猫等によるイリオモテヤマネコへの病気感染等を防ぐ。	①逸失ペットの発生件数 8頭以内 ②西表島においてネコの重大な感染症(ネコエイズ、ネコ白血病)の感染個体が新たに確認された件数 0件 ③適正使用普及啓発講演会(4回)への参加者数 延べ150人以上	①1頭 ②0頭 ③90人 @87%	○
41 与那国町	1 2	与那国島特産品アピール力強化事業	H25 ～ R3	与那国島産品の売上増加を図るため、商工会等が実施する物産展出展や特産品の商品力及び販売力強化の取組を支援する。	全体参加の物産展ごとの売上200万円以上	全体参加の物産展ごとの売上:0万円	未
41 与那国町	1 3	与那国町誘客促進活性化事業	H30 ～ R3	与那国島の認知度を向上させ、観光誘客を図るため、県内外において観光誘客プロモーション活動を行う団体に対して活動に係る経費を補助する。	・チャーター便確保 25便/年 平均搭乗率70人 * 25回=1,750人 ・クルーズ船2回/年 平均来島者数300人 * 2=600人	・チャーター便確保 25便/年 :17人 ・クルーズ船2回/年 :0人	未

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
41 与那国町	1 4	与那国町観光地整備事業	H29 ～ R3	観光客等の利便性を確保するため、町内の観光地に便益施設を整備する。	東崎展望台施設及びトイレ設計業務委託 完了 西崎展望台施設及びトイレ施設整備工事(解体含む)完了	-	繰
41 与那国町	2 1	優良牛繁殖雌牛導入事業	H25 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて、町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、優良繁殖雌牛導入を支援する。	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 115%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:115.6%	◎
41 与那国町	2 2	農水産物輸送コスト負担軽減事業	H25 ～ R3	本町で生産または水揚げされた生鮮農水産物の販路確保を図るため、農水産物団体等が与那国町から沖縄本島への生鮮農水産物を出荷する際の輸送費の一部を補助する。	・生鮮水産物:出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:30.4% ・農産物:出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:58.8%	・生鮮水産物:出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:32% ・農産物:出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:61%	◎
41 与那国町	2 3	与那国町漁業担い手育成プラン実施事業	H26 ～ R3	漁業従事者の維持確保を図るため、漁業の担い手に漁船や漁業設備を貸し付ける団体に対し、漁船等の導入費用の一部を補助する。	・漁業従事者数の維持確保:37人以上	漁業従事者数の維持確保:39人	◎
41 与那国町	3 1	家庭学習支援モデル事業	H24 ～ R3	学校外でも学びたい児童生徒の学習環境を整備し、学力向上を図るため、町営学習塾を開設し、児童生徒を対象に学習指導を行う。	R3全国学力・学習状況調査(R3.4月実施予定)へ向けた学習指導の実施	R3全国学力・学習状況調査(R3.4月実施予定)へ向けた学習指導の実施	◎
41 与那国町	3 2	教育諸活動助成事業	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を確保し、児童生徒に広い視野を持たせるため、児童生徒がスポーツ、文化活動で島外へ派遣される際の渡航費を補助する。	保護者にアンケートを実施 【アンケート結果】 児童生徒の視野が広がったか(80%以上)	保護者にアンケートを実施 【アンケート結果】 児童生徒の視野が広がったか:100%	◎
41 与那国町	4 1	安心・安全のまちづくり支援	H25 ～ R3	教育時間終了後の幼稚園児等及び小学校低学年児童の安全な居場所を確保し、子育てに関する負担軽減を図るため、指導員を配置し預かり保育を行う。	利用者にアンケート実施 子育てに対する負担感の軽減が感じられた(85%)	利用者にアンケート実施 子育てに対する負担感の軽減が感じられた:97%	◎
41 与那国町	5 1	少子高齢化対策事業	H24 ～ R3	島内の妊産婦が良質かつ適切な医療を受ける機会を確保するため、妊産婦が島外の病院へ通院する際に必要な渡航費等の経費を補助する。	・島外での妊婦健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合 100%	島外での妊婦健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合:100%	◎
41 与那国町	6 1	公共交通路線支援事業	H24 ～ R3	島内を移動しやすい環境を整え、島民及び来島者の利便性を確保するため、島内を巡回する無料路線バスを運行する。	利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・未実施	未
41 与那国町	6 2	与那国町古民家活用型定住促進事業	H26 ～ R3	移住定住促進を図るため、古民家の解体古材を活用した定住促進住宅を整備する。	「シニア型夫婦向け定住用住宅」1棟の整備工事完了	-	繰

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号		事業名	計画期間	事業内容	R2成果目標(指標)	R2成果実績(指標)	評価
41 与那国町	6	3	与那国町国境交流結節点化推進事業	R1 ～ R3	1. 企画を担保する法的根拠、諸条件及び事務手続きの整理 2. 関係機関への事務手続・申請・要請事項の確認整理 3. 需要創出調査 4. 国境交流結節点を活用した高速船旅行 社会実験企画の準備 5. 令和3年度社会実験実施計画書の作成 6. 町内検討委員会並びに課内作業部会の運営支援 7. 個別マニュアルの作成	・与那国町国境交流結節点化推進業務の完了 (需要調査、社会実験実施計画の策定)	-	繰